

令和 6 年 度

主要な施策の成果に関する説明書

伊 万 里 市

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第５項の規定に基づき、
令和６年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

令和７年９月１８日

伊万里市長　　深　浦　　弘　信

目 次

1. 令和6年度決算の概要	1
2. 令和6年度一般会計歳入歳出決算額	3
3. 令和6年度特別会計歳入歳出決算額	6
4. 令和6年度企業会計歳入歳出決算額	7
5. 主要な施策の成果の説明	
(1) 一 般 会 計	
第1款 議 会 費	8
第2款 総 務 費	10
第3款 民 生 費	53
第4款 衛 生 費	91
第5款 労 働 費	106
第6款 農林水産業費	107
第7款 商 工 費	135
第8款 土 木 費	148
第9款 消 防 費	182
第10款 教 育 費	190
第11款 災 害 復 旧 費	245
(2) 特 別 会 計	
国民健康保険特別会計	253
介護保険特別会計	256
後期高齢者医療特別会計	260
(3) 企 業 会 計	
水道事業特別会計	261
工業用水道事業特別会計	262
下水道事業特別会計	263
6. 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	264

令和 6 年度決算の概要

令和 6 年度の国の経済動向については、コロナ禍の 3 年間を乗り越え、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済の先行きには前向きな動きがみられており、デフレから脱却できる千載一遇のチャンスを迎えている一方で、賃金上昇は物価上昇に追いついておらず、個人消費は依然力強さを欠いています。

こうした中、国においては、国民の可処分所得の下支えや構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を速やかに実行し、デフレから完全脱却するとともに、民需主導の持続的な成長、そして、「成長と配分の好循環」の実現を目指すこととされています。

このような状況下において、本市が活力ある都市として持続的に発展するために、市政の各分野において将来を見据えた施策の展開が望まれ、第 6 次伊万里市総合計画の将来都市像である「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里」の実現に向けて各種施策を展開しました。

施策の実施に当たっては、小・中学校やコミュニティセンター等の建設、老朽化した公共施設の大規模改修など、大型プロジェクトを抱え、それに加えて、エネルギー、食料価格及び物価等の高騰対策を緊急的に講じる必要があるなど、厳しい財政状況が続く中で、第 5 次財政基盤安定化計画に沿って可能な限りの財源確保と徹底した歳出削減に取り組みしました。

一方で、国・県等の補助金や交付税措置がある地方債を活用し、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の建設、道路や橋りょうの整備などを行うとともに、物価等の高騰に対応するための経済対策を実施しました。

また、「伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、シティプロモーションや、子どもの医療費助成、移住・定住対策の推進など施策全般にわたって事業を厳選し、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、健全な財政運営に努めました。

令和 6 年度の一般会計の歳入総額は、3 6 9 億 9, 4 8 9 万円で、前年度に比べて 6. 9 % の増、歳出総額は、3 6 1 億 8, 1 3 9 万円で、前年度に比べて 8. 7 % の増となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は 8 億 1, 3 5 0 万円、翌年度へ繰り越すべき財源の 8, 5 4 9 万円を差し引いた実質収支は 7 億 2, 8 0 1 万円の黒字となり、実質収支から令和 5 年度の実質収支 9 億 1 5 5 万円を差し引いた単年度収支は 1 億 7, 3 5 4 万円の赤字となりました。

歳入について前年度と比較すると、市税については、市内企業の設備投資等による影響で固定資産税が増加したことなどから、市税全体において、0. 7 % の増加となりました。地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせた全体で 4. 4 % の減少となりました。

また、地方特例交付金（4 4 2. 0 %）、株式等譲渡所得割交付金（6 9. 6 %）などが増加となりましたが、交通安全対策特別交付金（△ 2. 3 %）が減少となりました。

国庫支出金は、公立学校施設整備費負担金や社会資本整備総合交付金などの増加により、全体で5.4%の増加となりました。

県支出金は、SAGA2024市町運営費補助金、地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金などの増加により、全体で3.9%の増加となりました。

寄附金は、ふるさと応援基金寄附金が増加したことから、全体で14.2%の増加となりました。

繰入金は、財政調整基金などからの繰入金が増加したことにより、全体で31.3%の増加となりました。

市債は、小学校施設整備事業債、庁舎改修事業債などが増加したことから、全体で37.1%の増加となりました。

その他の収入は、繰越金(3.7%)が増加したものの、財産収入(△42.9%)、分担金及び負担金(△15.4%)、諸収入(△4.7%)、使用料及び手数料(△3.8%)が減少しました。

歳出については、物価等の高騰の影響を受けている住民生活や地域経済を支援するため、定額減税調整給付金支給事業、物価高騰対応重点支援給付金支給事業、第3次プレミアム付商品券発行事業などを実施しました。

また、留守家庭児童クラブ管理運営事業などの子育て支援施策の充実、防災活動事業や防災行政無線施設管理事業などの防災の推進、園芸農業機械・施設等整備支援事業、伊万里梨・牛産地強化支援事業などの産業の振興、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業などの学校教育環境の改善に取り組みました。

目的別に前年度と比較すると、災害復旧費(75.0%)、土木費(51.1%)、教育費(48.2%)、消防費(14.1%)、総務費(11.1%)などが増加しましたが、衛生費(△20.6%)、農林水産業費(△12.0%)、諸支出金(△1.0%)などが減少しました。

性質別に見ると、義務的経費は、人件費(7.8%)や物価高騰対応重点支援給付金支給事業などの増加により扶助費(3.1%)が増加しました。投資的経費は、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業、雨水ポンプ場更新事業などの増加により普通建設事業費(56.3%)が増加し、災害復旧費(68.9%)も増加しました。そのほか補助費等(14.8%)や積立金(0.8%)などが増加する一方、投資及び出資金(△5.1%)や物件費(△3.8%)、繰出金(△1.2%)は減少しました。

特別会計については、歳入総額147億7,796万円、歳出総額144億3,905万円となり、前年度と比較すると、歳入で3.5%、歳出で2.3%の減少となりました。

令和6年度 一般会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減率 (%)	令和6年度 構成比 (%)
自主財源	16,709,316	15,573,793	7.3	45.2
市 税	8,043,007	7,990,014	0.7	21.7
分担金及び負担金	162,968	192,688	△ 15.4	0.4
使用料及び手数料	328,631	341,545	△ 3.8	0.9
財産収入	70,194	122,887	△ 42.9	0.2
寄 附 金	2,760,076	2,416,182	14.2	7.5
繰 入 金	3,426,667	2,610,305	31.3	9.3
繰 越 金	1,315,628	1,268,400	3.7	3.6
諸 収 入	602,145	631,772	△ 4.7	1.6
依存財源	20,285,579	19,023,283	6.6	54.8
地 方 譲 与 税	347,505	336,435	3.3	0.9
利 子 割 交 付 金	2,285	1,951	17.1	0.0
配 当 割 交 付 金	35,034	22,596	55.0	0.1
株式等譲渡所得割交付金	43,231	25,485	69.6	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	135,882	125,333	8.4	0.4
地 方 消 費 税 交 付 金	1,420,704	1,315,942	8.0	3.8
環 境 性 能 割 交 付 金	30,205	28,311	6.7	0.1
地 方 特 例 交 付 金	269,046	49,639	442.0	0.7
地 方 交 付 税	5,993,864	6,269,297	△ 4.4	16.2
交通安全対策特別交付金	7,265	7,434	△ 2.3	0.0
国 庫 支 出 金	6,181,750	5,866,963	5.4	16.7
県 支 出 金	3,130,745	3,012,823	3.9	8.5
市 債	2,688,063	1,961,074	37.1	7.3
合 計	36,994,895	34,597,076	6.9	100.0

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減率 (%)	令和6年度 構成比 (%)
議 会 費	251,046	229,705	9.3	0.7
総 務 費	8,892,286	8,006,879	11.1	24.6
民 生 費	11,943,203	11,651,207	2.5	33.0
衛 生 費	2,145,239	2,703,340	△ 20.6	5.9
労 働 費	71,830	71,164	0.9	0.2
農 林 水 産 業 費	1,244,400	1,414,316	△ 12.0	3.4
商 工 費	704,986	664,937	6.0	1.9
土 木 費	1,890,679	1,251,161	51.1	5.2
消 防 費	1,164,018	1,020,362	14.1	3.2
教 育 費	4,687,916	3,162,428	48.2	13.0
災 害 復 旧 費	210,791	120,439	75.0	0.6
公 債 費	1,763,357	1,762,132	0.1	4.9
諸 支 出 金	1,211,640	1,223,378	△ 1.0	3.4
合 計	36,181,391	33,281,448	8.7	100.0

(性質別歳出分析)

(単位:千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減率 (%)	令和6年度 構成比 (%)
義 務 的 経 費	13,795,814	13,250,926	4.1	38.1
人 件 費	4,308,690	3,997,333	7.8	11.9
扶 助 費	7,723,767	7,491,461	3.1	21.3
公 債 費	1,763,357	1,762,132	0.1	4.9
投 資 的 経 費	5,285,984	3,371,487	56.8	14.6
普 通 建 設 事 業 費	5,071,412	3,244,469	56.3	14.0
補 助 事 業 費	2,463,147	1,407,907	75.0	6.8
単 独 事 業 費	2,517,082	1,750,359	43.8	7.0
県 営 事 業 負 担 金	91,183	86,203	5.8	0.2
災 害 復 旧 費	214,572	127,018	68.9	0.6
消 費 的 経 費	9,708,657	9,220,921	5.3	26.8
物 件 費	4,776,421	4,964,136	△ 3.8	13.2
維 持 補 修 費	188,603	125,850	49.9	0.5
補 助 費 等	4,743,633	4,130,935	14.8	13.1
そ の 他 の 経 費	7,390,936	7,438,114	△ 0.6	20.5
積 立 金	3,747,573	3,717,818	0.8	10.4
投 資 及 び 出 資 金	856,074	902,084	△ 5.1	2.4
繰 出 金	2,487,289	2,518,212	△ 1.2	6.9
貸 付 金	300,000	300,000	0.0	0.8
合 計	36,181,391	33,281,448	8.7	100.0

令和6年度 特別会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	6,836,764	7,196,589	△ 5.0
介 護 保 険	6,247,195	6,557,780	△ 4.7
後 期 高 齢 者 医 療	1,694,002	1,559,560	8.6
合 計	14,777,961	15,313,929	△ 3.5

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	6,724,369	6,899,696	△ 2.5
介 護 保 険	6,023,640	6,324,338	△ 4.8
後 期 高 齢 者 医 療	1,691,039	1,551,900	9.0
合 計	14,439,048	14,775,934	△ 2.3

※消費税を含む。

令和6年度 企業会計歳入歳出決算額

(単位:千円)

区 分			令和6年度	令和5年度	増減率 (%)
水道事業	収益的収支	収入	1,500,670	1,496,442	0.3
		支出	1,382,549	1,358,666	1.8
	資本的収支	収入	830,621	306,303	171.2
		支出	1,493,826	1,003,513	48.9
工業用水道事業	収益的収支	収入	1,018,235	1,023,111	△ 0.5
		支出	930,007	949,720	△ 2.1
	資本的収支	収入	627,547	633,453	△ 0.9
		支出	906,660	855,126	6.0
下水道事業	収益的収支	収入	1,328,092	1,283,130	3.5
		支出	1,274,533	1,253,699	1.7
	資本的収支	収入	1,000,711	1,017,778	△ 1.7
		支出	1,295,830	1,326,965	△ 2.3

※消費税を含む。

主要な施策の成果の説明

款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
事務事業名	05	議員政務活動支援事業	6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり			
担当部課		議会事務局	施 策	27	自立した行財政運営の確立			
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,250		4,458				4,458	792	P. 86

【令和6年度における事務事業の概要】

行政運営の多様化・高度化が進む中で、議会運営の充実、審議能力向上及び議会活性化を図るため、議員の調査研究活動等に必要な経費の一部を助成しました。

○政務活動費交付限度額

- ・21名 1名当たり250,000円
- 内訳 上半期(4月) 150,000円
- 下半期(10月) 100,000円

$$250,000円 \times 21名 = 5,250,000円$$

【令和6年度における事務事業の成果】

4月1日に議員21名中20名から申請があり、交付しました。

令和7年3月提出(1名は辞職により令和6年12月提出)の収支報告書により全額返還者は0名、一部返還者は8名(令和5年度は全額返還者0名、一部返還者14名)となり、議員の調査研究活動等の活性化に努めることができました。

$$交付額5,000,000円(250,000円 \times 20名) - 返還額541,814円 = 支出額4,458,186円$$

○令和6年度 収支報告額等実績

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	2,170,210円	42%	4,458,186円 89% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	773,687円	15%	
広報費	1,531,367円	29%	
事務所費	270,000円	5%	
その他経費(通信費等)	463,236円	9%	
合 計	5,208,500円	100%	

<参考> 令和5年度(交付額 4,500,000円) 改選期により5月～3月分を交付

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	1,544,242円	43%	3,389,105円 75% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	713,960円	20%	
広報費	668,405円	18%	
事務所費	285,000円	8%	
その他経費(通信費等)	414,801円	11%	
合 計	3,626,408円	100%	

款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
事務事業名	07	議場設備等改修事業	6つの まちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	議会事務局				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
17,324	17,189			17,000	189	135	P. 86	

【令和6年度における事務事業の概要】

平成27年に導入した本会議場の音響設備が老朽化により一部故障が生じていました。修理用の一部の部品は生産が終了しており、議会中に故障した場合、議会運営に多大な支障をきたす恐れがありました。

そのため、音響設備の更新を行うとともに、より多くの市民に開かれた伊万里市議会を実現するため、リアルタイムでの自動文字起こしシステムと字幕表示を行う可動式モニター2台を導入しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年第3回定例会の開会に合わせ、音響設備の更新を行うことで、万一、議会中に故障した場合でも早急に対応することができるようになり、円滑な議会運営を担保することができました。

音響設備の更新にあたっては、議員の意見も反映し、今までの設備と操作方法が近いものを導入したため、使用者にとって、負担が少なく、使いやすい設備を導入することができました。

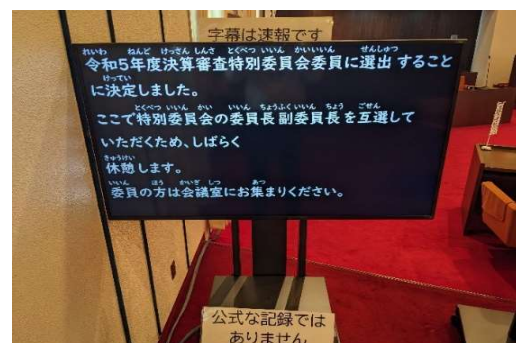
また、可動式のモニター2台のうち、1台は議会での発言をリアルタイムで字幕表示し、もう1台は一般質問の様子や資料を表示することで、議会のバリアフリー化を促進し、開かれた伊万里市議会を実現することができました。

さらに、自動文字起こしシステムは、AIにより発言内容の自動での文字変換が可能であることから、発言内容が即座に確認できることはもとより、会議録の速報版として活用できるなど、議事運営がよりスムーズになりました。また、速報として即日中に各議員に共有することで、議会だよりの原稿作成や会議録作成などの事務の効率化に繋がりました。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

設備更新後の傍聴者数（のべ人数）

令和6年		令和7年度	
第3回 定例会	第4回 定例会	第1回 定例会	第2回 定例会
18人	21人	53人	19人



自動文字起こしによる字幕表示の様子

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	04	市制70周年記念式典開催事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総務部 秘書課			施 策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,167		1,799				1,799	368	P. 90

【令和6年度における事務事業の概要】

昭和29年4月1日に、佐賀県西松浦郡の2町7村が合併して誕生した伊万里市は、市制施行70周年の節目の年を迎えたことから、市民が70周年の歩みを振り返るとともに、これからの新しい伊万里市づくりを考え、郷土への自信と誇りを持つ契機となるよう、記念式典を挙行了しました。

＊ 2町7村

伊万里町、山代町、波多津村、黒川村、南波多村、松浦村、大川村、二里村、東山代村

【令和6年度における事務事業の成果】

●記念式典の概要

日 時 令和6年11月3日（日・祝） 10時～12時
場 所 市民センター 文化ホール
内 容 ・いまり今昔物語〈スライド写真にて70年を振り返り〉
・市政功労者及び善行者表彰 … 53名（実人数）
・伊万里讃歌合唱
・パネル展

参加者 約450人

＊ 市役所市民ロビーにおいてもパネル展を実施
令和6年12月12日（木）～12月20日（金）



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	05	職員研修事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 総務課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
7,000	4,936			145	4,791	2,064	P. 92	

【令和6年度における事務事業の概要】

生産年齢人口の減少やデジタル社会の進展等により、市政運営を取り巻く状況が大きく変化する中、複雑、多様化する行政課題に対応する上で、人材育成の重要性が非常に高まっています。

このようなことから、職員一人ひとりの実務能力の向上とともに、社会の要請を敏感に感じ取る能力、新たな分野に柔軟に対応しうる適応力等、総合的な能力を持った職員が求められており、職員個々に目を向けた計画的な能力開発等を推進するために階層別研修や、事務処理スキル向上のための実務研修、様々な課題に対応するための課題研修、さらには自治大学校や県等への派遣研修を実施しました。

特に令和6年度においては、市町村アカデミー等の研修施設で集中的に専門的な内容を学ぶ派遣研修について、参加職員数を増やし職員の事務処理能力の向上を図りました。

また、今後のまちづくりに必要な視点や考え方を学び地域課題の解決に取り組むために、専門の講師を招いてまちづくり研修を実施しました。

さらに、女性職員の一層の活躍を後押しするために、専門の講師を招いてキャリアデザイン研修を実施しました。

また、職員が自主的、主体的に自分の知識や能力を向上させることを目的とした自己啓発研修助成金については、ドローン検定やITパスポート試験などのITに関連する資格取得枠を新たに設けて、職員のスキルアップを推進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

(1) 研修

次のとおり研修を実施し、職員における実務処理能力など様々な能力開発を図ることができました。また、同和問題の解決に向けて、職員の意識を高め、認識を深めることができました。

種類	回数	人数	内容
階層別研修	9回	74人	新規採用職員研修、新任係長研修、新任課長研修等
課題研修	6回	522人	女性のキャリアデザイン研修、まちづくり研修等
実務研修	25回	71人	法務基礎研修、公会計研修、クレーム対応研修等
接遇研修	2回	42人	新規採用職員接遇実践研修、組織接遇力向上研修
派遣研修	32回	34人	国、県、自治大学校、市町村アカデミー、NOMA等
同和問題研修	11回	851人	職員同和問題研修、佐賀県人権・同和教育研究大会等
その他	4回	759人	市町行政講演会、交通安全講習会等
計	89回	2,353人	

(2) 自己啓発研修助成金

延べ7人に対し、230,000円を交付し、職員のスキルアップを後押しすることができました。

(ファイナンシャル・プランニング3級、総合旅行業務取扱管理者、2級電気工事施工管理技術検定、乙種危険物取扱者試験第5類、ITパスポート試験、ドローン検定3級)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	12	防犯灯設置促進事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施 策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 94	
1,500	1,493				1,493	7		

【令和6年度における事務事業の概要】

夜間における安全を確保するため、行政区が維持管理を行う防犯灯について、設置に要する経費の2分の1を助成しました。

補助内容：補助率2分の1

新設（LED防犯灯）及び

更新（既設の防犯灯が機能せず、軽微な修繕では対応できない場合及びLED化）
上限10,000円

新設（建柱を伴うLED防犯灯）

上限20,000円

【令和6年度における事務事業の成果】

各行政区で取り組んでいる防犯灯の設置について、76行政区146基に対して補助金を交付し、夜間における安全の確保に努めました。

●過去3年の補助金交付実績

年度	行政区数	補助件数			補助金額
		新規	更新	合計	
令和4年度	80	54	92	146	1,492,200
令和5年度	71	49	97	146	1,493,600
令和6年度	76	62	84	146	1,492,825

●白熱球からLED防犯灯への更新事例



【工事前】



【工事後】

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	16 17	庁舎管理事業 庁舎管理事業（繰越明許）			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 財政課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
404, 598	380, 921		252, 100	11, 255	117, 566	23, 677	P. 98	

【令和6年度における事務事業の概要】

庁舎施設の維持管理のための業務委託等を行うとともに、庁舎空調及び照明設備改修工事については、脱炭素化推進事業債を活用し、公共施設の省エネ化に向けて事業推進を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

来庁者や職員が安全かつ安心して利用できるよう、設備等の維持管理を行うとともに、庁舎空調及び照明設備改修工事については、電気による個別空調方式に改修し、照明設備をLEDに改修する工事を行いました。

庁舎空調及び照明設備改修工事（工事全体進捗率63.2%）

（単位：千円）

内 容	決算額	内 訳 等
空調及び照明設備改修	280,188	監理業務委託 4,827 機械設備工事 166,469 電気設備工事 108,892
庁舎1Fトイレ改修	27,162	監理業務委託 1,309 建築工事 11,417 設備工事 14,436
庁舎別館防水改修	10,032	防水工事 10,032
庁舎本館及び別館エレベータ改修	5,220	設計業務委託 4,694 BELS認定申請業務委託 526
庁舎別館1階レイアウト変更 （繰越明許）	1,474	レイアウト変更工事 1,474
その他の管理経費	56,845	光熱水費 25,421 修繕料 2,278 庁舎管理業務委託 22,207 その他 6,939

【空調及び照明設備改修工事】



【庁舎1Fトイレ改修工事】



※財源内訳の「その他」のうち10,000千円は、まちづくり基金繰入金

※不用額は、令和7年度への繰越明許費22,270千円を含みます。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
事務事業名	01	広報広聴事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課				施 策	24	市政に関する情報共有と市民参画の 促進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
23, 209	19, 988	1, 897		481	17, 610	3, 221	P. 98	

【令和6年度における事務事業の概要】

市政に関する情報を市民と共有し、市民が主体的にまちづくりに参画できるように、的確でわかりやすい情報発信を目的として、毎月1日に『広報伊万里』、5月1日に『予算特集号』を発行しました。
また、ホームページやケーブルテレビ、SNSを活用し、多様な手段により、幅広く情報を発信しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

行政情報の広報活動としての『広報伊万里』では、市民に分かりやすい紙面作りを行うとともに、市のホームページの活用や、点字版（毎月5部発行）や声の広報を作成するなど多様な手法による情報発信の充実を図りました。
発行部数 年間274,234部（月平均22,853部）、紙面平均 28ページ

《 令和6年度広報伊万里発行実績 》

(単位：ページ)

発行月	特集の内容	ページ数
5月	-	32
6月	もしものときに今できること～災害に備える～ 6月は環境月間です	36
7月	我が家を空き家にしない	30
8月	8月は同和問題啓発強調月間です	28
9月	伊万里市 市制施行70周年のあゆみ	28
10月	令和5年度決算報告	26
11月	私たちが伝える介護職	34
12月	伊万里市 この1年	22
1月	まずは気づくことが大切 アンコンシャス・バイアス	28
2月	ますます便利でもっと身近な図書館に～図書館システムを利用しませんか～	24
3月	さあ、農業を始めよう	24
4月	健診のススメ	24

(合計) 336

予算特集号 14 ページ

また、ケーブルテレビ放送を用いての情報発信では、行政情報コーナーとして『こんにちは！市役所です』を毎日放送するほか、市議会開催時の中継や災害時などの緊急放送を行い、情報発信の充実を図りました。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	05	みんなの地域創造拠点形成事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 104	
6,919	6,242			6,200	42	677		

【令和6年度における事務事業の概要】

近隣大学の学生を中心に関係人口を創出する伊万里まちなかラボ活動（市内を学習及び実践の場とする活動）において、令和6年度は、長崎県立大学の学生が市内事業者との協力により、地域活性化に向けたフィールドワークの実施、新商品の開発、物産展や地域活性化フォーラムの開催等を行いました。

また、更なる関係人口の創出や拡大を目的として、大学生が市内で実施するフィールドワークやイベントでの出店にかかる経費の一部を補助する制度を創設しました。

●地域活性化起業人 馬庭亜由（派遣元：株式会社GAR00）

- 予算の内容
- ・人件費に相当する額 3,000千円
 - ・活動費に相当する額 2,570千円
 - ・公用車借上料 348千円
- 特別交付税措置
- ・令和4年度から令和6年度の3年間
 - ・人件費及び公用車借上料 10/10
 - ・受入に要する経費 上限5,600千円
 - ・起業人が提案した事業に要する経費 1/2 上限1,000千円



長崎県立大学とJA伊万里との研究契約締結式
(令和6年6月21日)

●伊万里まちなかラボ関係人口創出事業費補助金 324千円

- ・宿泊有 対象経費2/3 上限150千円
- ・宿泊無 対象経費1/3 上限100千円



道の駅伊万里で販売中
「こいが伊万里メンチ」

【令和6年度における事務事業の成果】

時期	内容	参加者延人数
4月～7月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：大川内山・鍋島焼の歴史を学ぶ、伊万里梅の商品開発、伊万里牛の商品開発 ・協力市内企業：一般社団法人伊万里市観光協会、伊万里市農業協同組合、伊万里・鍋島焼協同組合等	310人
8月～11月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：新商品開発（メンチカツ・クラフトビール）、物産展出店 ・協力市内企業：伊万里市農業協同組合、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社、有限会社伊万里グリーンファーム	316人
12月～3月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：新商品開発（メンチカツ・クラフトビール）、伊万里梨の商品開発、地域活性化フォーラム開催、物産展出店 ・協力市内企業：伊万里市農業協同組合、城月堂、伊万里商工会議所、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社	282人
合計		908人

伊万里まちなかラボ関係人口創出事業費補助金を活用し、長崎県立大学、福岡県立大学、西九州大学短期大学部から延べ67名の学生が伊万里でフィールドワークやイベントを実施し、その活動を大学のホームページやSNS等で広く情報発信されました。

（申請件数 8件【宿泊有3件、宿泊無 5件】）

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	09	行政組織機構改革事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施 策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 106	
52,744	51,467			49,929	1,538	1,277		

【令和6年度における事務事業の概要】

市民課のスマート窓口の運用に合わせて、来庁者が目的の窓口を迷わず訪れることができるよう、庁舎1階に案内サインを設置し、併せて、来庁者が窓口で快適に過ごせるよう配慮した窓口カウンターを一体的に整備しました。

そのほか、執務室のレイアウト変更に伴い、LAN配線の整備や相談室の防音改修工事なども行いました。

●庁舎1階窓口リニューアル業務委託

○受託業者：有限会社三栄商事

(協力事業者：株式会社オカムラ福岡支店、株式会社永池)

○契約金額：49,929千円（委託料）

○履行期間：令和6年10月22日～令和7年1月31日（施工作业は12/28～12/30で実施）

●その他

○健康福祉部LAN配線整備：475千円 ○市民相談室防音改修工事：495千円

○文書用キャビネット購入：472千円 ○公印等：96千円

【令和6年度における事務事業の成果】

带状の天吊りサインを採用し、表示は課名のみではなく、来庁者がよく利用する手続き名をあわせて表示しました。また、セクションごとにユニバーサルデザインに配慮した色分けを行ったことで、来庁者にとってわかりやすい窓口にすることができました。

このほか、ゆとりある窓口カウンターに更新したことで、来庁者が快適に過ごすことができる窓口にすることができました。

【総合案内付近】



【子育て支援課付近】



※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	11	M I R A I 世代応援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	総合政策部 企画政策課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 108	
2,075	2,072			2,000	72	3		

【令和6年度における事務事業の概要】

市制施行70周年を記念し、子育て世代が集まり交流する機会を創出し、子育て環境の向上を図るため、市内の未就学児及びその家族を対象としたファミリーコンサートを伊万里市民センターで開催しました。

●概要

- 子ども向け音楽ユニット「ケロボンズ」によるファミリーコンサートの開催
- はたらくのりものやエア遊具、キッチンカー等によるイベントの同時開催
 - ・開催手数料：1,238千円
 - ・イベント遊具等借上料：604千円
 - ・イベントPRチラシ印刷：66千円
 - ・協力事業者への謝礼等：49千円
 - ・その他消耗品等：115千円
 - 計：2,072千円

●開催日時 令和6年11月24日（日）午前・午後の2回公演

●その他 入場料無料（ファミリーコンサートは事前予約制）

【令和6年度における事務事業の成果】

当日はおおよそ2,000人が来場され、多くの家族連れでにぎわいました。

コンサート入場者351組に実施したアンケートでは、57組から回答をいただき、99%が「満足」、「やや満足」という回答でした。（1%は「どちらともいえない」）

また、子育て世代からはコンサートやキャラクターショーなど子ども向けイベントの定期開催を望む声が多いことがわかり、今後の子育て支援策を検討する上で貴重な意見を得ることができました。

●ファミリーコンサートチケットの申込・当落選状況（抽選）

【総数】456組 1,382人 【当選】376組 1,116人 【落選】80組 266人

●ファミリーコンサート 入場実績

【午前の部】179／193組（92.7%） 515人／558人

【午後の部】172／183組（94.0%） 525人／558人

【当日の様子】



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	12	プロジェクト推進事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 プロジェクト推進課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
380	355				355	25	P. 108	

【令和6年度における事務事業の概要】

若者の市外流出の抑止や地域の人材確保等に寄与する高等教育機関の誘致により、市が掲げる重点施策の実現に向けた取組を推進しました。

その他、公民連携によるまちづくりや公共空間の活用に対する職員の知識や能力の向上を図るため、関係職員向けの公民連携セミナーを開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

学生や企業からのニーズは高いながらも、佐賀県内には設置されていない高等専門学校（高専）の立地の可能性を検討するため、沖縄高専以来19年ぶりに新設された私立「神山まるごと高専」の視察を行い、今後の取組の方向性を検討する上での参考とすることができました。

また、都市のリノベーションや公共空間の再生に取り組む伊万里市出身の建築家、馬場正尊氏（オープン・エー代表取締役）を講師に迎えて開催した公民連携セミナーを通じて、地域課題の解決や行政サービスの向上につながる公民連携に対する職員の理解を深めることができました。

- ・ 公民連携セミナー参加者50名
※ 県政策部MIGAKI担当職員など佐賀県職員5名を含む

(R6. 10. 19 徳島県神山まるごと高専視察)



(R7. 1. 31 公民連携セミナーの開催)



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	13	ファシリティマネジメント 推進事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 プロジェクト推進課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 108
12,472		10,539			5,900	4,639	1,933	

【令和6年度における事務事業の概要】

公共施設の適正管理と将来を見据えた整備の推進を目的に、以下の取組を実施しました。

公共建築物の計画的な維持管理を推進するため、公共施設マネジメントシステムによる施設データの一元管理や業務の効率化、制度化した定期点検への取組に加え、公共施設照明設備のLED化に向けた調査・設計を実施しました。

また、跡地および低未利用施設の活用については、旧市民会館跡地や老朽化が進む周辺の既存施設の今後の利活用を検討するため、先進地の視察を実施し、利活用に向けた基本計画等を策定しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

制度化された定期点検により、施設の予防保全と安全確保が実現したほか、点検結果をシステムに集約することで、各施設の状況を効率的に管理することが可能となり、総合管理計画など各種計画の見直しや調整時の参考資料として活用できるようになりました。

また、これまでLED化に着手していなかった比較的小規模な公共施設を中心に、照明設備のLED化を進めるための調査・設計を実施することができました。

さらに、市民会館跡地の利活用については、宮崎県都城市「mallmall（まるまる）」などの先進地視察を実施するとともに、総合的な整備に向けた基本構想や「伊万里市子育て応援拠点複合施設（仮称）整備基本計画」を策定するなど、事業の構想に取り組むことができました。

(R7.2.17 宮崎県都城市「mallmall」視察)



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	14	ふるさと応援寄附募集事業	6つの まちづくり		06	自立と協働のまちづくり		
担当部課	総合政策部 財政課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 110	
1,490,955	1,363,267			1,363,267	0	127,688		

【令和6年度における事務事業の概要】

- ふるさと納税ポータルサイトに、伊万里牛・伊万里梨をはじめとした農産物や伊万里焼、海産物、地酒などのお礼の品を掲載し、ふるさと応援寄附金の募集を行いました。
- ふるさと納税の促進を図るため、本市特産品を掲載するポータルサイトを従来の10から6つ増やし、16のポータルサイトを通じ寄附を募りました。
新規のポータルサイト マイナビふるさと納税、JRE MALLふるさと納税、ふるぽち、Yahoo!ふるさと納税、Amazonふるさと納税、まいふる
- ポータルサイト内のメール配信機能を活用し、メールマガジンを年41回、計822,900件届けました。開封率は84.1%で本市特産品のPRとあわせ、シティプロモーションの推進に寄与しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

●令和6年度寄附実績

1. 産業振興による「活気あふれるまち」づくり	4億7,982万7,500円
2. 地域資源を活かした「行きたいまち」づくり	1億9,087万5,300円
3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」づくり	8億3,572万7,800円
4. 時代にあった都市づくりで「安心して住みたいまち」づくり	1億6,243万4,300円
5. 市長お任せ	10億5,262万1,600円

令和6年度合計 27億2,148万6,500円

●令和5年度との比較

令和5年度寄附件数	124,487件	
令和6年度寄附件数	179,897件	44.5%増
令和5年度寄附金額	23億8,939万1,640円	
令和6年度寄附金額	27億2,148万6,500円	13.9%増

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【ポータルサイト内特集画像】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	15	移住・定住促進事業			6つの まちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策		28	移住・定住の促進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
49,436	42,353	21,600		19,825	928	7,083	P. 110	

【令和6年度における事務事業の概要】

本市のプロモーション映像やガイドブック、リーフレットの活用や、ウェブサイトやインスタグラム、LINE公式アカウントなどのSNS等を通じた情報発信をはじめ、東京や大阪、福岡などの都市部における対面式で開催される移住相談会への出展、近県大学訪問によるPR活動など、移住・定住促進のためのプロモーションを推進しました。

また、移住・定住支援員1名を継続配置し、移住・定住相談窓口を設置して、移住希望者へのきめ細やかな情報提供や相談対応を行いました。

移住・定住に係る支援制度については、支援制度チラシの全戸配布をはじめ、高校の同窓会など様々な機会を捉えてPRを行いました。更には、転入者で市内に住宅の新築や空き家を購入する者に対する奨励金について、交付要件の緩和や子育て世帯に対する加算など制度の見直しを行ったほか、首都圏及び県外、市外から市内企業への就職者に対する支援金を交付するなど、移住・定住の促進を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

【申請実績】

・移住支援金	1世帯	4名
・いまり暮らしスタート支援金	58世帯	81名
・移住促進奨励金（新築・空き家購入）	6世帯	19名
合計	65世帯	104名



■移住相談会の様子



※財源内訳の「その他」のうち19,600千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	16	シティプロモーション推進事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策	28	移住・定住の促進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 112	
13,696	13,612			13,600	12	84		

【令和6年度における事務事業の概要】

福岡都市圏の30代女性をメインターゲットに、本市の魅力を更に高め市内外に広く伝えるため、外部人材と引き続き連携しながら、SNS等を活用した本市のPRに取り組みました。

また、本市出身の人気作家である小森陽一氏と連携して市制施行70周年記念事業を実施したほか、令和5年度に引き続き本市の魅力を福岡都市圏に対してPRするイベントを開催しました。

更に、本市の情報を福岡都市圏に対して効果的に発信するため、SAGA2024国スポ・全障スポの開催に合わせた観光特集記事や、「鍋島藩窯開窯350周年を迎える大川内山」と「リニューアルオープンした道の駅伊万里」をPRする記事を、福岡都市圏最大のフリーペーパー「ファンファン福岡」等に掲載しました。



【令和6年度における事務事業の成果】

▲ファンファン福岡

○外部人材

地域ブランディング向上アドバイザーと連携し令和5年6月に発表した市のロゴマークを正しく使用するための「伊万里のブランドイメージロゴデザインガイドライン」を改訂し、ロゴマークをより広く活用してもらうことができました。

また、SNSアンバサダーやシティプロモーション公認サポーターとの連携で、SNSでの発信を強化することができました。

▶石本愛氏によるイマリックトック (TikTok) 配信実績

・投稿数：32回 ・総再生回数：約25万回 (R7年4月現在)

○市制施行70周年記念事業

小森陽一氏と連携して「陽心塾」を開催し、郷土愛の醸成を図ることができました。

- ・第1弾 これからのモノづくりを担う学生等との大川内山体感企画
- ・第2弾 映画や特撮の世界観を伊万里で体感する小森氏ワールド全開企画
- ・第3弾 小森氏が特にフィーチャーしてきた海上保安庁との郷土愛醸成企画
- ・第4弾 小森氏の世界観に触れる市民図書館連携企画

※第3弾は荒天により中止

○伊万里フェア いまりできまり

福岡市にある六本松蔦屋書店において、1月と3月にそれぞれ2日ずつ開催しました。

- ・総来場者数：延べ14,323人
- ・総売上額：1,821,949円

○主な支出

▶委託料

- ・市制施行70周年記念事業 4,950千円
- ・福岡でのプロモーションフェア 4,400千円

▶広告料

- ・フリーペーパー等でのPR記事掲載 2,530千円

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金



▲「陽心塾」第4弾の展示



▲「伊万里フェアいまりできまり」の会場の様子

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	17	道の駅伊万里再生支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 114
22,602		22,600			20,000	2,600	2	

【令和6年度における事務事業の概要】

道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」のサービス向上のため、再整備を行った伊万里市農業協同組合に対して補助金を交付しました。

また、情報発信機能の改善のため、特産館内に24時間情報提供を行う、デジタルサイネージを導入しました。

○道の駅伊万里再整備支援事業費補助金

▶事業実施主体

- ・伊万里市農業協同組合

▶補助率

- ・補助対象経費の2分の1以内

▶補助対象経費

- ・駐車場の整備に要する経費
- ・地域の公園的施設の整備に要する経費

▶補助金額

- ・20,000,000円

▶再整備の内容

- ・生鮮三品を取り扱う特産館の新設
- ・公園的施設の新設
- ・第1駐車場を新規整備
- ・トイレ内にベビーベッド及び授乳イスを新規設置
- ・農畜産物加工棟2Fに展望台兼交流施設を新設
- ・身障者用駐車場からトイレまで点字ブロックを新設

○デジタルサイネージ導入業務委託

▶受託者

- ・伊万里ケーブルテレビジョン株式会社

▶設置に要した経費

- ・2,530,000円

▶情報提供の内容

- ・周辺の道路情報
- ・気象情報
- ・地域の観光情報
- ・緊急医療情報 など



▲設置されたデジタルサイネージ

【令和6年度における事務事業の成果】

西九州自動車道の延伸や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響によって利用者数が減少した道の駅伊万里が、大規模な再整備により、福岡都市圏からの観光の玄関口として活気あふれる施設に生まれ変わる一助となりました。



▲リニューアルされた道の駅伊万里



▲道の駅内に新設された公園的施設

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	18	I M A R I デジタル塾開催事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 企画政策課				施 策	25	市民との協働によるまちづくりの推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,958	1,958	0	0	1,900	58	0	P. 114	

【令和6年度における事務事業の概要】

本市のビジネス支援オフィス「バンリビル」を舞台とし、子ども、高校生、子育て世代、高齢者等を対象に、市内進出IT企業と連携して、プログラミングやAI等のデジタル技術を習得できる、伊万里市独自の学びや交流を楽しめる場を提供しました。

- ・対 象 者：子ども、高校生、子育て世代、高齢者
ビジネスパーソン等
- ・定 員：各回10～15名程度
- ・開催時期：令和6年8月～令和7年2月 全7回
(デジタルに関する相談等をLINEにて随時受付)
- ・開催場所：伊万里市ビジネス支援オフィス「バンリビル」2階共用スペース
- ・内 容：デジタル全般の講座（プログラミング、リモート・テレワーク
チャットGPT、生成AI、高齢者向けスマホアプリ講座等）
- ・講 師：タイムカプセル株式会社 ＊市内進出IT企業
- ・共 催：株式会社 万里、株式会社 朝日興産(市街地大型ビジョンで開催周知協力)



【令和6年度における事務事業の成果】

時期	内容	参加者 (延人数)
8月2日（金）	チャットGPT、AIの仕組みとビジネス実践塾 (20代以上対象)	14人
8月16日（金）	デジタルナビゲーション塾（デジタル全般の相談室） (全世代対象)	8人
9月12日（木）	スマートフォンを活用したデジタルシニア養成塾 (60歳以上対象)	16人
10月26日（土）	在宅勤務のためのコミュニケーション塾 (20代～40代対象)	7人
12月7日（土）	デジタルツールを活用したアート&インターネット 安全教室（親子対象）	22人
1月16日（木）	プログラミング塾～応用編①～ (小・中学生以上対象)	15人
2月20日（木）	プログラミング塾～応用編②～ (小・中学生以上対象)	18人
合計		100人



※上記期間中LINE相談窓口開設 相談件数17件



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	01	男女協働参画推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施 策	26		男女協働参画社会の形成
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 114	
940	631				631	309		

【令和6年度における事務事業の概要】

- ・市民と行政との協働による男女協働参画社会の実現を目指す、男女協働参画懇話会「いまりプラザ」、「伊万里市男女協働推進活動支援実行委員会」と連携し、啓発活動等に取り組みました。
- ・各地区と団体から推薦された女性を「いまり女性ネットワーク」に会員として登録し、その会員に審議会等の委員として参画してもらうことで、女性の参画拡大を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○男女協働参画懇話会「いまりプラザ」15期委員と啓発活動を実施する「伊万里市男女協働推進活動支援実行委員会」と連携し、男女協働参画社会の実現のため積極的な啓発活動を行い、男女協働参画意識の市民への浸透を図りました。

- ・懇話会開催（10回 延べ130名）
- ・フォーラムやセミナーの開催（3回 参加者106名）
- ・出前講座の実施（2回 参加者41名）
- ・「いまりプラザだより」発行（2回）
- ・学習会の開催（3回 参加者48名）
- ・DV根絶啓発パネル展（1回）
- ・男女共同参画週間啓発パネル展の実施（1回）
- ・DV防止街頭キャンペーンの実施（2回）
- ・パープルライトアップ実施（4事業所）



ハートフルフォーラム

- 「いまり女性ネットワーク」
（53名が登録、31審議会等に延べ32名参画）
- ・セミナー参加等（2回 19名参加）



男女協働参画フォーラム

○働き方改革等に関する職員研修会

- ・「みんながきらめくまちづくりのヒント」（推進会議幹事31名）
- ・「ハラスメント防止研修会」（課長職以上21名）
- ・「ワーク・ライフ・バランスを充実させるために」（副主査級47名）



親子体験教室



啓発用横断幕設置



パープルライトアップ

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	01	市民相談事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 暮らしづくり課			施 策	23	暮らしの安全・安心の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,224	1,224				1,224	0	P. 114	

【令和6年度における事務事業の概要】

社会情勢の変化やそれに伴って起こる様々な問題、悩みに市民が直面したときに、手助けになるように各種相談窓口を開設し、弁護士など専門の相談員を配置しました。

相談対応依頼先

相談の種類	依頼先	相談日
法律相談	佐賀県弁護士会唐津部会	毎月第2,4水
司法書士相談	伊万里市内の司法書士	毎月第3水
公証人相談	唐津公証役場	毎月第3木
人権相談	佐賀地方法務局伊万里支局	毎月第1,3火
行政相談	佐賀行政監視行政相談センター	毎月第3金
不動産相談	(公社) 佐賀県宅地建物取引業協会	毎月第2木

【令和6年度における事務事業の成果】

相談受付件数

※増減は、対前年度比

相談の種類	R3	R4		R5		R6	
	件数	件数	増減	件数	増減	件数	増減
法律相談	194	186	△8	173	△13	173	0
司法書士相談	34	38	4	39	1	44	5
公証人相談	21	33	12	31	△2	28	△3
人権相談	1	2	1	4	2	1	△3
行政相談	4	8	4	4	△4	4	0
不動産相談	18	8	△10	17	9	17	0
合 計	272	275	3	268	△7	267	△1

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	02	消費生活相談事業	6つの まちづくり			05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 暮らしづくり課			施 策		23	暮らしの安全・安心の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,507	4,480	92			4,388	27	P. 114	

【令和6年度における事務事業の概要】

巧妙で複雑多岐にわたる消費者トラブルの相談を迅速かつ的確に処理し、被害を未然に防ぐため、「NPO法人消費生活相談員の会さが」に委託し、相談業務を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

年間243日相談日を開設し、440件の相談がありました。

	商品・役務名	件数	内 容
1	金融・保険サービス	68	借金問題、クレジットカード・ヤミ金、生命保険、ロマンス詐欺などに関するトラブル
2	土地・建築・設備	29	賃貸借契約、新築・中古住宅、太陽光発電システム、外壁塗装工事等に関するトラブル
3	運輸・通信サービス	42	携帯電話サービス、光回線、固定電話サービス、衛星放送、公共放送などのトラブル
4	保健衛生品	47	化粧品(白髪染め、しわ・しみ改善クリーム、歯磨き粉、シャンプー)、医薬品などの定期購入に関するトラブル
5	教養娯楽サービス	30	アダルトサイト、出会い系サイト、オンラインゲーム、英語学習アプリ、マッチングアプリ、リゾート会員権などのトラブル
6	商品一般	45	不審な電話・メール、架空請求はがき・ポイントサービスなどの相談
7	被服品	12	婦人服、靴、貴金属、バッグ、着物、アクセサリーなどの契約トラブル
8	教養娯楽品	15	スマートフォン、書籍、新聞などの契約トラブル
9	住居品	23	サーキュレーター、電気ヒーター、敷パッド、布団の打ち直しなどの契約に関するトラブル
10	食料品	35	健康食品、サプリメントなどの定期購入に関するトラブルなど
11	その他	94	上記以外の相談
年間相談件数 440 件			

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	01	コミュニティバス等運行事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 暮らしづくり課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
29,673	26,390			26,300	90	3,283	P. 116	

【令和6年度における事務事業の概要】

高齢者や学生をはじめとした市民の日常生活を支える交通手段を確保するとともに、公共交通機関の充実を図るため、市街地の公共施設や商業施設、病院、住宅地などを循環する「いまりんバス市街地線」、伊万里駅を中心とする半径4km圏内を循環する「いまりんバス郊外線」、山代町内の交通空白地域内を巡回する「いまりんバス地域線」の運行を西肥自動車株式会社に委託しました。

また、松浦町及び二里町においては、デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の運行を西肥亀の井タクシー株式会社に委託しました。

加えて、武雄市が運行委託するコミュニティバス「武雄桃川線」の運行費負担金として970,000円を支出するとともに、市民や関係者との地域交通についての合意形成の場として設置している「伊万里市民と考える地域交通会議」の負担金として60,000円を支出しました。

【運行委託料】

いまりんバス 市街地線 14,916,851円
地域線 1,929,307円
郊外線 5,916,738円

デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）
松浦町 1,584,310円
二里町 852,750円



市街地線を運行するいまりんバス車両（乗客32人乗）

【令和6年度における事務事業の成果】

いまりんバス及びデマンドタクシーの運行委託により、市民の日常生活を支える交通手段を確保することができました。利用実績は次のとおりとなりました。

いまりんバス 市街地線 44,206人
地域線 836人
郊外線 3,589人

デマンドタクシー
松浦町 274人
二里町 84人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと
応援基金繰入金



郊外線、地域線を運行するいまりんバス車両（乗客12人乗）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	02	バス交通支援事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 暮らしづくり課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
100,749	97,759			97,700	59	2,990	P. 116	

【令和6年度における事務事業の概要】

通学や買い物、通院など市民の日常生活を支える交通手段を確保するため、路線バスの運行費補助金として74,729,000円を支出しました。

また、地域が主体となった新たな交通体系への補助金として下記のとおり支出を行いました。

東山代町「元気バス」	11,366,000円	(平成21年 4月 1日運行開始)
波多津町「波多津ふれあい号」	3,148,000円	(平成28年 1月18日運行開始)
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,965,000円	(平成29年10月 2日運行開始)
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	4,456,000円	(平成30年 3月20日運行開始)



東山代町元気バス



波多津ふれあい号

【令和6年度における事務事業の成果】

路線バスの運行経費のほか、地域が主体となって取り組む地域コミュニティバス等に対する運行経費への補助を行い、市民の日常生活を支える交通手段を確保することができました。路線バス及び地域コミュニティバスの利用実績は次のとおりとなりました。

路線バス	123,086人
東山代町「元気バス」	5,474人
波多津町「波多津ふれあい号」	7,150人
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,368人
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	2,917人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



大川町コミュニティすこやかバス



町内巡回バスくろがわ号

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	03	鉄道交通支援事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 暮らしづくり課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
22,352	21,809	940		20,800	69	543	P. 118	

【令和6年度における事務事業の概要】

第三セクター方式により運営される松浦鉄道株式会社を支援するため、「松浦鉄道自治体連絡協議会」に対し負担金60,000円を支出したほか、同社が取り組む、老朽化した鉄道設備等の更新などの安全対策に対し、国庫補助額を除く施設整備事業費補助金として、20,186,000円を支出しました。

また、JR筑肥線の沿線自治体で組織している「筑肥線複線化電化促進期成会」に対し、負担金として41,000円を支出しました。期成会では、利用促進に関する事項、利用しやすいダイヤの改正、利用環境に関する事項など、快適な輸送サービスについての要望・提案活動を国やJR九州に対して行いました。

なお、燃料費高騰により影響を受けた松浦鉄道株式会社に対し1,028,000円の公共交通維持確保支援金を支出し、公共交通の維持確保に努めました。

加えて、イベント鉄道利用案内掲載等奨励金90,000円を支出するとともに、駅の賑わいづくりや鉄道の利用促進を図るため、絵画コンクール等の取り組みを行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

松浦鉄道株式会社への施設整備事業費に対する沿線自治体と協調した補助を通じて、旅客輸送の安全を確保することができました。

また、JR筑肥線沿線自治体で組織する「筑肥線複線化電化促進期成会」による鉄道事業者等への要望活動を通じ、利便性の維持に努めるとともに、本市、JR九州、唐津市、県で組織する「筑肥線（伊万里～唐津）活用に関する検討会」では、ロマンシング佐賀列車の運行、JR筑肥線（伊万里～唐津）の利用促進に取り組みしました。

加えて、松浦鉄道株式会社において、松浦鉄道自治体連絡協議会の補助金を活用し、MR久原駅の駅壁画のリニューアルが実施されました。

松浦鉄道利用者数（伊万里市管内駅乗降客数） 519,574人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



MR久原駅に設置された山代東小学校児童による駅壁画

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	01	交通安全指導員活動事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 防災危機管理課				施 策	23	暮らしの安全・安心の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
5, 556	4, 989				4, 989	567	P. 120	

【令和6年度における事務事業の概要】

市内における交通安全活動の推進を図り、市民の交通安全を確保するため、交通安全指導員を配置し、児童・生徒の通学時を中心とした交通安全指導を行いました。

伊万里地区	2人	黒川町	3人	二里町	3人
牧島地区	1人	波多津町	3人	東山代町	3人
大坪地区	3人	南波多町	2人	山代町	3人
立花地区	2人	大川町	1人	合 計	31人
大川内町	2人	松浦町	3人		

【令和6年度における事務事業の成果】

児童・生徒の通学時や市内の各種イベント等において街頭指導に取り組み、交通安全意識の高揚を図りました。



新入学生徒自転車一斉点検の様子

- ◆自転車点検(前照灯、ブレーキなど)
- ◆安全指導(二人乗りや並列進行禁止など)



交通安全指導員研修会の様子

- ◆応急手当講習(伊万里・有田消防組合)
- ◆交通安全指導要領等講習(伊万里警察署)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	02	交通安全啓発事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 防災危機管理課				施 策	23	暮らしの安全・安心の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
438	382				382	56	P. 120	

【令和6年度における事務事業の概要】

「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」のスローガンのもと、関係機関や団体の協力を得て、市民への交通安全の啓発活動を実施しました。

●交通安全県民運動における主な取り組み

- 【春：4月】 新入学児童を交通事故から守る日キャンペーン（街頭指導）
参加者：市、各地区（町）交通対策協議会、新入児保護者等
- 【夏：7月】 体験 de 交通安全 in 図書館
参加者：市、伊万里警察署、JAF、市民 など
高齢者交通安全指導員講習会
参加者：市、高齢者交通安全指導員、伊万里警察署 など
- 【秋：9月】 外国人を対象とした交通安全教室
参加者：市、市内在住の外国人、市国際交流協会、伊万里警察署 など
交通安全教室
参加者：市、立花小学校1・2年生、立花地区交通対策協議会、市交通安全指導員会、ヤマト運輸㈱、伊万里警察署 など
- 【冬：12月】 交通安全教室
参加者：市、山代東小学校1・2年生、山代町交通対策協議会、市交通安全指導員会、ヤマト運輸㈱、伊万里警察署 など

【令和6年度における事務事業の成果】

交通安全県民運動期間の機会を捉えて、ImariLine作戦などにより、ドライバーへ交通事故防止を呼びかけたほか、年間を通して飲酒運転の根絶および子どもと高齢者の事故防止を重点において取組を行いました。

また、高齢者の交通事故を防ぐため、実技指導や踏み間違い防止装置搭載車の乗車体験などを取り入れた高齢者の交通安全教室を実施しました。

このほか、新入学児童を交通事故から守るため、新1年生全員へ黄色いランドセルカバーを贈呈するなど交通安全意識の啓発に努めました。



交通安全県民運動期間の取組

- ◆体験 de 交通安全 in 図書館
パトカー乗車体験、こども安全免許証交付
交通安全シミュレーター体験を実施



高齢者交通安全教室(伊万里自動車学校)

- ◆伊万里警察署による講話
◆サポートカー体験
◆横断歩道の危険性

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	02	全庁ネットワーク運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施 策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 122	
168,154	163,994			986	163,008	4,160		

【令和6年度における事務事業の概要】

地方公共団体相互のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図るための高度なセキュリティを維持した（インターネットから分離）行政専用の組織内ネットワークであるLGWAN（Local Gaverment Wide Area Network）と接続する 庁内のネットワークである全庁ネットワークシステム等の適正な維持管理を行いました。

また、技術部門のCAD・GISシステムの整備と運用に取り組みました。

※CAD（Computer Aided Design）：パソコン上で製図を行うためのシステム

※GIS（Geographic Information System）：地理情報等をパソコン上で作成・保存・利用・管理・表示・検索するシステム

【令和6年度における事務事業の成果】

○全庁ネットワークパソコンの導入・更新実績

年度	事務職員用パソコン	技術者用パソコン
R2	100台	6台
R3	60台	6台
R4	50台	-
R5	150台	11台
R6	100台	-

- 通信管理の一元化や災害時の早期復旧に対応できるよう、コミュニティセンター等の出先機関のネットワーク機器の更新及び無線化を行いました。

- 人事給与・庶務事務・文書管理システムを更新し、文書管理システムには新たに電子決裁機能を導入しました。

- 第4次LGWANの機器の保守期限到来に伴い、第5次LGWANへの更改を行いました。これにより、行政事務のセキュリティ強化と利便性向上を図るとともに、基幹業務システムの標準準拠システムへの移行に対応することが可能となりました。

（※第5次LGWAN（LGCS）にてガバメントクラウドに接続）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	03	基幹業務システム管理運営事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
112,568	106,239	3,876		19,457	82,906	6,329	P. 124	

【令和6年度における事務事業の概要】

住民記録や税の賦課徴収、国民健康保険、介護保険など住民生活に密接にかかわる情報の管理・運用を行いました。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 住民票・人口統計 | ⑫ 国民年金 |
| ② 印鑑登録 | ⑬ 後期高齢者医療 |
| ③ 選挙人名簿管理 | ⑭ 介護保険 |
| ④ 固定資産税（賦課課税） | ⑮ 児童手当 |
| ⑤ 個人住民税（申告納税） | ⑯ 教育 |
| ⑥ 法人住民税（申告納税） | ⑰ 行政基本 |
| ⑦ 軽自動車税（賦課課税） | ⑱ 公営住宅 |
| ⑧ 総合収納管理 | ⑲ 下水道受益者負担金 |
| ⑨ 総合滞納管理 | ⑳ 住基ネット |
| ⑩ 国民健康保険（資格） | ㉑ 団体内統合宛名 |
| ⑪ 国民健康保険税 | |

【令和6年度における事務事業の成果】

- 地方税電子申告支援サービスその他申告申請手続きの電子化を行いました。
- 基幹業務システムの契約業者と月1回の定例会を行い、適切なシステム運用と法改正に対応するシステム改修を行いました。
- 基幹業務システムについては、年間を通じて概ね円滑にサービスを提供することができました。システムの稼働率は、下表のとおりです。

〈システム稼働率〉

(時間単位：分)

システム名	対象システム運用時間	業務停止時間	システム稼働率
住民情報	131,220	91	99.93%
受益者負担金	131,220	0	100.00%
選挙	131,220	0	100.00%
総合福祉	131,220	91	99.93%
健康管理	131,220	91	99.93%
公営住宅	131,220	98	99.93%
滞納管理	131,220	0	100.00%
税務LAN	131,220	0	100.00%

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	04	D X 推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施 策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 124	
134, 141	132, 812	101, 952		26, 700	4, 160	1, 329		

【令和6年度における事務事業の概要】

市民の視点に立った住みやすい環境づくりを実現するために、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、公共施設利用案内システムを導入しました。

また、デジタル基盤改革支援補助金を活用し、令和7年11月から新たに稼働する基幹業務システム標準準拠システムへの移行作業を令和5年度から引き続き実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○公共施設利用案内システムの導入

個人や団体での活動に使用できる市の公共施設の会議室や体育館などの空き状況の確認や予約・支払いがスマートフォンやパソコンなどのできる公共施設利用案内システムを令和7年3月から導入し、1, 996件の利用がありました。

伊万里市公共施設利用案内システム

空き状況の確認 催事案内 施設のご案内 利用の手

詳細な条件から施設を検索

施設の空きを見る

施設の空き状況を見ることができます。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
リハーサル室 (72人)	-			●					●				×
第1会議室 (18人)	-			×			●		×				×
第3会議室 (18人)	-			●			●		×				×
第5会議室 (24人)	-			●			●		×				×
第6会議室 (40人)	-			●			×		×				×
文化ギャラリー (150人)	-						×						×
一般教養室(1) (40人)	-			●			●		×				×
一般教養室(2) (64人)	-			×			×		●				×
文化講座室・調理室	-			●			●		×				×
文化講座室	-			●			●		×				×
調理室	-			●			●		×				×
情報化教室	-			●			●		×				×
クラフト室 (25人)	-			●			●		×				×

利用者サイトから、各施設の空き状況の確認及び予約・支払いが可能。

○基幹業務システム標準準拠システムへの移行作業

令和7年度の円滑なシステム移行に向けて、文字の標準化・データクレンジングに取り組むとともに、随時システムへのデータ移行を進めました。さらに、標準準拠システム利用に必要な初期設定を行い、庁内ネットワークとの接続環境の調整を行いました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	18	国際交流推進費
事務事業名	01	国際交流推進事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 地域づくり課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,686	1,091	40			1,051	595	P. 126	

【令和6年度における事務事業の概要】

友好交流都市である中国大連市との継続的な交流を核として、市民の国際交流への理解と関心を高めました。また、市内在住の外国人が増加しているなか、地域日本語教室の開催を通じて、生活面や語学面でのサポートを行い、多文化共生を推進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○友好交流都市である中国大連市から、大連市人民政府副秘書長の周延氏及び大連市人民対外友好協会駐会副会長の姜春梅氏の訪問を受けました。

○外国人のための「ワンストップ相談窓口」を開設し、40件（前年比11件減）の相談を受け付けました。

○「日本語教室Awesome IMARI」を13回開催しました。

参加者計620人（うち学習者計407人）

- 第1回 7月15日 着付け教室IN大川内山
- 第2回 9月 7日 国際DAYキャンプINすみやま
- 第3回 9月22日 自転車教室
- 第4回 10月 6日 「Pepper」と学ぼう！防災教室
- 第5回 10月24日 和菓子作り
- 第6回 11月 9日 「コキアを見ながら」国際DAYキャンプIN川内野
- 第7回 11月10日 指導者養成講座実践：聞き方の教育
- 第8回 11月24日 さが国際フェスタ
- 第9回 11月29日 タウンミーティングIN啓成中学校
- 第10回 1月25日 国際交流ひろば
- 第11回 2月 7日 キムチづくり
- 第12回 3月 2日 着物姿で古伊万里通りのおひなさまを見に行こう
- 第13回 3月16日 ボウリング大会

・委託料 680,840円

○市民の国際交流への理解と関心を高めるため、民間レベルでの国際交流を行う2団体へ支援を行いました。

- ・負担金 30,000円 市日中友好協会
- ・補助金 90,000円 市国際交流協会



第3回日本語教室「自転車教室」



第10回日本語教室「国際交流ひろば」

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	02	地域づくり推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 地域づくり課			施 策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 126	
11,507	10,284			10,250	34	1,223		

【令和6年度における事務事業の概要】

人口減少や少子高齢化が急進していくなか、住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまちを目指し、地域づくりサポーターを配置する等して、地域課題の解決や身近なまちづくりの取組に対して支援を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度から新たに3人の地域づくりサポーター（集落支援員）を配置し、サポーターの活動や地区のコミュニティ運営協議会のまちづくり計画に基づく地域住民の交流を促進する取組に対して支援を行いました。

○地域づくりサポーター … 7人

- ・波多津コミュニティセンター 1人 (R2. 4.1から継続)
- ・黒川コミュニティセンター 1人 (R2. 10.1から継続)
- ・大坪コミュニティセンター 1人 (R4. 4.1から継続)
- ・山代コミュニティセンター 1人 (R5. 10.1から継続)
- ・牧島コミュニティセンター 1人 (R6. 4.1から新たに配置)
- ・松浦コミュニティセンター 1人 (R6. 4.1から新たに配置)
- ・二里コミュニティセンター 1人 (R6. 4.1から新たに配置)

＜事業費＞

- ・費用弁償： 276千円
- ・消耗品費： 550千円
- ・燃 料 費： 322千円
- ・使用料及び賃借料：1,957千円 公用車リース料
- ・負 担 金： 29千円
- 合 計： 3,134千円

○地域づくり交付金

地区名	交付金額	主な事業
伊 万 里 地 区	550,000円	子ども伊万里塾、啓蒙舎塾
牧 島 地 区	550,000円	カブトガニとホテルの保護事業、住民ヘルスアップ事業
大 坪 地 区	550,000円	大坪の夢プロジェクト、地域コミュニティ醸成事業
立 花 地 区	550,000円	たっしゅかネットワーク事業
大 川 内 町	550,000円	秘窯の里ふれあいウォーキング、せいらサマースクール
黒 川 町	550,000円	家読のすすめ推進事業、外国人実習生との交流事業
波 多 津 町	550,000円	みんなで学ぼう！波多津塾、波多津花いっぱい活動
南 波 多 町	550,000円	フットパス研究・開催事業、京の峰塾開催事業
大 川 町	550,000円	ふるさと祭り・やってみゅーだ
松 浦 町	550,000円	松浦ハッピーフェスティバル開催事業
二 里 町	550,000円	地域環境整備事業、寺子屋事業
東 山 代 町	550,000円	史跡巡りウォーキング大会開催事業、伝統文化教室事業
山 代 町	550,000円	はる爛漫桜ウォーク、山代町移動支援事業
合 計	7,150,000円	

※財源内訳の「その他」のうち、7,150千円は、まちづくり基金繰入金、3,100千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	03	市民活動促進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 地域づくり課			施 策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 128	
9,506	8,799	2,706		6,000	93	707		

【令和6年度における事務事業の概要】

自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として行うコミュニティ助成事業を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品を整備する費用に対して助成を行いました。

また、伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業では、県の補助事業を活用し、地域に存在する自然、人等の地域資源を活かした自発の地域づくりに取組む実施事業主体に対して補助を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

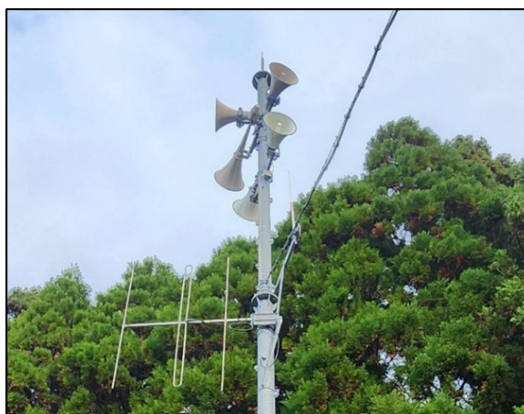
○コミュニティ助成事業 (千円)

申請団体	実施内容	助成金
1 山代町東分区	屋外拡声子局の設置	2,200
2 東山代町福住区	有線放送設備の整備	1,700
合 計		3,900

○伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業 (千円)

申請団体	実施内容	補助金
1 東山代町川内野区	川内野の資源の利活用・再発信を図る事業	1,127
2 松浦町まちづくり運営協議会	観光振興事業・松浦フットパス	271
3 黒川町家読連絡会	家読の郷推進事業	1,215
4 特定非営利活動法人 NPO栄町地域づくり会	コミュニティ活動拠点の災害避難所併用による地域力の創造	518
5 クリーンの環	「ひとりにできる環境活動」ステップアップ事業	939
6 伊万里鍋島焼協同組合	大川内山まちあかりプロジェクト	799
合 計		4,869

※財源内訳の「その他」のうち、2,100千円は、ふるさと応援基金繰入金



コミュニティ助成事業
東分区の屋外拡声子局
※市防災行政無線屋外拡声子局に共架



伊万里市さが未来アシスト事業
家読の郷推進事業

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	04	婚活推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 128	
480	480				480	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

結婚を希望する男女に対し、①婚活イベントの開催 ②1対1のお引き合わせ ③結婚支援相談員による婚活相談業務 ④婚活応援事業者の婚活イベントの情報提供など、結婚活動支援に取り組みました。

【令和6年度における事務事業の成果】 ※数値は、令和7年3月31日現在

○登録者実数

男性	女性	合計
353人	168人	521人

マッチングの手段	令和6年度			
	開催回数	参加者数		
		男性	女性	合計
出会いの場のイベント	12回	64人	68人	132人
プロフィール引き合わせ	32回	32人	32人	64人
合 計		96人	100人	196人



カフェ婚活

	平成22～令和6累計	令和6年度
登録者数	1,603人	30人
成婚報告者 (内、登録者同士)	368人 (128人)	15人 (8人)
イベント回数	158回	14回
カップル数	605組	24組
現在交際中	-	7組
プロフィール引き合わせ	488組	32組
カップル数	279組	16組
現在交際中	-	6組
相談・問い合わせ件数 (内、メール)	13,045件 (5,588件)	799件 (391件)



会員同士でご成婚



フットパス婚活



レトロ号お花見



魅力アップ講座



フィットネス婚活

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	08	地域おこし協力隊事業	6つの まちづくり		06	自立と協働のまちづくり		
担当部課	市民交流部 地域づくり課		施 策		28	移住・定住の促進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,634	2,419			2,400	19	215	P. 130	

【令和6年度における事務事業の概要】

人口減少や高齢化が進むなか、平成29年度から市外の人材を「地域おこし協力隊」として採用し、地域活性化や地域コミュニティの維持・強化を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は東山代町川内野区に1名、二里町中里地区に1名を配置しました。

○活動概要

活動拠点 東山代町川内野区

活動内容 まちづくり支援活動として、農産物の共同出荷や「かわちのキャンプ場」整備の支援のほか、地域特性を活かしたイベントの企画立案から佐賀大学ほか関係者との協議調整を行い、イノピカコンサートなどを実施しました。
その他、SNSによる集落の情報発信、地区内でのチラシ等の発行を行いました。

主な支出 公用車燃料費・リース料：500千円、住宅借上料：360千円

活動拠点 二里町中里地区

活動内容 地域資源である棚田の景観維持のほか、棚田を活かした国際交流や地元小学生向けのイベントの実施、田んぼをテーマパークとしたイベントの補助などを通じ、地域活性化や地域コミュニティの維持・強化を図りました。

主な支出 公用車燃料費・リース料：420千円、住宅借上料：480千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



国際DAYキャンプ IN 川内野



二里小学校田植え体験

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	09	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	市民交流部 地域づくり課				施 策	25	市民との協働によるまちづくりの推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
146,990	146,766		127,500	19,195	71	224	P. 132	

【令和6年度における事務事業の概要】

老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設とする建設工事と東山代コミュニティセンターの備品の購入を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和4年度の実施設計を基に、東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターを複合施設とする建設工事において建物の工事が完了し、東山代コミュニティセンターで使用する机・椅子等の備品の購入を行い、令和7年4月1日に供用を開始しました。

事業費

- ・手数料 139千円
- ・委託料 2,184千円
- ・工事請負 140,044千円
- ・備品購入費 4,399千円
- 合 計 146,766千円

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

※不用額は、令和7年度への継続費通次繰越2千円を含みます。



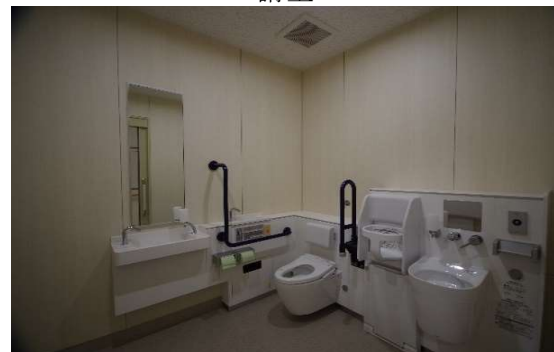
複合施設全景



講堂



和室



多機能トイレ

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	10	移動販売事業者支援事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	市民交流部 地域づくり課				施 策	25	市民との協働によるまちづくりの推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
500	354			300	54	146	P. 132	

【令和6年度における事務事業の概要】

身近な商店の減少、高齢化等により、日常生活物資の買い物が困難な市内地域における買い物手段の確保のため、移動販売事業者支援事業費補助金を設け、移動販売車の維持経費を助成しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

移動販売車の維持に必要な燃料費、車検費、修繕費、車両整備費、車両の消耗品費の一部を補助し事業者の負担軽減をすることで、日常生活物資の買い物が困難な市内地域における買い物手段を確保することができました。

- 1 申請件数：2件
- 2 補助金額：354千円（補助対象経費の3分の1又は25万円のいずれか低い額）

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



移動販売を利用されている様子

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	11	自治公民館新改築支援事業	6つの まちづくり		06	自立と協働のまちづくり		
担当部課	市民交流部 地域づくり課			施 策	25	市民との協働によるまちづくりの推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
460	460				460	0	P. 132	

【令和6年度における事務事業の概要】

各地区の自治公民館は地域住民のまちづくりに係る地域コミュニティ活動の拠点であることから、活動拠点の整備促進を図るため、自治公民館建築等補助金制度を設け、自治公民館の改築等に支援を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

松浦町中通区の自治公民館の改築工事に対し補助を行い、地域コミュニティ活動の拠点を整備しました。

- 1 申 請 者：松浦町中通区
- 2 総事業費：2,343千円（補助対象経費）
- 3 補助金額：460千円（補助対象経費の20%、限度額800千円）
- 4 実施内容：屋根下地交換工事、和室天井板の取替工事、和室の畳替工事

○施工前後の中通公民館の状況



天井板取替前



天井板取替後



畳替前



畳替後

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	01	市民センター管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 市民センター				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
54,951	54,387			7,129	47,258	564	P. 132	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民の文化活動の拠点である市民センターの適正な運営と維持管理に努めました。
また、文化ギャラリーで会議や研修等を使用するための長机が30年以上経過し、老朽化していたことから、新たに60台を更新するなど、備品の充実を図りました。他にも、デジタルサイネージを取り入れ、その日の行事案内に加え、市民センターにおいて今後実施が予定されるイベントを紹介するとともにWi-Fiスポットを追加するなど、利便性の向上を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

貸館業務を通じて、市民の文化活動の推進に貢献することができました。
国スポ・全障スポが開催された年であったため、令和6年度の市民センターの利用状況は、会議室の貸館を一部休止したことから、利用者数が前年度比5,506人の減、件数が263件の減となりました。

○市民センター利用状況推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 件 数	3,269件	3,436件	3,173件
利 用 者 数	102,851人	101,027人	95,521人

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	02	市民センター改修事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 市民センター				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
16,921	16,258		6,400	9,800	58	663	P. 134	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民センターは建設から30年以上が経過し、文化ホールの空調設備をはじめ舞台の吊物設備、音響設備、照明設備等の経年劣化が進み、機器等の不具合も年々増加していました。このため、施設の貸館業務等に支障をきたさないよう、年次的に設備等の改修を進めています。

令和6年度は、文化ホール客席天井の耐震化及び照明をLEDにするための設計を行うとともに、ホール棟の避難誘導灯が経年劣化により破損などが見られたことから、改修工事を行いました。また、多目的トイレ2か所にベビーキープと折りたたみ式ベビーベッドを設置し、来館者の利便性の向上を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市民センターの改修を通じて、より利用しやすい施設の整備を行うことで、市民の文化活動の推進に貢献しました。

○主な改修事業

- ①文化ホール天井耐震改修設計業務委託 6,412千円
- ②ホール棟避難誘導灯改修工事 2,420千円
- ③多目的トイレ ベビーキープ・折りたたみ式ベビーベッド設置工事 499千円
- ④文化ホール舞台音響設備機器リース料 5,442千円[R5.3～R10.2までの5年間 総額 27,212千円]
- ⑤文化ホール照明設備機器リース料 1,485千円[R6.3～R13.2までの7年間 総額 10,395千円]



【避難誘導灯】



【ベビーキープ・折りたたみ式ベビーベッド】

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	02	徴税費	目	01	税務総務費
事務事業名	03	定額減税調整給付金支給事業	6つのまちづくり			09	施策体系外事業	
担当部課	総務部 税務課				施 策	99	施策体系外事業	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
451,237	423,765	358,933	0	0	64,832	27,472	P. 136	

【令和6年度における事務事業の概要】

国の経済対策に基づき、賃金上昇が物価高に追いついていない国民の負担を緩和するため、デフレ脱却のための一時的な措置として、定額減税が実施されましたが、定額減税しきれないと見込まれる方に対し、定額減税調整給付金を支給しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

定額減税調整給付金を支給することで、物価高に対する市民の負担を緩和することができました。

《令和6年度定額減税調整給付金支給状況》

申請方法	対象者数	申請者数	支給額	申請率
窓口申請	10,232 人	649 人	26,350 千円	6.4 %
郵送申請		5,826 人	231,260 千円	56.9 %
オンライン申請		3,288 人	151,750 千円	32.1 %
合計	10,232 人	9,763 人	409,360 千円	95.4 %

款	02	総務費	項	02	徴税費	目	02	賦課徴収費
事務事業名	01	市税賦課事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 税務課				施 策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
39,487	36,138	33,219			2,919	3,349	P. 136	

【令和6年度における事務事業の概要】

個人市民税の課税対象となる所得の把握のため、未申告者の呼出や個人年金・一時金受給者の調査を行い、また固定資産税については、課税客体の把握による適正な課税を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

現年分の市税賦課状況について調定額で比較すると、個人市民税は、給与所得の増加により増加傾向となりましたが、定額減税の影響により前年度に比べ116,075千円（5.1%）の減少となりました。法人市民税は、県内経済がゆるやかな回復傾向となった影響により、企業収益が増加したため前年度に比べ14,000千円（1.5%）の増加となりました。市民税全体では、前年度に比べ102,075千円（3.2%）の減少となりました。

固定資産税は、家屋の新築や設備投資の増加などにより、前年度に比べ172,771千円（4.3%）増加し、市税全体では、前年度に比べ61,769千円（0.8%）の増加となりました。

《令和6年度歳入 現年分の市税賦課状況》

（単位：千円）

税 目	予算額	調定額	調定額前年度比（%）
市民税	2,478,701	3,119,347	▲ 3.2
個人市民税	2,073,634	2,154,919	▲ 5.1
法人市民税	405,067	964,428	1.5
固定資産税	4,111,107	4,183,408	4.3
軽自動車税	235,759	239,024	3.3
市たばこ税	483,616	511,893	▲ 3.1
入湯税	3,473	3,460	▲ 3.1
合計	7,312,656	8,057,132	0.8

款	02	総務費	項	02	徴税費	目	02	賦課徴収費
事務事業名	02	市税等徴収事業			6つの まちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総務部 収納管理課			施 策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 138	
40,291	36,497	9,318		266	26,913	3,794		

【令和6年度における事務事業の概要】

納税者の利便性向上を図るため、市税の納付ではこれまでの口座振替やコンビニ納付に加え、キャッシュレスなどの納付手段を拡充しました。

また、市税の収納率向上と収入未済額の縮減による税収の確保を図るため、初期滞納者に対する催告等による納税勧奨の実施や、預貯金等の差押えなどの早期滞納処分に取り組みました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度から市県民税・森林環境税と国民健康保険税の納付書にも地方税統一QRコードを付与したことで、全国の地方税統一QRコード対応金融機関窓口での納付や、各種スマートフォン決済アプリ・クレジットカード・インターネットバンキングなどのキャッシュレス納付が可能となる等、納税しやすい環境整備に努め、自主納付の推進を図りました。

滞納者に対しては、文書・電話催告等による納税勧奨を行い、その後も納付がなければ早い段階で滞納処分（差押等）を実施するなど、滞納の抑制に努めました。

また、県と市町の共同徴収において、県職員による直接徴収を行うことで市県民税・森林環境税の徴収強化を図りました。加えて、滞納累積事案については、滞納者の実態把握や財産調査を徹底するとともに、預貯金などの債権を中心とした差押えなどの滞納処分を行いました。

このような取り組みの結果、滞納繰越分を含めた市税全体の収納率は前年度同等の98.5%となり、健全な財政基盤の確立に寄与しました。

《令和6年度歳入 市税決算の状況》

(単位:千円)

税 目	予算額	調定額	収入済額	収 納 率 (%)		
				現年課税分	滞納繰越分	合 計
個人市民税	2,084,138	2,194,101	2,155,882	99.2	44.9	98.3
法人市民税	406,112	967,356	964,055	99.9	20.8	99.7
固定資産税	4,125,924	4,245,071	4,169,395	99.5	13.0	98.2
軽自動車税	236,816	243,190	238,321	99.3	25.0	98.0
市たばこ税	483,616	511,894	511,894	100.0	－	100.0
入湯税	3,473	3,460	3,460	100.0	－	100.0
合計	7,340,079	8,165,072	8,043,007	99.5	25.3	98.5

《令和6年度収納率向上の取組実績》

- ・ 差 押 件 数 : 588件 (執行額: 61,717千円、換価額: 27,418千円、解除額: 35,753千円)
- ・ 口座振替件数: 53,413件 (対前年比 98%) ※国民健康保険税除く
- ・ 電子決済件数: 11,678件 (対前年比163%) ※国民健康保険税除く
- ・ 夜間相談件数: 178件

◎収入未済額 115,242千円 (対前年比106%)

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	01	戸籍住民基本台帳事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	市民交流部 市民課			施 策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
55,725	50,987	14,780		9,614	26,593	4,738	P. 140	

【令和6年度における事務事業の概要】

住民異動届を受付し、住民基本台帳への記録等を適正に行うとともに、住民票に関する証明書、戸籍の附票等の交付、印鑑登録事務を行いました。

戸籍届の審査、受理及び戸籍の記載処理、諸証明書の交付を行うとともに、出生死亡等の人口統計に関する報告を行いました。

市民の利便性の向上及び行政の効率化、公平公正な社会の実現を図るため、マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化、住民票等のコンビニ交付を行いました。

戸籍事務へのマイナンバー制度の導入に伴い氏名の振り仮名を戸籍等に記載するため、戸籍システム等を改修するなど、本人に仮の振り仮名を通知するための準備を進めました。

【令和6年度における事務事業の成果】

住民異動等に伴う届出の事務処理及び住民基本台帳法、戸籍法等に基づく諸証明の発行を正確かつ迅速に行いました。

市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、POSレジ（販売時点情報管理及び自動釣銭機）の導入及び戸籍証明書・戸籍の附票をコンビニ交付で取得できるよう証明書の追加を行いました。また、市民課待合にキオスク端末を設置しコンビニ交付の利用促進を図りました。

戸籍への氏名の振り仮名記載関連の業務では、住基ネットを通して取得した振り仮名データのメンテナンスを行うとともに、本人に仮の振り仮名を通知するための通知情報データ出力機能を整備しました。

また、令和7年度の戸籍システムの標準化に向けて、データ移行時に不具合が出ないようにデータクレンジングを実施しました。

○諸証明

項目	件数
戸籍関係	23,355
住民票関係	26,238
印鑑登録関係	15,267
税証明書	12,663
臨時運行許可	442
その他証明書等	3,199
計	81,164

○住民異動届

項目	件数
転入	1,355
転出	1,440
転居	1,483
年金	1,000
国保	1,871
その他	563
戸籍届	1,604
計	9,316

○コンビニ交付

項目	件数
戸籍証明書	202
戸籍の附票	28
住民票	4,275
印鑑証明書	2,928
税証明書	488
計	7,921

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	02	マイナンバーカード交付事業	6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり		
担当部課	市民交流部 市民課				施策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 142	
20,289	19,802	19,754			48	487		

【令和6年度における事務事業の概要】

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」による社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が導入され、市民の利便性の向上、行政の効率化及び行政手続きのデジタル化を進めるため、マイナンバーカード交付等を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

国外転出者へのマイナンバーカード継続利用及び特急申請の開始、1歳未満の顔写真なしのマイナンバーカード交付など、様々なサービスが始まりました。また、健康保険証の新規交付が廃止され、マイナ保険証の本格運用がはじまるなど行政手続きのデジタル化を進めるためにマイナンバーカードの申請交付を行いました。

平日昼間に来庁が難しい方に対し、土日曜開庁や平日の窓口延長の実施及び個人宅への出張申請を行いました。また、施設職員による申請サポートを実施したこと等により、3,426件を交付できました。

○マイナンバーカード 交付件数

年度	件数
H27	1,477
H28	1,827
H29	1,266
H30	1,330
R01	1,706
R02	5,395
R03	8,528
R04	18,393
R05	5,182
R06	3,426
計	48,530



款	02	総務費	項	04	選挙費	目	03	衆議院議員選挙費	
事務事業名		01	衆議院議員選挙執行业			6つの まちづくり			
担当部課		選挙管理委員会事務局			施 策		施策体系外事業		
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23, 173		22, 277		21, 943			334	896	P. 144

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙の管理執行経費として22,277千円を支出しました。

○公示日 令和6年10月15日
○投票日 令和6年10月27日

【令和6年度における事務事業の成果】

○投票率（伊万里市）57.34%（R3衆議院議員総選挙 61.93%）
（全国）53.85%（R3衆議院議員総選挙 55.93%）
※在外投票を含む投票率

※決算額は、職員人件費11,808千円を含みます。

第50回 衆議院議員総選挙

第26回 最高裁判所裁判官国民審査



その一票で
未来がふくらむ

令和5年度 明しい選挙啓発ポスターコンクール伊万田市賞金
最優秀賞 国見中学校 1年 松井 莉愛さんの作品

投票日は

10月27日(日)

投票時間 午前7時～午後8時



伊万田市選挙管理委員会

土・日も
投票できる

期日前投票

10/16☁～10/26☀

投票時間/午前8時30分～午後3時
投票場所/市役所1階市民ロビー

款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	基幹統計費
事務事業名	01	基幹統計事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課			施 策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 146	
8,141	7,288	7,288			0	853		

【令和6年度における事務事業の概要】

統計法に基づき指定された基幹統計のうち、区市町村が実施することとなっている5調査（学校基本調査、全国家計構造調査、農林業センサス、経済センサス（調査区管理）、国勢調査（調査区設定））を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

全ての調査において、国の基準に従い適正な運用のもと調査期間内に完了することができました。

〈令和6年度実施基幹統計一覧〉

調査名	調査対象等	調査基準日	指導員数	調査員数
			任期	任期
学校基本調査	市内24校（小・中学校、義務教育学校、幼稚園、認定こども園、看護学校）	R6. 5. 1	-	-
全国家計構造調査	市内（指定区域内） 71件	R6. 10～11月	2人	6人
農林業センサス	市内全域 1,265件	R7. 2. 1	R6. 7. 16～12. 31 10人	R6. 8. 1～12. 31 195人
経済センサス（調査区管理）	活動調査及び基礎調査の調査区の確認	R6. 6. 1	-	-
国勢調査（調査区設定）	R7. 10に実施する国勢調査の調査区設定	(R7. 10. 1)	-	-

2025年 農林業センサス調査員説明会



2025年 農林業センサス審査会



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	03	社会福祉協議会支援事業			6つの まちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	01	地域福祉の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
14,967	13,847				13,847	1,120	P. 150	

【令和6年度における事務事業の概要】

地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動の中核的存在である 社会福祉法人 伊万里市社会福祉協議会に対し、人件費の補助を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

伊万里市社会福祉協議会の職員の安定した雇用を維持することにより、地域関係団体等との連携による地域福祉の充実を図ることができました。

(単位：千円)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	対象人数	金額	対象人数	金額	対象人数	金額
補助金	5	13,376	4	10,312	4	13,847
運営費分	4	11,446	3	8,212	3	11,036
福祉バス分	1	1,930	1	2,100	1	2,811

※人数は、補助対象者人数。

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
補助 対象者 職種	運営費分	副事務局長兼地域福祉係長	補助なし	補助なし
		総務係長	総務係長	総務係長
		書記	書記	書記
		書記	書記	書記
	福祉バス分	福祉バス運転手	福祉バス運転手	福祉バス運転手

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
福祉バス運行	125	1,007	120	1,305	130	1,382
老人福祉 センターの送迎	78	411	55	315	64	380
その他 (福祉団体等)	47	596	65	990	66	1,002

※不用額の理由

補助対象を予定していた職員1名の人件費の一部を、委託事業（国庫補助対象事業）に配置変更したことによる補助額の減。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	04	民生・児童委員活動事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	01	地域福祉の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
23, 633	23, 365	12, 768			10, 597	268	P. 150	

【令和6年度における事務事業の概要】

住民の身近な相談相手となり、関係機関の福祉サービス事業につなげる役割を担い、地域の社会福祉の増進に寄与する民生委員・児童委員の活動の支援を行いました。

●佐賀県民生委員・児童委員活動費等市町交付金

民生委員・児童委員活動費 60, 200円/人 × 1, 916人×1/12÷ 9, 611, 930円

※延人数：(4月～7月) 159人×4月＋(8月～3月) 160人×8月＝1, 916人

民生委員・児童委員活動費(会長) 11, 770円/人 × 11人＝ 129, 470円

地区民生委員協議会運営費 1, 700円/人 × 163人＝ 277, 100円

地区民生委員協議会活動推進費 250, 000円 × 11地区＝ 2, 750, 000円

【令和6年度における事務事業の成果】

民生委員・児童委員の活動を支援することにより、支援を必要とする地域住民の生活の安定に寄与することができました。(単位：千円)

費 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
報 酬	229	0	110	3回開催(9人延21人)
報 償 費	76	0	0	感謝状対象者無
旅 費	40	13	23	推薦会委員費用弁償、会長会視察随同
委 託 料	19, 592	19, 452	19, 292	民生委員児童委員活動委託料
使用料及び賃借料	2	0	0	
負 担 金、補 助 金 及 び 交 付 金	3, 950	3, 940	3, 940	全国児協負担金・共助負担金 419千円 佐賀県民児協負担金 375千円 地区民児協運営費補助金 396千円 地区民児協活動推進費補助金 2, 750千円
計	23, 889	23, 405	23, 365	

○財源内訳

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般財源	10, 930	10, 556	10, 597
県補助金	12, 959	12, 849	12, 768
民生委員・児童委員活動費	9, 773	9, 693	9, 612
民生委員・児童委員会長活動費	129	129	129
地区民生委員協議会運営費	277	277	277
地区民生委員協議会活動推進費	2, 750	2, 750	2, 750
民生委員推薦会費	30	—	—

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	09	避難行動要支援者支援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	01	地域福祉の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
533	522				522	11	P. 152	

【令和6年度における事務事業の概要】

災害時に円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難等に支援を要する避難行動要支援者のうち、地域の避難支援関係者（駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会）への情報提供に同意された人の名簿及び個別避難計画を作成し提供しました。

また、この名簿及び個別避難計画は年に2回更新を行っていますが、実用性のある個別避難計画となるよう避難支援関係者（特に民生委員・児童委員）に、本人や家族との内容確認や新規登録・施設入所などの現状報告を随時いただくことで見直しを行っています。

《対象者》

生活の基盤が自宅にある人のうち、次のいずれかに該当する人。

- ・要介護認定を受けている人（要介護1～5）
- ・身体障がい者手帳の1，2級（総合等級）で第一種の人
（心臓、腎臓機能障がいのいずれかのみで該当する人は除きます）
- ・療育手帳Aの人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1～2級で単身世帯の人
- ・市が実施する生活支援サービスを受けている難病患者
- ・上記以外で市が支援の必要を認めた人

【令和6年度における事務事業の成果】

同意者名簿を駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会に提供し、地域における支援体制の推進を図ることができました。

随時、名簿登録情報の追加・修正・削除を行うことで、最新の状況を反映した名簿と個別避難計画の提供を行いました。

名簿登録者数（年度末現在の人数）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
避難行動要支援者名簿登録者数	1,939人	1,835人	1,853人
同意者	1,005人	1,171人	1,156人
不同意者	—	—	236人
未回答	717人	255人	254人
その他(支援不要等)	217人	409人	207人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	03	障がい者（児）介護・訓練等給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156
1, 642, 526	1, 631, 224	1, 206, 519				424, 705	11, 302	

【令和6年度における事務事業の概要】

障がい者（児）が利用する障がい福祉サービス（訪問系、日中活動系、施設系、訓練・就労系など）の利用に要する費用を支給しました。

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

〔特定財源〕 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1／2、県1／4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
役務費（支払事務手数料）	1,808千円	1,903千円	1,952千円
扶助費（自立支援給付費等）	1,432,375千円	1,481,148千円	1,608,692千円
返還金（国庫負担金等精算返納金）	46,232千円	57,279千円	20,580千円

【令和6年度における事務事業の成果】

障がい福祉サービスの提供を通じて、障がい者の充実した生活や地域における社会参加を支援することができました。

支援の種類（主なもの）		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問系	居宅介護	決定者数	87 人	102 人	100 人
		利用者数	861 人	916 人	868 人
日中活動系	療養介護	決定者数	21 人	20 人	20 人
		利用者数	252 人	242 人	239 人
	生活介護	決定者数	167 人	174 人	176 人
		利用者数	1,941 人	2,008 人	2,027 人
	短期入所	決定者数	97 人	103 人	105 人
		利用者数	298 人	373 人	400 人
施設系	施設入所支援	決定者数	94 人	94 人	91 人
		利用者数	1,136 人	1,130 人	1,077 人
訓練・就労系	就労移行支援	決定者数	7 人	12 人	9 人
		利用者数	79 人	75 人	77 人
	就労継続支援	決定者数	296 人	300 人	299 人
		利用者数	2,995 人	3,078 人	3,084 人
居住系	共同生活援助	決定者数	110 人	121 人	126 人
		利用者数	1,237 人	1,289 人	1,409 人
相談系	計画相談支援	決定者数	554 人	572 人	578 人
		利用者数	1,726 人	1,902 人	1,977 人

※利用者数・・・月毎の利用者の年間合計

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	04	障がい者（児）自立支援医療等給付事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
123, 425	113, 653	78, 045			35, 608	9, 772	P. 156	

【令和6年度における事務事業の概要】

【更生医療】

18歳以上の身体障がい者に対し、障がいの除去や軽減を図るための医療に要した費用を支給しました。

【育成医療】

身体に障がいをもつ18歳未満の児童、又は現在の状況をそのままにすると将来的に身体に障がいを残すと認められる児童に対し、原則手術により、将来、生活能力を得させるための医療に要した費用を支給しました。

【療養介護医療】

医療が必要かつ常時介護を必要とする障がい者に対し、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護、日常生活の世話などに要する費用を支給しました。

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[特定財源] 障がい者自立支援医療費負担金《負担割合：国1／2、県1／4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
役務費（支払事務手数料）	220千円	209千円	217千円
扶助費（医療給付費）	113,304千円	106,969千円	104,061千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	3,206千円	5,501千円	9,375千円

【令和6年度における事務事業の成果】

【更生医療】 ※主な事業として抜粋

給付の種類	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人工透析	決定者数	226 人	233 人	266 人
	延べ支給件数	4,447 件	4,220 件	4,430 件
心臓	決定者数	66 人	49 人	61 人
	延べ支給件数	97 件	86 件	87 件
整形	決定者数	10 人	12 人	12 人
	延べ支給件数	15 件	14 件	15 件
肝臓	決定者数	3 人	3 人	4 人
	延べ支給件数	24 件	24 件	23 件
免疫	決定者数	7 人	7 人	10 人
	延べ支給件数	63 件	56 件	71 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	05	障がい者（児）補装具等給付事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,679	13,903	13,563			340	1,776	P. 156	

【令和6年度における事務事業の概要】

身体障がい者(児)に対し、日常生活及び社会生活をより容易にするための補装具の購入・修理、補聴器の購入・修理・更新等に要する費用を支給しました。

○補装具交付

〔対象者〕 身体障がい者等（対象品目に応じて身体障がい者手帳が一定の等級以上、難病患者等）

〔対象品目〕 義肢（義手・義足）、装具、補聴器、車椅子など

〔特定財源〕 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1／2、県1／4》

○軽度・中度難聴児補聴器給付事業

〔対象者〕 身体障がい者手帳の交付対象外の軽度・中度難聴児、又は人工内耳を装着する難聴児

〔対象品目〕 補聴器の購入・修理・更新、人工内耳体外機の更新

〔特定財源〕 佐賀県難聴児補聴器購入費助成事業補助金《補助率：県1／2以内》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
扶助費	13,604千円	18,136千円	13,903千円
（補装具費）	(13,352千円)	(18,084千円)	(13,903千円)
（軽度・中度難聴児補聴器給付費）	(252千円)	(52千円)	(0千円)

【令和6年度における事務事業の成果】

補装具の購入や修理、補聴器の購入や修理、更新等に要する費用を給付し、身体障がい者(児)の日常生活と社会生活の利便性の向上を図ることができました。

○補装具

装具等の種類（主なもの）	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
装具	決定者数	44 人	40 人	41 人
	延べ支給件数	50 件	47 件	48 件
補聴器	決定者数	26 人	25 人	34 人
	延べ支給件数	26 件	26 件	35 件
車椅子	決定者数	42 人	45 人	37 人
	延べ支給件数	53 件	49 件	42 件

○軽度・中度難聴児補聴器、人工内耳

補聴器等の種類（主なもの）	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
重度難聴用耳かけ型	決定者数	1 人	- 人	- 人
	延べ支給件数	1 件	- 件	- 件
軽度・中度難聴用耳かけ型	決定者数	1 人	2 人	- 人
	延べ支給件数	1 件	3 件	- 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	06	障がい者（児）相談支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,849	2,700	236			2,464	149	P. 156	

【令和6年度における事務事業の概要】

- 障がい者相談事業
 - 〔根拠規定〕 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、伊万里市障がい者相談員設置要綱
 - 〔事業内容〕 障がい者の更生援護に関する相談支援、関係機関の業務協力 等
 - 〔委嘱先〕 身体障がい者相談員10人、知的障がい者相談員2人
- 精神保健相談事業
 - 〔根拠規定〕 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
 - 〔事業内容〕 精神に障がいがある人の相談支援（平成14年4月権限移譲事務）等
 - 〔対応人員〕 精神保健福祉相談員1人 ※課内配置
- 自殺対策（自殺予防啓発）事業
 - 〔根拠規定〕 自殺対策基本法
 - 〔事業内容〕 自殺予防に関する啓発（3月の自殺対策強化月間に合わせたケーブルテレビでの啓発番組の放送）
- 障がい者相談支援事業（基幹相談支援）
 - 〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
 - 〔事業内容〕 障がい者やその家族等からの相談対応、サービスの情報提供や手続の支援など
 - 〔対象地域〕 原則として伊万里市
 - 〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》

【令和6年度における事務事業の成果】

○障がい者相談、精神保健相談

支援の種類	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
障がい者相談事業	延べ対応件数	41 件	69 件	88 件
精神保健相談事業	延べ対応件数	30 件	47 件	17 件

○障がい者相談支援事業（基幹相談支援）

支援の種類	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談者数	355 人	490 人	629 人
延べ相談・支援件数	2,158 件	3,358 件	3,340 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	08	手話通訳者・要約筆記者派遣養成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,392	1,296	506			790	96	P. 158	

【令和6年度における事務事業の概要】

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話通訳者・要約筆記者派遣事業実施要綱

〔対象者〕 ・聴覚障がい者又は音声・言語機能障がい者等で、コミュニケーションの手段として手話又は要約筆記を使用する者

・聴覚障がい者等が参加する大会、講演、講習会等の主催者

〔派遣条件〕 ・届出、相談等のため、公的機関に赴く場合

・受診、相談等のため、医療機関等に赴く場合

・就業等の職業に関すること、事業所等に赴く場合 など

〔基準単価〕 ・派遣活動費：最初の1時間まで2,600円、以降30分ごと800円加算

・コーディネート費：申請1回当たり1,000円

※手話通訳者等の交通費、入場料その他の実費は、派遣対象者の負担

〔委託先〕 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》

○手話奉仕員養成事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話奉仕員養成事業実施要綱

〔対象者〕 手話の学習経験がなく、聴覚障がい者等の福祉増進に理解と熱意がある者

〔事業内容〕 『手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラム』に基づく講習

※受講者数は25名を上限、講座は1回当たり2時間・全47回

〔受講料〕 無料

※講師料(1人1時間当たり2,500円)、テキスト代(3,300円)等は公費負担

〔委託先〕 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》

<決算額（支出済額）の推移>

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
需用費（消耗品費）	85千円	78千円	105千円
役務費（郵送料）	4千円	4千円	2千円
委託料	1,175千円	1,268千円	1,185千円
（手話通訳者・要約筆記者派遣事業委託料）	(346千円)	(435千円)	(338千円)
（手話奉仕員養成講座開催業務委託料）	(829千円)	(833千円)	(847千円)
負担金、補助及び交付金			
（手話研修会参加負担金）	0千円	5千円	5千円

【令和6年度における事務事業の成果】

支援の種類	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	延べ派遣回数	79 回	106 回	74 回
手話奉仕員養成事業（講座開催）	受講修了者数	19 人	10 人	17 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	09	障がい者(児)等日常生活用具給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12, 557	11, 689	4, 540			7, 149	868	P. 158	

【令和6年度における事務事業の概要】

在宅の重度障がい者に対して、日常生活をより便利にするための日常生活用具を給付しました。

○重度障がい者等日常生活用具給付事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市重度障がい者等日常生活用具給付等事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の重度障がい者(児)(身体障がい者手帳が概ね2級以上、療育手帳A、難病患者等)

〔対象品目〕 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

〔根拠規定〕 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知(「小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の実施について」)

伊万里市小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の小児慢性特定疾病(788疾病、R7.3.31現在)医療の給付対象児童

〔対象品目〕 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

〔特定財源〕 佐賀県小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金

《補助率：県1/2》

＜決算額(支出済額)の推移＞

歳出(節以下)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
扶助費	10,249千円	10,659千円	11,591千円
(日常生活用具給付費)	(10,249千円)	(10,659千円)	(11,591千円)
(小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
返還金(国庫支出金等精算返納金)	64千円	95千円	95千円

【令和6年度における事務事業の成果】

介護・訓練支援用具などの日常生活用具を給付し、在宅の重度障がい者の生活支援を図ることができました。

○日常生活用具給付事業

用具の種類 ※内訳は主なもの	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護・訓練支援用具	2 件	4 件	5 件
自立生活支援用具	1 件	8 件	3 件
在宅療養等支援用具	3 件	5 件	6 件
情報・意思疎通支援用具	6 件	10 件	5 件
排泄管理支援用具	1,037 件	1,063 件	1,140 件
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	1 件	- 件	1 件

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

用具の種類 ※内訳は主なもの	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人工鼻	- 件	- 件	- 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	10	障がい者（児）移動支援事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
6,641	5,361	1,110			4,251	1,280	P. 158	

【令和6年度における事務事業の概要】

- 移動支援事業
 - 〔対象者〕 在宅の障がい者（児）で身体介護や見守り等が必要な者
 - 〔事業内容〕 社会生活上又は余暇活動など社会参加のために、障がい者（児）が公共交通機関を利用して外出する場合（原則として佐賀県内）に実施する。
 - 〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》
- タクシー利用料金助成（福祉タクシー利用券発行）事業 ※市単独事業
 - 〔対象者〕 在宅の障がい者のうち、身体障がい者手帳（1・2級）所持者、療育手帳（障がい程度A）または精神障がい者保健福祉手帳（1・2級）所持者
 - 〔事業内容〕 福祉タクシー利用券（1枚当たり500円×20枚）を年間に1冊交付する。
- 自動車運転免許取得費補助金 ※市単独事業
 - 〔対象者〕 市内に住所を有する障がい者
 - 〔事業内容〕 障がい者の自動車運転免許の取得に要した経費のうち100,000円を上限として交付する。
- 身体障がい者用自動車改造補助金 ※市単独事業
 - 〔対象者〕 身体障がい者手帳1級所持者又は2級の上肢、下肢又は体幹機能障がい者
 - 〔事業内容〕 自動車の操向装置及び駆動装置等の改造に要する経費のうち100,000円を上限として交付する。

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
委託料	3,655千円	3,320千円	2,879千円
（障がい者移動支援事業委託料）	（3,615千円）	（3,274千円）	（2,833千円）
（福祉タクシー券共通利用精算等業務委託料）	（40千円）	（46千円）	（46千円）
障がい者自動車運転免許取得費補助金	400千円	600千円	200千円
身体障がい者用自動車改造等補助金	200千円	0千円	141千円
扶助費（福祉タクシー利用料金助成費）	2,445千円	2,269千円	2,141千円

【令和6年度における事務事業の成果】

支援の種類	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
移動支援事業	利用者数	26 人	26 人	22 人
	延べ利用回数	549 回	488 回	448 回
タクシー利用料金助成事業 （福祉タクシー利用券交付）	交付者数	366 人	350 人	395 人
	使用枚数	4,890 枚	4,539 枚	4,281 枚
運転免許取得費補助金	補助件数	4 件	6 件	2 件
自動車改造補助金	補助件数	2 件	0 件	2 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	12	障がい者（児）日中生活支援事業		6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,982	4,726	1,928			2,798	256	P. 160	

【令和6年度における事務事業の概要】

障がい者支援施設等において、障がい者の日中における活動の場を提供しました。
また、居宅における訪問入浴車での入浴介助サービスを提供しました。

○日中一時支援事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等日中一時支援事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の障がい者（児）で、日中に監護者がおらず一時的な見守りが必要な者

〔事業内容〕 障がい者支援施設等において、障がい者（児）の日中活動の場の提供や一時的な見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を実施する。

※宿泊を伴うものを除く。

〔基準単価（1回）〕 4時間以下：1,220円～5,970円

4時間超8時間以下：2,440円～11,950円

8時間超：3,660円～17,920円

送迎加算：550円（特別支援学校から施設までの区間）

入浴加算：2,000円（重度心身障がい児が入浴を利用する場合）

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》

○訪問入浴サービス事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等訪問入浴サービス事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の障がい者（児）で、当該事業を利用しなければ入浴が困難な者

※本事業に相当する他のサービス給付が受給可能な者を除く。

〔事業内容〕 居宅を訪問し、浴槽を提供して行われる入浴介護（訪問入浴車など）

※利用回数は、1週間のうち3回以内

〔基準単価（1回）〕 12,500円

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1／2、県1／4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
委託料	3,806千円	3,927千円	4,014千円
（障がい者等日中一時支援事業委託料）	（1,393千円）	（1,289千円）	（1,501千円）
（障がい者等訪問入浴サービス事業委託料）	（2,413千円）	（2,638千円）	（2,513千円）
重度障がい者地域生活重点支援事業費補助金	541千円	628千円	712千円

【令和6年度における事務事業の成果】

障がい者（児）の日中における活動の場を提供するとともに、家族等の介護者の一時的な休息を確保することができました。

また、訪問入浴サービスを提供し、障がい者（児）の身体の清潔の保持を図ることができました。

支援の種類	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日中一時支援事業	利用者数	21 人	19 人	22 人
	延べ利用回数	558 回	537 回	628 回
訪問入浴サービス事業	利用者数	3 人	3 人	2 人
	延べ利用回数	182 回	211 回	201 回

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	14	重度障がい者(児)医療給付事業	6つのまちづくり			01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
94,766	90,648	46,800			43,848	4,118	P. 160	

【令和6年度における事務事業の概要】

重度の心身障がい者(児)が診療を受けた場合に要する医療費を助成しました。

- [根拠規定] 伊万里市重度心身障がい者の医療費の助成に関する条例
- [対象者] 精神又は身体に重度の障がいを持つ者(児)で、公的保険（国民健康保険、社会保険、後期高齢者医療制度等）の被保険者又は被扶養者
- ・知的障がい：療育手帳A所持者
 - ・身体障がい：身体障がい者手帳（障がい等級1・2級）所持者
 - ・精神障がい：精神障がい者保健福祉手帳（障がい程度1級）所持者
 - ・重複障がい：身体障がい者手帳（障がい等級3級）かつ療育手帳（知能指数50以下）の所持者
- ※生活保護費受給者を除く、対象者を含む世帯の所得制限あり
- [助成額] 医療機関等での診療（入院を含む）に要した1月当たりの医療費（保険適用分）の自己負担額から、その他の医療給付や保険給付等を控除し、かつ500円（最終自己負担額）を差し引いた額
- [助成方式] 償還払い方式
- [特定財源] 佐賀県重度心身障がい者医療助成事業費補助金《補助率：県1/2》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
扶助費（重度心身障がい者医療費助成金）	91,352千円	94,776千円	90,648千円

【令和6年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を助成することで、重度の心身障がい者(児)の福祉の増進を図ることができました。

給付の対象	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
重度心身障がい者医療費助成	受給資格者数	1,087 人	1,069 人	1,044 人
	延べ支給件数	26,239 件	26,905 件	25,308 件
	（通院）	(24,773 件)	(25,429 件)	(23,833 件)
	（入院）	(1,466 件)	(1,476 件)	(1,475 件)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	15	障がい児通所給付事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
435, 144	422, 938	307, 224			115, 714	12, 206	P. 160	

【令和6年度における事務事業の概要】

○障がい児やその保護者が利用する児童通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の利用に要する費用を給付しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

〔特定財源〕 障がい児通所給付費等負担金《負担割合：国1／2、県1／4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
役務費（支払事務手数料）	630千円	694千円	799千円
委託料			849千円
扶助費	291, 443千円	315, 191千円	409, 644千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	3, 562千円	24, 046千円	11, 646千円

【令和6年度における事務事業の成果】

障がい児や保護者に対し、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応訓練などの機会を提供することができました。

○障がい児通所給付費等

支援の種類	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
児童発達支援	決定児童数	72 人	86 人	92 人
	利用児童数	674 人	877 人	985 人
放課後等デイサービス	決定児童数	144 人	154 人	162 人
	利用児童数	1, 584 人	1, 622 人	1, 810 人
保育所等訪問支援	決定児童数	17 人	26 人	66 人
	利用児童数	19 人	18 人	105 人
障がい児相談支援	決定児童数	236 人	264 人	279 人
	利用児童数	633 人	708 人	787 人

※利用児童数・・・月毎の利用児童の年間合計

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	16	特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業			6つのまちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部福祉課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,036	22,073	10,715		2,335	9,023	1,963	P. 160	

【令和6年度における事務事業の概要】

就労等により保護者が昼間家庭にいない特別支援学校の児童生徒を預かり、適切な遊びや生活の場として学校の余裕教室等を提供しました。

- [根拠規定] 伊万里市特別支援学校留守家庭児童クラブ条例
- [施設概要] ・場所 : 伊万里市大坪町（伊万里特別支援学校内のプレイルーム棟ほか）
・開所日 : 月曜日～土曜日（祝日を除く）
学校が授業日の場合 午後1時30分～午後6時
学校が休業日の場合 午前8時～午後6時
・職員数 : 基準指導員5人、介助補助員3人
・定員 : 1日当たり20人
- [対象者] 伊万里特別支援学校に就学する者で、保護者が就労等により昼間不在の家庭の児童（小学部）又は生徒（中学部・高等部）
- [利用料] 1人当たり日額300円（月額3,000円を上限）
※同一世帯に2人以上が利用する場合は、2人目以降は1人当たり日額150円（月額1,500円を上限）
- [委託先] はってんクラブ運営協議会（構成団体：伊万里特別支援学校保護者会、社会福祉法人 桑梓舎）
- [特定財源] 佐賀県特別支援学校放課後児童健全育成事業費補助金《補助率：県1／2》
運営負担金（対象者の居住市町）

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
委託料(特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業委託料)	23,362千円	20,975千円	22,073千円

【令和6年度における事務事業の成果】

特別支援学校留守家庭児童クラブ（はってんクラブ）を利用する児童・生徒の健全な育成と、保護者の子育ての両立を支援することができました。

事業の内容	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業	登録児童・生徒数[月最大]	50 人	48 人	41 人
	伊万里市	44 人	42 人	35 人
	有田町	5 人	5 人	5 人
	武雄市	1 人	1 人	1 人
	延べ利用日数	3,692 日	3,166 日	2,871 日
	平均利用者数（1日当たり）	17 人	14 人	13 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	01	高齢者福祉総務事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課				施 策	02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,356	17,826				17,826	530	P. 162	

1. 福祉緊急通報システム運用

【令和6年度における事務事業の概要】

ひとり暮らし等の理由により緊急時の救急通報等を行う者が家庭内にいない高齢者及び身体障がい者（以下「ひとり暮らし高齢者等」という。）の事故や急病時の緊急連絡手段として「緊急通報装置」の貸与を行いました。

利用対象者	前年分所得税が非課税世帯の伊万里市民で、次のいずれかに該当する人 (1) 概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者で、慢性疾患があるなど、日常生活で注意が必要な人 (2) 18歳以上のひとり暮らしで、身体障がい者手帳1級または2級の外出が難しい人 (3) 概ね65歳以上の高齢者のみ世帯で、全員に慢性疾患があるなど、日常生活で注意が必要な世帯
利用料金	年金収入とその他の所得の合計が120万円未満の場合は300円/月、120万円以上の場合は900円/月
利用方法	利用者は非常時にコントローラー又はペンダントのボタンを押すことで、受信センターに通報が入り、安否確認、救急車の出動等の必要な対応を受けることができる。 ※固定電話の回線を利用する機器に加え、固定電話がない人のために、通信回線を内蔵した機器を貸与している。   ↑ コントローラー ↑ ペンダント
委託先	ALSOK佐賀株式会社本社（佐賀市松原1丁目3番地5）

【令和6年度における事務事業の成果】

緊急通報装置を貸与することにより、ひとり暮らし高齢者等の緊急時や非常時の不安を解消し、生活の安全・安心を確保することができました。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	46人	43人	44人
新規貸与者数	6人	7人	16人
廃止者数	3人	10人	15人
緊急通報による安否確認実施件数	4件	5件	10件

(利用者数は年度末の数)

2. 認知症高齢者等の損害保険への加入

【令和6年度における事務事業の概要】

認知症高齢者（若年性認知症を発症した者を含む。）又は療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人が、第三者に対して法律上の損害賠償責任を負う場合に備えて、認知症高齢者等を被保険者とする個人賠償責任保険に、市が保険契約者として加入し、保険加入料の全額を市が負担しました。

(1) 保険が適用されるとき

- ・ 日常生活で他人のものを壊してしまった
- ・ 自転車に乗っていて歩行者にぶつかり、けがをさせてしまった
- ・ 線路内に立ち入って電車に接触し、鉄道会社に車両損壊や遅延損害を与えた など

(2) 保険加入の対象者

次の（ア）又は（イ）のいずれか、かつ（ウ）及び（エ）のいずれにも該当する人が対象

（ア）在宅の認知症高齢者で「日常生活自立度」がⅡa（※1）以上相当である人

（イ）療育手帳、又は精神障がい者保健福祉手帳（てんかん、中毒精神病、器質性精神障がいがある、もしくは認知症に起因して日常生活能力のうち身の安全保持又は危機対応ができないものに限る。）の交付を受けている在宅の人

（ウ）市税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の滞納がない人

（エ）他に同種の保険に加入していない人

※1 日常生活の中で、たびたび道に迷う、買い物や金銭管理等にミスが目立つなどの症状や行動が見られる。意思疎通の困難さが多少見られるが、誰かが注意していれば自立できる状態。

【令和6年度における事務事業の成果】

保険に加入することで、本人や家族の不安を解消し、生活の安全・安心を確保することができました。

1. 保険への加入状況（令和2年8月事業開始）

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加入者数※1	34人	32人	28人
うち加入※2	50人	44人	48人
うち廃止※3	16人	12人	20人

（加入者数は年度末の数）

※1 うち、令和4～6年度の障がい者（児）は0人

※2 前年度継続分も含む

※3 廃止理由 令和4年度 施設入所6人、死亡5人、長期入院5人
令和5年度 施設入所6人、死亡1人、長期入院5人
令和6年度 施設入所15人、死亡1人、長期入院2人、その他2人

2. 保険契約内容

保 険 会 社	インズパークス株式会社（伊万里市新天町77番地1）
年 間 保 険 料	1,810円／人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	05	敬老行事支援事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課				施 策	02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
5,841	5,687				5,687	154	P. 164	

【令和6年度における事務事業の概要】

高齢者に敬意を表し長寿を祝うために、敬老の日を中心に市内各地で実施される敬老行事を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

敬老行事の実施を支援することにより、長寿の節目を迎えた高齢者に敬意を表し、長寿を祝福することができました。

敬老行事支援交付金 7,583人×750円＝5,687,250円（13町及び4施設に交付）

1. 実施状況

13町 (区長会等)		町	実施主体	町	実施主体
		伊万里地区	町	南波多町	町
		牧島地区	町	大川町	区
		立花地区	区	松浦町	町
		大坪地区	区	二里町	町
		大川内地区	区	東山代町	区
		黒川町	町	山代町	区
		波多津町	町	町主体：7町 / 区主体：6町	
施設	特別養護老人ホーム	長生園（伊万里市立花町2703番地2）			
		敬愛園（伊万里市黒川町大黒川2201番地）			
		グランパランいまり（伊万里市大坪町乙1579番地2）			
		養護老人ホーム	伊万里向陽園（伊万里市立花町2404番地10）		

2. 対象者

10月1日時点で77歳以上の高齢者

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数	7,566人	7,372人	7,583人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	07	公共老人施設管理運営事業	6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 長寿社会課				施 策	02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,847	12,245				12,245	602	P. 164	

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市老人福祉センターの管理運営は、指定管理者制度により指定管理者が行い、管理運営費として指定管理料を支払いました。

対象施設	施設名称（住所）	指定管理者
	伊万里市老人福祉センター （伊万里市松島町73番地1）	公益社団法人伊万里市 シルバー人材センター
主な利用内容	健康麻雀、囲碁、大正琴、手芸、百歳体操など 大浴場：月～金曜日 午前11時～午後3時まで	
開館日	月～土曜日 午前9時～午後4時30分まで	
休館日	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～31日、1月2日～3日）	
使用料	市内：1日20円／市外：1日50円 ※特別利用券：半年500円	

【令和6年度における事務事業の成果】

高齢者の教養の向上やレクリエーション活動のための場など、総合的なサービスを提供することにより、健康増進や社会参加活動を促進することができました。また、指定管理者制度を導入し、民間事業者の創意工夫による質の高いサービスを行うことができました。

対象施設	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
老人福祉センター	利 用 者 数	16,302人	13,890人	17,249人
	1日平均利用者数	56人	47人	60人
	年 開 館 日	292日	293日	289日
	指 定 管 理 料	7,985,000円	7,985,000円	7,992,000円

※令和5年度はボイラー故障により、4～6月は大浴場を休止

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	02	人権意識啓発事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課			施 策		11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
871	730	715			15	141	P. 166	

【令和6年度における事務事業の概要】

「人権の花」運動や「ハートフルフォーラム2024in伊万里」及び「伊万里じんけんシアター」の開催、のぼり旗や懸垂幕等の掲示による啓発により、市民の人権意識の高揚を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○「人権の花」運動

大川内小学校の全校児童(84名)が取り組み、6月27日に花苗の贈呈式、11月11日に観賞会を行いました。観賞会では、児童が花の栽培を通して人権について考えたことを発表したほか、全校児童で「ありがとうの花」を合唱しました。

児童へのアンケートでは、「命の大切さに気づいた」、「協力することや感謝の気持ちを持つことの大切さが分かった」、「思いやりの気持ちを持つことができた」などの回答があり、児童にこの事業のねらいを体得してもらうことができました。

○「ハートフルフォーラム2024in伊万里」

人権週間にあわせて12月5日に伊万里市民センターで開催しました。

伊万里実業高等学校の生徒を中心に伊万里人権擁護委員協議会や伊万里市男女協働参画懇話会「いまりプラザ」などで実行委員会を組織し、企画・運営にあたりました。



ハートフルフォーラム デートDV防止啓発紙芝居

フォーラムでは、伊万里実業高校生徒による人権に関する意見発表やデートDV防止啓発紙芝居の後に、人権講演や人権コンサートを行い、350人を超える方が来場しました。

来場者のアンケートでは、96.0%の方が人権問題に対する関心・理解が「大変深まった」、「ある程度深まった」と回答しており、効果的な人権啓発イベントとなりました。

○人権啓発映画上映会「伊万里じんけんシアター」

ハンセン病問題に関連した映画「あん」の上映会を、1月の最終日曜の世界ハンセン病の日にあわせて1月26日に市民図書館で開催しました。

1部・2部あわせて165人の来場があり、映画鑑賞者のアンケートでは、83.8%の方がハンセン病患者や元患者に対する関心・理解が「大変深まった」、「ある程度深まった」と回答しており、ハンセン病患者や元患者への理解や人権意識の向上に寄与することができました。



伊万里じんけんシアターチラシ

○のぼり旗などによる啓発

8月の同和問題啓発強調月間や12月の人権週間において、市の公共施設等に、のぼり旗、懸垂幕、横断幕を掲示するなど、市民への啓発を行いました。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	03	同和问题研修参加促進・地区活動支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課				施 策	11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,475	8,475				8,475	0	P. 166	

【令和6年度における事務事業の概要】

同和问题の正しい理解と早期解決を実現するための活動を実施する2つの運動団体に対して、補助金を交付し活動を支援しました。

○交付額

部落解放同盟佐賀県連合会伊万里支部	5,600,000円
全日本同和会佐賀県連合会伊万里支部	2,875,000円
合 計	8,475,000円

【令和6年度における事務事業の成果】

運動団体において、同和问题の正しい理解と早期解決の実現を目指し、各種大会や研修会等へ積極的に参加するとともに、関係機関と連携して活発な運動を展開するなど、行政の補完的な役割を果たすことができました。



佐賀県作成の同和问题啓発ポスター

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	04	隣保館管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課			施 策	11	人権教育と啓発の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,005	2,772	846		10	1,916	233	P. 166	

【令和6年度における事務事業の概要】

福祉の向上や人権啓発の住民活動及び地域交流の拠点となる開かれたコミュニティとして、相談事業や人権教育と啓発推進のための各種事業を総合的に行いました。運営にあたっては、住民のニーズを踏まえた効果的な事業を実施するとともに、誰もが気軽に利用することができる日常的な交流の場となるよう努めました。

また、地区住民の自立した生活を支援するため、関係者及び関係機関と協力連携し、住民相互による扶助の支援体制づくりに積極的に取り組みました。

【令和6年度における事務事業の成果】

相談事業では、必要に応じて関係行政機関に連絡や紹介を行うなど適切な支援を行うとともに、地域交流事業や研修団体の受入れを通して、参加者の人権意識の高揚を図ることができました。

また、施設整備として長寿命化対策を図るため、2階児童センター遊戯室の雨漏り修理や空調設備の改修へ向けた空調設備改修設計業務の委託を行いました。

【主な事業】

- | | | |
|----------|---------------------------|------------|
| ○相談事業 | ・相談受付 | …22件 |
| ○地域福祉事業 | ・高齢者あいさつ声かけ巡回(毎週水曜日) | …51回 |
| | ・ふれあい昼食会 | …5回51名参加 |
| ○地域交流事業 | ・大川町夏休みワイワイキャンプ(7月20・21日) | …91名参加 |
| | ・大川・松浦小学校6年生交流事業(2月1日) | …60名参加 |
| | ・はつらつサロン | …7回38名参加 |
| | ・百歳体操 | …33回103名参加 |
| | ・手芸クラブ | …382名参加 |
| ○啓発・広報活動 | ・隣保館だより(月1回発行) | …12回発行 |
| | ・研修団体受入 | …12団体172名 |

【施設整備にかかる主な支出】

- | | |
|----------------|----------|
| ○雨漏り修理 | 463,980円 |
| ○空調設備改修設計業務委託料 | 319,000円 |



伊万里市隣保館

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	02	家庭児童相談事業			6つの まちづくり	01	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 こども家庭センター			施 策	04	04	子育て支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 172	
4,931	3,802	2,521			1,281	1,129		

【令和6年度における事務事業の概要】

- 要保護児童対策地域協議会設置
児童虐待等の防止を図るため、要保護児童対策地域協議会にて各種会議を開催し、要保護児童等の支援やケース管理等を行いました。
- 支援対象児童等見守り強化事業
要支援児童等を対象に訪問等による食材の提供、見守りを行い児童虐待の早期発見、早期対応を行うもので、参画する団体へ補助金を交付しました。
- 子育て世帯訪問支援事業
家事支援等が必要な家庭に訪問支援員を派遣し、虐待リスクの高まりを未然に防ぐことができました。シルバー人材センターに委託し令和6年度から開始しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

- 要保護児童対策地域協議会における代表者会議1回、実務者会議2回、ケース進行管理会議12回、個別ケース検討会議を5回開催し、児童虐待の早期発見、早期対応を行うことができました。
- 支援対象児童等見守り強化事業は21世帯46名延べ1,978件訪問等を実施し、児童虐待の早期発見、早期対応を行うことができました。
- 子育て世帯訪問支援事業は2世帯4名延べ45件実施し、虐待リスクの高まりを未然に防ぐことができました。

【過去の実績】

- 子育て世帯訪問支援事業

	令和6年度
件数	45件
委託料	434千円

※令和6年度からの新規事業

- 支援対象児童等見守り強化事業

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	731件	1,724件	2,545件	1,978件
委託料	1,494千円	2,012千円	2,222千円	2,222千円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	07	子どもの医療費助成事業	6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
243, 588	222, 860	41, 372		120, 453	61, 035	20, 728	P. 176	

【令和6年度における事務事業の概要】

疾病の早期発見・早期治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、子どもの医療費の一部負担金（2割又は3割）から自己負担額を控除した額を助成しました。

◇自己負担額及び助成

（就学前児童）

通院・入院・調剤：自己負担 0円（一部負担金全て助成）

（小・中学生）

通院及び入院：1レセプト 1,000円（一部負担金から1,000円を控除した額を助成）

調剤：自己負担 0円（一部負担金全て助成）

（高校生年代）

入院：1レセプト 1,000円（一部負担金から1,000円を控除した額を助成）

通院・調剤：一部負担金全て自己負担（助成なし）

【令和6年度における事務事業の成果】

子どもの医療費の一部負担金（2割又は3割）から自己負担額を控除した額を助成することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

○ 令和6年度の助成実績

	助成件数	助成額
就 学 前 児 童	61,354件	99,873千円
小 ・ 中 学 生	53,412件	113,982千円
高 校 生 年 代	17件	1,024千円
合 計	114,783件	214,879千円

● 過去の実績

	令和4年度		令和5年度	
	助成件数	助成額	助成件数	助成額
就 学 前 児 童	47,202件	75,539千円	63,767件	89,811千円
小 ・ 中 学 生	42,795件	89,546千円	53,209件	110,931千円
高 校 生 年 代	—	—	11件	698千円
合 計	89,997件	165,085千円	116,987件	201,440千円

※財源内訳の「その他」のうち120,000千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	09	ひとり親家庭等医療費助成事業	6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,059	22,452	15,947			6,505	1,607	P. 176	

【令和6年度における事務事業の概要】

ひとり親家庭等（母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童の養育者家庭）の生活の安定と福祉の向上を図るため、医療費の一部負担金（2割又は3割）から自己負担額を控除した額を助成しました。

（医療費の助成）

医療を受けた日の翌月から起算して1年以内の医療費（保険診療分）について申請を受け付け、申請月の翌月末に助成しました。

◇受給者自己負担額 500円（1人あたり）

【令和6年度における事務事業の成果】

ひとり親家庭等の医療費の一部負担金（2割又は3割）から自己負担額を控除した額を助成することで、その生活の安定と福祉の向上を図ることができました。

○ 令和6年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	499人	5,665件	15,437,463円	県1/2 市1/2
	児童	751人	4,249件	5,524,420円	
父子家庭	父	22人	366件	1,230,565円	
	児童	32人	163件	257,276円	
合計		1,304人	10,443件	22,449,724円	

● 過去の実績

令和5年度

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	503人	6,081件	16,563,017円	県1/2 市1/2
	児童	763人	4,659件	4,648,910円	
父子家庭	父	36人	304件	1,052,858円	
	児童	42人	182件	155,450円	
合計		1,344人	11,226件	22,420,235円	

令和4年度

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	522人	5,718件	16,092,093円	県1/2 市1/2
	児童	746人	3,890件	4,468,008円	
父子家庭	父	32人	342件	1,460,632円	
	児童	39人	222件	338,983円	
合計		1,339人	10,172件	22,359,716円	

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	12	幼児インフルエンザ予防接種費助成事業	6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 178	
2,289	1,071			1,000	71	1,218		

【令和6年度における事務事業の概要】

幼児のインフルエンザの発病や重症化を予防するため、インフルエンザの予防接種を受けた幼児の保護者に対して、子育て支援の観点から接種費用の一部を助成しました。

(対象者) 幼児を養育している保護者

(内 容) 幼児の2回目のインフルエンザ予防接種費

※2回目接種に要した費用(個人負担額)のうち幼児1人に対して2,000円を助成

【令和6年度における事務事業の成果】

予防接種費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができました。

○助成実績

助成件数	534件
助成額	1,068千円

●過去の実績

	令和4年度	令和5年度
助成件数	695件	590件
助成額	1,390千円	1,180千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	17	特別保育促進事業	6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課		施 策		04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
35,866	32,206	10,929			21,277	3,660	P. 180	

【令和6年度における事務事業の概要】

保育施設における障がい児保育事業、延長保育事業、一時預かり事業の実施を支援し、保育サービスの充実を図りました。
また、医療的ケアを必要とする児童の保育施設への入所に向けた支援を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

●障がい児保育事業実績

心身に障がい又は発達遅滞のある児童を受け入れている施設に補助を行い、保育施設における障がい児の受入体制を整えました。

種別	施設数	対象者	補助金額	
重度障がい児	2園	5名	18,625,988円	※重度障がい児：74,000円/月
軽度障がい児	13園	33名		※軽度障がい児：49,200円/月

●延長保育事業実績

保護者の多様化する就労形態に対応するため、認定区分を超えて延長保育を行う保育施設に補助を行うことで、延長保育の実施体制の充実を図り、子育て期の保護者の負担を軽減しました。

種別	施設数	補助金額
標準時間認定分	21園	11,184,483円
短時間認定分	11園	2,054,525円

●一時預かり事業実績

未就園児の保護者が突発的な理由により一時的に家庭での保育が困難な場合に備え、一時預かり事業を行う保育施設に補助を行うことで、一時保育の受け入れ体制の充実を図り、保護者の負担を軽減しました。

種別	施設数	補助金額
一時保育	1園	200,000円

●医療的ケア児保育支援事業実績

医療的ケアを必要とする児童の保育施設への入所について、伊万里市医療的ケア児入園検討会を開催し、集団保育が可能かどうかの確認及び保育施設における医療的ケアの安全かつ円滑な実施に向けた協議を行いました。

- ・医療的ケア児入園検討会 1回
- ・受入施設 1園（公立1園）
- ・対象児童 1名
- ・受入時期 令和7年4月

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	19	保育対策総合支援事業	6つの まちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 180	
42,760	42,217	31,613			10,604	543		

【令和6年度における事務事業の概要】

保育士等の業務負担の軽減を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、登降園管理等の業務のICT化を行うためのシステムの導入費用等の一部補助を行うとともに、保育施設の環境改善のための改修に対する補助を行いました。

また、慢性的な保育士不足を緩和するために、保育士等の確保対策として、保育士資格を持たない者及び職場復帰を目指す保育士、保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した保育施設に対し、経費の一部を補助しました。

●補助事業の負担割合

- ・保育所等におけるICT化推進等事業：国1/2・市1/4・施設1/4
- ・保育環境向上等事業：国1/3・県1/3・市1/3
- ・保育補助者雇上強化事業：国3/4・県1/8・市1/8
- ・保育体制強化事業：国1/2・県1/4・市1/4

【令和6年度における事務事業の成果】

●保育業務効率化・保育環境改善対策

保育業務効率化・保育環境改善対策として補助事業を実施することにより、保育業務の効率化と子どもが安心して過ごせる環境を整備することができました。

補助事業名	施設数	補助金額
保育所等におけるICT化推進等事業	3園	2,475,000円
保育環境向上等事業	1園	1,029,000円

●保育士等の確保対策

保育士等の確保対策として補助事業を実施することにより、保育士業務の負担を軽減し、保育士が働きやすい職場環境を整備することができました。

補助事業名	施設数	雇用人数	補助金額
保育補助者雇上強化事業	11園	延12人	23,629,000円
保育体制強化事業	10園	延11人	11,481,000円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	20	保育園民営化推進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
17,445	17,368	11,578			5,790	77	P. 180	

【令和6年度における事務事業の概要】

「公立保育園等施設整備基本計画」に基づき、大坪保育園を除く5園（伊万里、牧島、南波多、大川、松浦）を民営化することとし、順次公募を行い、公私連携型保育所として、令和4年4月からいまり、牧島、南波多保育園の3園を民間移譲し、大川、松浦保育園については、令和10年4月に統合し民営化することが決定しています。

この事業は、民営化した保育園の新園舎整備に係る費用等について、運営法人に対し補助を行うことで法人の負担を軽減し、園児の保育環境の整備を行うものです。

●各園の整備等スケジュール

園名	基本設計	実施設計	建設工事	旧園舎解体	開園
いまり保育園	令和6年度	令和7年度	令和7・8年度	令和9年度	令和9年度
牧島保育園	令和5年度	令和6年度	令和6・7年度	令和7年度	令和8年度
南波多保育園	令和5年度	令和6年度	令和6・7年度	令和8年度	令和8年度
大川・松浦統合保育園	令和7年度	令和8年度	令和8・9年度	令和10年度	令和10年度

【令和6年度における事務事業の成果】

●就学前教育・保育施設整備補助金（負担割合：国1/2・市1/4）

民営化の目的の1つである、老朽化した施設の建て替えを進めるため、民営化した3園（いまり、牧島、南波多）のうち2園（牧島、南波多）の新園舎整備に係る費用等について、運営法人に対し補助を行いました。

園名	事業主体	令和6年度補助額	内容
牧島保育園	社会福祉法人明志会	10,486,000円	実施設計及び一部工事
南波多保育園	社会福祉法人伊万里福祉会	6,880,000円	実施設計及び一部工事

●公私連携型保育所整備事業費借入金償還補助金

法人が新園舎整備に係る費用等の借入を行った償還金相当分に対し補助を行いました。

園名	事業主体	補助額	内容
南波多保育園	社会福祉法人伊万里福祉会	1,873円	基本設計事業に係る償還金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	21	子ども第三の居場所きらら 管理運営事業	6つの まちづくり		01	安いで健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 こども家庭センター			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
52,400	52,400			52,400	0	0	P. 182	

【令和6年度における事務事業の概要】

子ども第三の居場所きらら（児童育成支援拠点）を令和7年2月27日より開設し、指定管理者制度により運営しました。

- 〔根拠規定〕 児童福祉法、伊万里市子ども第三の居場所きらら条例
- 〔設置目的〕 生活や学習等の環境に課題を抱える子どもに対し、家でも学校でもない安心して過ごせる居場所を提供することにより、生活習慣の形成や学習のサポート、相談支援や関係機関へのつなぎを行う支援を実施し、子ども達の将来の自立に向け生き抜く力を育むことを目的としています。
- 〔施設概要〕 場所：伊万里市立花町（木造平屋建）
開所日：月曜日～金曜日（土日祝日及び12月29日から1月3日を除く）
定員：一日20名
職員数：常勤2名、非常勤4名
- 〔指定管理者〕 特定非営利活動法人のいちご会（指定期間：令和6年2月～令和9年3月）
- 〔財源〕 公益財団法人B&G財団助成
（開設助成金50,000千円、運営費2,400千円）

【令和6年度における事務事業の成果】

不登校等の状況で不安や悩みを抱える子どもに対し、生活支援や食事支援、学習支援、相談支援、送迎等を行いました。

家でも学校でもない安心して過ごせる居場所を提供することにより、子どもたちが人や社会と関わることの大切さを体験することにつながりました。

〈決算〉

歳出（節以下）

令和6年度

需用費	467千円
（消耗品費）	（467千円）
委託料	6,679千円
（設計業務委託）	（2,860千円）
（工事監理業務委託）	（1,419千円）
（指定管理料）	（2,400千円）
工事請負費	37,171千円
（建築工事）	（12,201千円）
（機械設備工事）	（17,490千円）
（電気設備工事）	（7,480千円）
備品購入費	8,083千円

〈利用人数〉

令和6年度

延べ利用人数	75人
利用実人数	14人
（うち未就学児）	（0人）
（うち小学生）	（12人）
（うち中学生）	（0人）
（うち16歳以上）	（2人）

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	23	留守家庭児童クラブ管理運営事業	6つのまちづくり			01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
236,798	227,393	113,667		57,253	56,473	9,405	P. 182	

【令和6年度における事務事業の概要】

就労等により、保護者が昼間家庭にいない児童を対象に安全な生活の場や適切な遊びの場を提供することにより、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市内13小学校区24施設の児童クラブを年間291日開設し、1,213人の児童を受け入れました。さらに、うち473人については時間を延長して受け入れを行うことにより、子育て支援に貢献することができました。

- ・ 開所時間 小学校の授業がある日：授業終了後から午後7時まで
土曜日、長期休業日：午前8時から午後7時まで
※午後6時から延長利用、1日100円
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日
- ・ 利用料 月額3,500円（8月のみ5,000円）
長期休業期間のみ利用の場合、日額300円
※2人目以降 半額、非課税世帯 半額

児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員	児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員
伊万里第1	98	40	70	大川内	48	20	45
伊万里第2	54	17	50	黒川	45	14	50
伊万里第3	57	33	50	波多津	57	18	80
牧 島	36	9	35	南波多	54	13	45
大坪第1	56	31	55	松 浦	46	13	50
大坪第2	39	11	40	二 里	107	52	85
大坪第3	29	9	31	東山代第1	109	43	100
大坪第4	42	15	40	東山代第2	34	7	34
立花第1	84	34	70	若楠第1	29	7	35
立花第2	40	21	40	若楠第2	19	8	34
立花第3	37	14	35	山代西	15	8	25
立花第4	41	23	40	合 計	1,213	473	1,179
立花第5	37	13	40				

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	24	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 184
108,367		108,366	70,696		35,833	1,837	1	

【令和6年度における事務事業の概要】

老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に引き続き、東山代小学校、東山代コミュニティセンター及び東山代児童クラブの複合施設の建設工事を実施し、令和7年4月から供用を開始しました。

(工事全体進捗率94.3%)

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

※不用額は、令和7年度への継続費繰越1千円です。

◆ スケジュール

- ・ 令和3年度 基本設計
- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

◆ 東山代児童クラブ概要

- ・ 支援単位数 4部屋
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日
- ・ 定員 160名 (40名×4部屋)



【全体進捗率 94.3%】

工事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度割	28.1%	66.2%	5.7%

※令和7年度は、施設解体
外構工事

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	25	東陵学園等整備事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24, 625	24, 624	13, 290		10, 018	1, 316	1	P. 184	

【令和6年度における事務事業の概要】

東陵中学校、大川小学校、松浦小学校を統合することとなり、東陵中学校の改修にあわせ、東陵学園前期課程の児童が利用するための新たな児童クラブの整備を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

東陵中学校内にある部室棟を改修し、東陵第1クラブ及び東陵第2クラブの2クラブを整備し、令和7年4月から供用を開始しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

◆ スケジュール

- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

◆ 東陵第1児童クラブ、東陵第2クラブ概要

- ・ 支援単位数 2部屋
- ・ 定員 80名（42名×1部屋、38名×1部屋）
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日



【全体進捗率 100%】

工事	令和5年度	令和6年度
年度割	31.8%	68.2%

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童手当給付費
事務事業名	01	児童手当支給事業			6つのまちづくり	01	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	04	子育て支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 186
1, 026, 652	1, 010, 338	874, 005			136, 333		16, 314	

【令和6年度における事務事業の概要】

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、父、母、その他児童を養育している者に対し、児童手当を支給しました。
また、令和6年10月から制度が改正されました。

	改 正 前	改 正 後
支給額月額	3歳未満(一律) 15, 000円	3歳未満 15, 000円 第3子以降 30, 000円
	3歳以上小学校終了前 10, 000円 第3子以降 15, 000円	3歳以上18歳年度末 10, 000円 第3子以降 30, 000円
	中学校終了前(一律) 10, 000円	
	所得制限(特例給付)(一律) 5, 000円	所得制限「廃止」
第3子	高校生年代(18歳年度末)までの養育している児童のうち、上の子から数えて3番目以降	22歳年度末までの経済的負担のある子を含む上の子から数えて3番目以降
時支給	年3回(2月・6月・10月の15日) それぞれ前月までの4ヶ月分を支給	年6回(偶数月の15日) それぞれ前月までの2ヶ月分を支給

【令和6年度における事務事業の成果】

対象児童を養育する父、母、養育者に対して児童手当を支給することにより、児童の健全育成を図ることができました。

○ 令和6年度の支給実績

支 給 額	1, 004, 260千円
延 児 童 数	80, 347人

● 過去の実績

	令和4年度	令和5年度
支 給 額	900, 710千円	870, 725千円
延児童数	79, 511人	76, 634人

● 財源内訳

		改正前			改正後			【被用者】
		国庫	県費	市費	国庫	県費	市費	厚生年金保険の被保険者等 (公務員を除く)
3歳未満	被用者	37/45	4/45	4/45	10/10	－	－	【非被用者】 国民年金被保険者等 (被用者、公務員を除く)
	非被用者	4/6	1/6	1/6	13/15	1/15	1/15	
	特例給付	4/6	1/6	1/6				
3歳以上	被用者	4/6	1/6	1/6	7/9	1/9	1/9	【特例給付】 所得制限額に該当する人
	非被用者	4/6	1/6	1/6	7/9	1/9	1/9	
	特例給付	4/6	1/6	1/6				

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	03	児童措置費
事務事業名	01	私立保育園等支援事業			6つのまちづくり	01	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	04	子育て支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 186	
2,620,948	2,507,526	1,796,485		87,495	623,546	113,422		

【令和6年度における事務事業の概要】

市内にある私立保育園18園、私立認定こども園2園、私立幼稚園1園、私立小規模保育事業所6園、私立事業所内保育事業所1園、市外の保育所等に入所児童分の運営に必要な経費を、保育園の規模、児童の年齢、人数に応じた額（公定価格）で支払いました。

また、物価高騰による子育て世帯の負担軽減を図るため、給食を提供する保育所に対し、給食の材料費等の高騰分に対して補助を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

●子どものための教育・保育給付交付金

子どもを安心して預け、育てることができる体制を整えました。

延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
20,517人	市内私立	28園	19,189人
	市外公立・私立	29園	1,328人

○過去の実績

年度	延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
R2	20,968人	市内私立	26園	19,620人
		市外公立・私立	43園	1,348人
R3	19,813人	市内私立	26園	18,504人
		市外公立・私立	35園	1,309人
R4	22,127人	市内私立	29園	20,944人
		市外公立・私立	35園	1,183人
R5	20,931人	市内私立	28園	19,623人
		市外公立・私立	39園	1,308人

●保育所等給食材料費高騰対策事業費補助金

給食材料費の高騰分を補助することにより、子育て世代の負担軽減と給食の質・量を維持することができました。

（令和6年度実績） 補助金額合計 11,017,000円
 ＜内訳＞
 市内私立 （17園）

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	02	生活保護レセプト点検・指導事業	6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策	05	低所得者支援の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,183	3,132	746			2,386	51	P. 190	

【令和6年度における事務事業の概要】

生活保護費の約6割を占める医療扶助費について、適正な運営を図るためレセプト(診療報酬明細書)の点検を専門の業者に委託しています。

令和6年度は単月点検13,321件と縦覧点検12,727件を行いました。また、医療扶助相談・指導員が被保護世帯へ年間462回の同行訪問を行い、後発医薬品の使用促進や健康管理指導を行いました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国) 補助率：3/4
- ※補助対象経費：報償費、共済費、需用費(印刷製本費、消耗品費)
役務費(通信運搬費)、委託料

◆レセプト点検の内容

1. 資格審査

職員において本市医療券交付データと社会保険診療報酬支払基金(以下、「支払基金」という。)からレセプトシステムを通じて提出されたデータについて、以下の内容について点検を行う。

- (1) 診療月、対象者氏名、指定医療機関名等の基本情報
- (2) 公費負担者番号、受給者番号等の情報
- (3) 本人支払額等の医療券に記載されている情報

なお、データに疑義があったり、不一致事項が判明し、各医療機関に問い合わせが必要と判断した場合には、支払基金を通して各医療機関に返戻処理を行う。

2. 単月点検(業者委託)

毎月、全てのレセプトについて、以下の内容の点検を行う。

- (1) 診療報酬、調剤報酬等の算定方法、算定点数の点検
 - ・診療日数、初診料、再診料、乳幼児加算、指導料、入院料、調剤レセプト
- (2) 重複請求の点検
- (3) 重複受診の点検
- (4) 診療報酬明細書と調剤報酬明細書の突合

3. 縦覧点検(業者委託)

複数月のレセプトを審査することにより、単月のレセプトの点検では確認できない項目等について点検・確認する。

- ・単月点検により特異な診療傾向が認められる指定医療機関、連続月あるいは一定期間内に重複算定できない診療内容、単月ではその適否が判断できない診療内容等に係るレセプトについて、4ヶ月に1回レセプトを縦覧し点検する。

【令和6年度における事務事業の成果】

レセプト点検による過誤調整227件を医療費請求に反映させるとともに、後発医薬品の使用促進により医療費を抑制することができました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
過誤調整件数(全体)	282件	204件	136件	227件
過誤調整件数(委託分)	91件	157件	53件	73件
過誤調整効果額(委託分)	159,774円	118,720円	164,820円	173,040円
後発医薬品使用率(平均)	85.9%	86.1%	87.1%	89.5%

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	03	生活困窮者自立支援事業			6つの まちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,263	23,577	12,871			10,706	686	P. 190	

【令和6年度における事務事業の概要】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者に対する相談支援体制を整えるため、社会福祉協議会に自立支援相談支援事業、就労準備支援事業を委託しています。また、社会福祉法人グリーンコープに家計改善支援事業を委託し、伊万里市生活自立支援センター（社会福祉協議会の事務所内）にて相談窓口を設置し、連携して一体的に実施しており、住居確保給付金を給付する相談窓口も併せて設置しています。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・自立相談支援事業費国庫負担基準額：10,000,000円（人口区分4万人以上～5.5万人未満）
- ・生活困窮者就労準備支援事業等国庫補助金 補助率：2/3
- ・住居確保給付金 負担率：3/4 ※支給期間：3ヶ月間（3ヶ月間の延長及び再延長可能）
（月額）単身世帯：29,000円 2人世帯：35,000円 3人～5人世帯：38,000円

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は新規相談者数82人、新規相談件数（延べ）302件を受け付け、うち18人を就労につなげることができました。また、生活困窮者自立支援調整会議を毎月1回開催し、生活困窮者の情報共有と支援計画等について検討を行いました。

※自立支援調整会議メンバー：収納管理課1名、まちづくり課1名、消費生活センター1名、地域包括支援センター1名、長寿社会課1名、人権・同和対策課1名、都市政策課1名、上下水道部管理課1名、学校教育課1名、生活自立支援センター（社協）4名、家計改善支援員1名、福祉課4名、計18名

生活困窮者自立相談支援事業（社会福祉協議会への相談数）			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	3,346件	3,750件	3,534件
新規相談件数	217件	137件	302件
新規相談者数	86人	61人	82人
就労者数	4人	14人	18人
増収者数	5人	26人	8人
委託料	10,426,000円	10,500,000円	11,631,400円

就労準備支援事業		
	令和5年度	令和6年度
相談件数	678件	1,317件
新規	230件	161件
継続	448件	1,156件
プラン策定件数	3件	2件
委託料	4,350,000円	4,038,100円

家計改善支援事業		
	令和5年度	令和6年度
新規面談件数	40件	42件
継続面談	96件	84件
プラン策定件数	18件	25件
委託料	3,558,500円	3,562,154円

※被保護者を含む

住居確保給付金実績				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請件数	1件	0件	0件	1件
決定件数	1件	0件	0件	1件
給付額	348,000円	0円	0円	49,200円

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	04	生活保護扶養義務調査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
748	735	515			220	13	P. 192	

【令和6年度における事務事業の概要】

生活保護法第4条に定める保護の補足性の要件を充足させるため、扶養義務者の資産能力等を十分に調査するとともに親子関係等、人間的連携を基に自立援助を促しています。

生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握し文書による援助照会を行うとともに、遠隔地に居住する扶養義務者に対して訪問面接により援助要請を行います。

- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国） 補助率：3/4
- ・補助対象経費：報償費、共済費、旅費、需用費（印刷製本費、消耗品費）
役務費（通信運搬費）、委託料

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は、関西方面（大阪府及び兵庫県）に8件、九州管内（熊本県）に4件訪問し、生活保護受給者への経済的援助や精神的援助をお願いしました。また、交流がなかった扶養義務者に対しては、緊急の場合の対応など依頼を行いました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実地調査件数	0件	7件	4件	12件
経済的援助	0人	0人	0人	0人
精神的援助	0人	6人	3人	7人

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため未実施。令和4年度から再開。

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事務事業名	01	生活保護費支給事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施 策	05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
989, 144	937, 032	729, 539			207, 493	52, 112	P. 192	

【令和6年度における事務事業の概要】

生活に困窮する低所得者の最低限度の生活を維持し自立を支援するため、生活保護法に基づき生活保護費等を支給しました。

- ・生活保護費等国庫負担金 負担率：3/4
- ・生活保護費県費負担金 負担率：1/4（対象者のみ）

【令和6年度における事務事業の成果】

生活扶助、医療扶助等の支給により最低限度の生活の維持が可能となりました。
令和6年度は、生活保護世帯数の減少により、全体的に扶助費の支給額が減少しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
月平均保護世帯数	480世帯	461世帯	439世帯
月平均保護人員	620人	584人	545人
保護相談件数	146件	124件	153件
保護申請件数	43件	36件	42件

※福祉行政報告例による数値

【生活保護費の推移】

歳出（戻入未済額含む）

（単位：円）

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
生活扶助	213,777,114	204,003,990	187,627,007	▲ 16,376,983
住宅扶助	87,702,577	85,485,625	81,075,374	▲ 4,410,251
教育扶助	2,924,436	2,928,951	2,299,262	▲ 629,689
介護扶助	24,957,601	25,097,538	26,609,879	1,512,341
医療扶助	641,411,426	602,410,558	587,259,068	▲ 15,151,490
出産扶助	0	487,970	0	▲ 487,970
生業扶助	3,220,483	1,320,957	2,567,331	1,246,374
葬祭扶助	1,695,129	1,468,103	1,782,845	314,742
進学・就職準備給付金	300,000	0	900,000	900,000
就労自立給付金	198,749	124,968	331,487	206,519
保護施設事務費	35,643,046	39,017,081	46,579,544	7,562,463
合 計	1,011,830,561	962,345,741	937,031,797	▲ 25,313,944

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	02	妊婦乳児健康診査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 こども家庭センター				施 策	06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
37,354	31,039			30,100	939	6,315	P. 194	

【令和6年度における事務事業の概要】

母子保健法第13条に基づき実施する健診で、妊婦健診については、健診時期や回数、項目が「国の望ましい基準（厚生労働省告示第226号）」で定められています。

現在、妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を14枚、乳児一般健康診査受診票2枚を交付し、受診者の利便性を考え、佐賀県、福岡県、長崎県の医療機関と集合契約（広域化）し、3県以外の医療機関で受診する場合は償還払いとしています。

【令和6年度における事務事業の成果】

妊婦健康診査については、R6年度は3,813枚交付し、受診者数は3,387人でした。

妊婦健康診査の償還払いについては、R6年度は9件でした。

乳児健康診査については、3か月児健康診査の受診者数が309人であり、受診率が100%でした。10か月児健康診査の受診者数は306人であり、受診率が93%でした。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

妊婦健康診査受診結果		
	交付枚数	受診者数
R4	4,724枚	3,994人
R5	4,684枚	4,103人
R6	3,813枚	3,387人

妊婦健康診査償還払い	
	交付件数
R4	11件
R5	7件
R6	9件

3か月児健康診査			
	対象者数	受診者数	受診率
R4	355人	353人	99.4%
R5	336人	334人	99.4%
R6	309人	309人	100.0%

10か月児健康診査			
	対象者数	受診者数	受診率
R4	382人	354人	92.7%
R5	337人	322人	95.5%
R6	329人	306人	93.0%

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	05	不妊治療エンゼルサポート事業		6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 こども家庭センター			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,050	870				870	180	P. 196	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和4年度から不妊治療の一部が保険適用となりましたが、出産を希望する世帯を幅広く支援し子育て支援の充実の一環として、不妊治療に係る自己負担費用の一部（上限3万円）の助成を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

30人に治療費の助成を行いました。

年度	R4	R5	R6
申請者数	28人	19人	30人



不妊治療の補助内容

伊万里市では、不妊治療費用の一部を補助する『伊万里市不妊治療エンゼルサポート事業』を実施しています。
申請に来所される場合は、事前に電話連絡をお願いします。

◆対 象 伊万里市内に住民登録し1年以上居住されている夫婦で、税金（市税・国民健康保険税・介護保険料）の滞納がない方

◆助 成 対 象 保険適用・適用外に関わらず、医療機関で受ける不妊治療（人工授精・体外受精・顕微授精・男性不妊治療等）

◆助 成 内 容

補助金額	補助回数	申請期限
上限3万円	※回数制限なし (年度内に上限額まで申請可能)	治療を終了した年度末（3月31日まで） ※治療終了日から1年以内は申請可能

◆必 要 書 類 ・申請書(様式第1号)
・証明書(様式第2号)
・請求書(様式第5号)
・治療費の領収書のコピー
・申請者名義の通帳のコピー
・県の補助金認定がある場合は決定通知書のコピー
・マイナンバーカード(夫婦分)

※ 通知カードを使用している方で、裏面に住所変更等されている場合は、証明として使用できませんので、住民票謄本(原本)を準備してください

【問合せ先】
伊万里市こども家庭センター 保健師 ()
電話番号 23-2126



款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	15	伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	市民交流部 市民課				施 策	06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
232, 417	232, 417	605			231, 812	0	P. 202	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するために、救急医療や高度医療など伊万里・有田地区医療福祉組合が行っている伊万里有田共立病院事業に対し、繰出基準に基づいた負担金及び当該福祉組合の運営経費に対する負担金を支出しました。
(負担割合：伊万里市55%、有田町45%)

【令和6年度における事務事業の成果】

伊万里・有田地区医療福祉組合に対し、病院事業に対する繰出基準に基づく負担金及び当該福祉組合の運営経費に対する負担金232,417千円を支出することにより、佐賀県西部医療圏において中核的役割を有する伊万里有田共立病院の安定した財政運営に資することができました。

○病院事業に対する繰出基準に基づく負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
病床数割	77, 040
救急医療の確保に要する経費	11, 879
病院の建設改良に要する経費	76, 229
不採算地区に所在する中核病院の運営に要する経費	37, 498
感染症医療に要する経費	537
小児医療に要する経費	3, 425
院内保育所の運営に要する経費	1, 051
医師の派遣等に要する経費	1, 296
地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	16, 377
会計年度任用職員期末手当	6, 112
合 計	231, 444

○伊万里・有田地区医療福祉組合の運営経費に対する負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
議会費・総務費	368
児童手当制度改正に伴うシステム改修費	605
合 計	973

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	01	予防接種事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 健康づくり課			施 策	06		保健医療体制の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 202	
143,690	31,793	22,097			9,696	111,897		

【令和6年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の予防接種は、令和5年度までは、全額国費・無料で実施していましたが、令和6年度からは、B類の定期接種になり、65歳以上の高齢者等に令和6年10月から令和7年3月まで予防接種を実施しました。

○新型コロナウイルス感染症予防接種

- ・対象者：65歳以上の人
60歳以上65歳未満の人であって、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する人及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人
- ・接種回数：1回
- ・実施期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日
- ・自己負担額：2,000円

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年10月から令和7年3月まで、高齢者等の新型コロナウイルス感染症の予防接種を2,288人に実施したことで、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、重症化予防を図ることができました。

<予防接種接種者数>

(単位：人)

予防接種名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新型コロナウイルス感染症	—	—	2,288

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	01	予防接種事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 こども家庭センター				施 策	06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
175,446	163,965	980			162,985	11,481	P. 202	

【令和6年度における事務事業の概要】

予防接種は16種類（新型コロナウイルスワクチンを除く）で、全て、かかりつけ医のもとで実施する個別接種とし、安全な接種体制で感染症による疾病や重症化予防に努めました。

令和6年度から、5種混合（4種混合＋ヒブ）が定期接種の対象になりました。

また、男性を対象に、抗体検査と予防接種を行う「風しん第5期予防接種」を、妊娠を希望する女性や妊婦の同居者を対象に、佐賀県風しん予防接種事業（任意接種）を実施し、大人の風しんの流行の予防に努めました。（令和元年度からの3か年事業が令和6年度まで延長）

【令和6年度における事務事業の成果】

出生届時に予防接種の説明書と予診票を配付し、赤ちゃん訪問時にお母さんに対して保健師等から予防接種の意義や効果について説明を行いました。

幼児期以降の予防接種については、保育園や学校を通じてチラシの配布や個人通知（麻しん風しん、ジフテリア破傷風、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症）を行いました。また、ヒトパピローマウイルス感染症は、伊万里・有田地区医師会と連携し接種勧奨に努めました。

<予防接種接種者数>

（単位：人）

予防接種名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	接種率(%)
5種混合			850	66.7
4種混合	1,382	1,401	499	39.1
麻しん風しん	796	708	654	85.2
日本脳炎	2,259	1,810	1,472	89.2
ジフテリア破傷風	431	358	370	91.8
ロタウイルスワクチン	828	755	667	94.3
結核（BCG）	371	327	311	91.7
ヒトパピローマウイルス感染症	428	696	1,613	17.9
ヒブ感染症	1,392	1,347	374	29.3
小児の肺炎球菌感染症	1,394	1,348	1,206	94.6
水痘	604	651	603	88.4
B型肝炎	1,057	1,010	905	95.8
高齢者の肺炎球菌感染症	320	422	138	11.0
高齢者等インフルエンザ	10,368	9,624	8,992	51.4
【国】風しん第5期定期接種	60	31	35	
【県】風しん予防接種	42	40	32	

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	01	環境衛生総務事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,662	1,197				1,197	465	P. 204	

【令和6年度における事務事業の概要】

環境基本計画の改定に伴い環境審議会を開催したほか、脱炭素社会の実現に向けて、市民の環境に対する意識啓発を図る各種取組を実施しました。

《令和6年度実施した主な取組》

- グリーンカーテンコンテストの実施
- 緑のまちづくり推進交付金の交付
- 省エネ親子工作教室の開催

【令和6年度における事務事業の成果】

○グリーンカーテンコンテスト

夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があるグリーンカーテンの実施について、市内の個人や事業所等で取り組まれた写真を募集しコンテストを実施することで、積極的な取組につなげることができました。

【応募数】 計14件

- (1) 家庭部門 10件
- (2) 事業者・団体部門 4件



【最優秀賞】

○緑のまちづくり推進交付金

地域の緑化に必要な花の種や苗、プランター等の資材などを購入するための費用（最大10万円）を交付して、地域の緑化の取組を支援しました。

【令和6年度実績】6団体 287,000円

- ・ 煤 屋 区：100,000円
- ・ 金石原区：11,000円
- ・ 西 分 区：26,000円
- ・ すみやま農らいふ：85,000円
- ・ 大川内保育園：44,000円
- ・ 伊万里商工会議所女性会：21,000円

○省エネ親子工作教室

暮らしの中の電気製品の省エネや太陽光発電の仕組みを理解することで、日常生活におけるエネルギーとの関わり方やSDGsへの理解を深めるきっかけとしてもらうため、企業と連携して親子工作教室を開催しました。

- ・ 開 催 日 令和6年8月3日（土）
- ・ 開催場所 伊万里市民図書館
- ・ 参 加 者 21組（39名）



款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	03	伊万里・有田地区衛生組合 運営負担金			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 206	
232, 285	232, 285				232, 285	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

し尿等の処理及び火葬場事業を行う伊万里・有田地区衛生組合に対して負担金を支出し、一部事務組合による適正かつ効率的な事業運営を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

衛生センターと火葬場（やすらぎ斎苑）の適正な管理運営を図ることができました。
また、衛生センターの薬液注入操作盤を更新するとともにやすらぎ斎苑の火葬炉の計画的な更新を行うことができました。

■伊万里・有田地区衛生組合運営負担金の内訳

(単位：千円)

区 分	組合運営事務	し尿等の処理事業		火葬場事業		合 計
		管理運営	施設建設	管理運営	施設建設	
伊万里市	19, 297	146, 139	21, 203	45, 646	0	232, 285
有田町	8, 755	72, 595	13, 380	20, 709	0	115, 439
合 計	28, 052	218, 734	34, 583	66, 355	0	347, 724

■し尿・浄化槽汚泥の搬入量

(伊万里市分)

(単位：kℓ)

区 分	し尿	浄化槽汚泥	合 計
R2	28, 680	7, 021	35, 701
R3	28, 310	7, 268	35, 578
R4	27, 838	7, 359	35, 197
R5	28, 216	7, 330	35, 546
R6	27, 658	7, 294	34, 952

■やすらぎ斎苑（火葬場）での火葬件数

(伊万里市分)

(単位：件)

区分	遺がい	身体一部	改葬遺がい	合計
R2	730	4	12	746
R3	724	5	13	742
R4	814	3	26	843
R5	705	6	18	729
R6	797	7	36	840

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	09	環境基本計画・地球温暖化 対策実行計画策定事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4, 448	4, 334				4, 334	114	P. 208	

【令和6年度における事務事業の概要】

環境基本計画を前倒しして改定しカーボンニュートラルに向けた考えを盛り込むとともに、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に向け市域全体で総合的かつ計画的に取り組むため地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

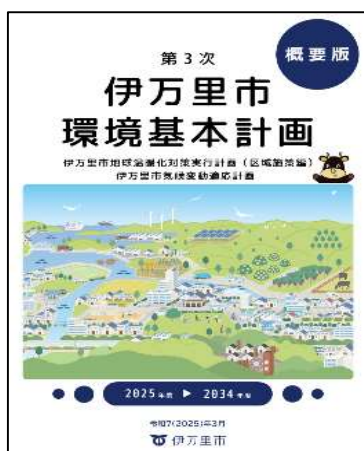
○第3次伊万里市環境基本計画

【内包：地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、気候変動適応計画】
を策定しました。



【環境基本計画 本編】

計画内容を分かりやすく伝えるため「概要版」を作成するとともに、より簡単な内容の「こども版」を作成し、授業で環境を学習する市内の小学3・4年生を対象に配付しました。



【環境基本計画 概要版】



【環境基本計画 こども版】

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	10	浄化槽設置促進事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	上下水道部 管理課				施 策	18	上下水道の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
22,902	22,104	13,763	0	0	8,341	798	P. 208	

【令和6年度における事務事業の概要】

公共下水道など集合処理の整備が困難な地域において、公共下水道と同等の汚水処理能力を有する合併処理浄化槽の普及促進を図るため、一般家庭用住居に合併処理浄化槽を設置する市民に対し、設置整備補助金として22,044千円を交付しました。

(補助内訳)

5人槽 332千円×39基＝12,948千円
7人槽 414千円×18基＝ 7,452千円
10人槽 548千円× 3基＝ 1,644千円

※別途、佐賀県浄化槽普及促進協議会会費及び負担金として、60千円を支出。

【令和6年度における事務事業の成果】

生活排水に起因する環境の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、汚水処理施設の整備を促進することができました。

・事業の課題について

公共下水道区域と農業集落排水区域を除いた区域の合併処理浄化槽の普及率は、毎年上昇しており、令和6年度末で44.5%となっています。

汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換は、費用負担が大きいため、特に高齢者世帯への普及が課題になっています。



「合併処理浄化槽」設置時の確認写真
(画像引用)
市内浄化槽設備設置事業者から提供を受けたものを使用しています。

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	健康増進費
事務事業名	03	健康診査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
38,161	36,046	1,454		633	33,959	2,115	P. 210	

【令和6年度における事務事業の概要】

健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、伊万里市前立腺がん検診実施要領、伊万里市30歳代健康診査実施要綱に基づき、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、生活保護受給者を対象とした健康増進健診、30歳代健康診査を実施し、市民の健康増進・疾病の早期発見に努めました。

また、集団健診予約専用電話を設置し、集団健診や医療機関以外でも健康診査やがん検診が実施できるよう、佐賀県健診・検査センターで行われている毎日健診を受けられる体制を整えました。

【令和6年度における事務事業の成果】

広報や市民健康カレンダー、個人通知等により周知を行い、医療機関での個別健診は5月から3月まで、市民センターでの集団健診は、待ち時間を短縮するため予約制にて19日間実施しました。Logoフォームによる集団健診のネット予約を引き続き活用し、24時間いつでも予約ができる環境を整えました。

胃がん（内視鏡検査）・乳がんについては、未受診者に対し再勧奨通知を送付したことで、受診率が増加しました。

検診名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
胃がん検診（2年に1回）	317人	9.1%	390人	8.4%	342人	9.0%
肺がん検診	2,300人	16.1%	2,261人	14.7%	2,294人	14.1%
大腸がん検診	1,818人	13.4%	1,693人	12.1%	1,821人	12.4%
子宮頸がん検診	1,795人	53.3%	1,815人	54.2%	1,718人	52.5%
HPV検査数	393人	—	386人	—	338人	—
乳がん検診（2年に1回）	933人	40.2%	1,054人	39.4%	964人	40.5%
前立腺がん検診	329人	—	329人	—	403人	—
30歳代健康診査	133人	—	122人	—	97人	—
健康増進健診	77人	—	99人	—	123人	—
肝炎ウイルス検診	92人	—	64人	—	90人	—
骨粗しょう症検診	65人	—	93人	—	76人	—

※受診率は公的な報告がある40～69歳（子宮頸がんは20～69歳）対象者の率を掲載。

※胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、2年に1回の受診として、受診率は以下の算定式により算定。

（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）／佐賀県推計対象者数×100

※受診者数は年齢に関わりなく全数を掲載。

リサイクルの推進及びごみ減量化対策の一環として、資源ごみの集団回収活動（リサイクルサンデー）に取り組んだ地区（団体）に対し、資源ごみの回収量に応じて補助金を交付しました。

リサイクルサンデーに取り組んだ地区等に対し、資源ごみの回収量に応じた補助金を交付することにより、リサイクル活動を推進し、ごみの減量化を図ることができました。

○資源ごみ回収量 447.9 トン (前年比 +12.2 トン)

	紙類 (新聞、雑誌等)	金属類 (スチール缶、アルミ缶)	ビン類 (ビール瓶、一升瓶)	計
R6	391.8	45.4	10.7	447.9
R5	378.5	46.3	10.9	435.7
増減	13.3	△ 0.9	△ 0.2	12.2

※計・・・実施、団体の収入総額

区 分	紙 類	スチール缶	アルミ缶	ビール瓶	一升瓶
市補助金	2円	2円	10円	—	—
業者買取額	—	—	30円	5円	10円
計	2円	2円	40円	5円	10円

-101-

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事務事業名	06	ごみ集積所整備促進事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
320	164				164	156	P. 212	

【令和6年度における事務事業の概要】

家庭から排出されたごみの散乱や小動物による被害を防ぎ、ごみ集積所を衛生的に管理するため、地区が行うごみ集積所の設置や整備に対し、事業費の3分の1（上限20千円）を補助金として交付しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

地区が行うごみ集積所の設置や整備に要する経費を補助し、ごみ集積所の衛生管理を良好に保つことができました。

○補助対象数 9 地区 9 基（新設 1基、増設 7基、入替1基、改修 0基、前年比△4基）



ごみ集積所

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	01	一般廃棄物収集運搬事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
207,156	205,283			95,296	109,987	1,873	P. 212	

【令和6年度における事務事業の概要】

ごみの資源化と適正な分別収集を推進するため、ごみの態様に応じた市指定のごみ袋等を作製し、市内の小売店で販売しました。

また、市内に約1,500か所あるごみ集積所に排出される一般廃棄物を収集運搬業者に委託し、衛生的かつ適正に収集運搬するとともに、一般廃棄物処理施設であるさが西部クリーンセンター及び環境センターで処理しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市指定のごみ袋等を作製するとともに、ごみ集積所に排出されるごみを収集運搬業者2社に委託して、8,625.8トンのごみを衛生的かつ適正に収集運搬処理することができました。

○指定ごみ袋等の作製

・枚数	2,467,900 枚	}	ごみ袋：2,465,000枚
・作製費	18,069,387 円		ステッカー：2,900枚

○指定ごみ袋等の販売

・枚数	2,369,100 枚	
・塵芥処理手数料	94,785,000 円	(歳入：指定ごみ袋の販売代金)
・塵芥処理手数料徴収業務委託料	14,451,510 円	(歳出：指定ごみ袋の販売手数料)

○一般廃棄物の収集運搬委託料

・(有)水興社	88,770,000 円	
・(有)河原産業	83,920,100 円	計 172,690,100 円

○一般廃棄物の収集運搬実績

(単位：トン)

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	ペットボトル等	計
	青袋	黄袋・赤袋	ステッカー	緑袋・橙袋	
R6	7,970.0	518.2	1.2	136.4	8,625.8
R5	8,339.6	551.1	1.4	136.1	9,028.2
増減	△ 369.6	△ 32.9	△ 0.2	0.3	△ 402.4

※不燃ごみ（赤袋）及びペットボトル等（緑・橙袋）は環境センターリサイクル施設で処理した後の排出量を計上しています。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	02	環境センター管理運営事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
52, 446	51, 190			42, 173	9, 017	1, 256		

【令和6年度における事務事業の概要】

家庭から排出されたごみのうち、ビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイ等の資源ごみをリサイクルするための前処理を行い、ごみの再資源化に取り組みました。
また、最終処分場の適正管理を行うとともに、環境センター周辺の各種環境調査を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

家庭から出たビン類やペットボトル等の資源ごみについては、環境センター内のリサイクルセンターに集約し、品目ごとにリサイクルの前処理を行い、リサイクル業者へ搬出することでごみの再資源化を図ることができました。

○主な支出内容

- ・光熱水費 1,549 千円
- ・修繕料 1,642 千円
- ・手数料 13,260 千円 (県シルバー人材センター派遣手数料等)
- ・環境センター施設運転管理業務委託料外3件
29,367 千円 (重環オペレーション(株) 他)
- ・発泡スチロールトレイ再商品化業務委託料外5件
2,944 千円 (有佐賀資源開発 他)
- ・工事請負費 176 千円 (電柱撤去工事)
- ・備品購入費 171 千円 (スポットクーラー他)

○再資源化（リサイクル）の状況

(単位：トン)

品 名	処理量		
	R6	R5	増減
ビン類	193.6	219.2	△ 25.6
ペットボトル	135.0	134.8	0.2
発泡スチロール製トレイ	1.4	1.3	0.1
乾電池	10.4	10.8	△ 0.4
蛍光灯	2.9	4.1	△ 1.2
リチウムイオン電池等	0.1	0.1	0.0
合 計	343.4	370.3	△ 26.9

※財源内訳の「その他」のうち32,300千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	04	佐賀県西部広域環境組合運営負担金			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
821, 843	821, 843				821, 843	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対し、その経費に係る負担金を支出しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対し、運営経費等に係る負担金を支出し、市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理することができました。

○負担金明細

(単位：千円)

管理運営負担金	施設整備負担金	※長期債元利償還金 交付税措置額負担金	合 計
350,535	128,473	342,835	821,843

※4市5町全体の地方交付税措置分を伊万里市で受入れています。

○ごみ処理量及び負担金額、割合

市町名	ごみ処理量 (トン)	処理量 割合(%)	負担金	
			金 額 (千円) ()は交付税除く額	割 合 (%) ()は交付税除く割合
伊万里市	13,145.11	24.96	821,843 (479,008)	34.52 (23.50)
3市5町分	39,509.26	75.04	1,559,010 (1,559,010)	65.48 (76.50)
合 計	52,654.37	100.00	2,380,853 (2,038,018)	100.00 (100.00)

※表中のごみ処理量はさが西部クリーンセンターでの処理量で、災害ごみは含まれていません。

○ごみ処理量の推移

(単位トン)

	ごみの種別	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
伊万里市	可燃ごみ	12,470.59	12,403.65	12,137.08	12,060.11	11,431.62
	不燃ごみ	823.87	762.98	723.01	700.27	668.61
	粗大ごみ	1,287.66	1,218.10	1,177.09	1,130.38	1,044.88
	合 計	14,582.12	14,384.73	14,037.18	13,890.76	13,145.11

※表中のごみ処理量は、さが西部クリーンセンターでの処理量です。

款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	01	労働諸費
事務事業名	03	伊万里の“いい職”説明会 開催事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 216
1,118	1,099					1,099	19	

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市への就職を希望する大学等の卒業予定者やUIJターン希望者等と地元企業とのマッチングを行うために、一時帰省が見込まれるお盆の時期（8月10日）に合同企業相談会を開催しました。また、卒業後に就職を希望する高校2年生に対し、就職先の選択肢として市内企業を知ってもらうために、3月21日に合同企業説明会を開催しました。

令和6年度からの新たな取り組みとして、市内企業の採用力を高めることを目的に、相談会及び説明会の前にジョブカフェSAGAから講師を招き、人材確保セミナーを開催しました。また、3月の合同企業説明会では、高校生を対象を絞るとともに、各企業のPRタイムを設けた後に生徒が希望する企業ブースを訪問する方式に変更しました。これらの取り組みにより、合同説明会の参加者数及び参加企業数は過去最多となりました。

【令和6年度における事務事業の成果】

日時	内容	対象者	参加企業数	参加者数
7月25日(木)	人材確保セミナー (無料で取り組む!採用力アップ講座)	相談会参加企業	9社	13名
8月10日(土)	伊万里の“いい職”相談会 (企業面談会)	大学生、UIJター ン希望者等	32社	24名
2月25日(火)	人材確保セミナー (新規高卒者を採用するには)	説明会参加企業	12社	15名
3月21日(金)	伊万里の“いい職”説明会 (企業説明会)	高校生、担当教 諭等	34社	高校生 125名 担当教諭10名

・雇用実績 2社2名



▲8月10日相談会チラシ



▲3月21日説明会チラシ



▲説明会参加企業のガイドブック

款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	01	農業委員会費		
事務事業名		01	農業委員会事務局運営事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり				
担当部課		農業委員会事務局				施 策		13	農林水産業の振興					
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書				
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源							
41,309		40,298		6,604				2,182		31,512		1,011		P. 216

【令和6年度における事務事業の概要】

農業委員、農地利用最適化推進委員を配置し、農地法に基づく農地の権利移動の許可等の審議や、農用地利用集積計画の審査など、優良農地の確保と農地の効率的利用の促進を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

農業委員14名、農地利用最適化推進委員20名を配置し、地域ごとに情報共有を行うとともに、地域計画策定に向けた集落での話し合いに参加し、担い手への農地利用の集積・集約化及び遊休農地の発生防止・解消等の活動を推進することができました。

また、毎月1回の農業委員会会議において、農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づき農地の権利移動等の各種申請について審議を行い、適正な農地の権利移動の許認可業務を行うことができました。

その他、農業委員会だよりを発行し（全戸配布）、無許可による農地転用の禁止や農地管理についての啓発を行うことができました。

○農地法等に基づく許認可申請の状況

申 請 の 種 類	件 数	筆 数	面 積
農 地 法 3 条	89	176	14.4ha
農 地 法 4 条	12	15	2.0ha
農 地 法 5 条	42	74	2.7ha
基盤強化法による利用権設定	191	530	69.0ha

※決算額は、総務課人件費等29,050千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	04	遊休農地調査事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	農業委員会事務局				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
456	367	367			0	89	P. 220	

【令和6年度における事務事業の概要】

農地法に基づき、農地の有効利用や遊休農地解消のため、市内全域の農地を対象に利用状況調査を実施しました。

調査結果を基に農地台帳の整理を行うとともに、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

利用状況調査を実施し、調査結果を基に遊休農地の所有者に対して利用意向調査を行うことで遊休農地の解消及び農地の貸借の推進を図ることができました。

○利用状況調査の調査結果（令和6年度）

・ 令和5年度末遊休農地面積	19.1ha
・ 遊休農地新規発生面積	8.1ha
・ 遊休農地解消面積	5.8ha
・ 非農地面積（再生利用が困難な農地）	11.3ha
・ 令和6年度末現在の遊休農地面積	10.1ha
※うち利用意向調査実施面積	9.4ha/125筆

款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	03	農業振興費		
事務事業名		03	中山間地域農業集落活動支援事業			6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり				
担当部課		建設農林水産部 農業振興課					施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書				
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源							
161, 197		160, 544		120, 160				48		40, 336		653		P. 232

【令和6年度における事務事業の概要】

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄の発生防止や農地の多面的な機能（水源かん養・洪水防止等）の維持向上を図るため、協定を締結した集落に対して、面積に応じて交付金を交付しました。令和6年度は第5期対策の5年目（最終年度）になります。

○中山間地域等直接支払交付金

- ・交付単価（通常）10aあたり

田	急傾斜（1/20以上）	21,000円	緩傾斜（1/100～1/20未満）	8,000円
畑	急傾斜（15度以上）	11,500円	緩傾斜（8～15度未満）	3,500円
- ※「集落戦略の作成」を行わない集落は、上記交付単価が8割になります。

- ・負担割合 直接支払交付金 県3/4（国1/2、県1/4）、市1/4
推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和6年度における事務事業の成果】

協定集落に交付金を交付し、中山間地域における農業生産活動の維持を図るとともに、集落における共同活動を推進することができました。

○中山間地域等直接支払交付金 159,764千円（県費119,823千円・市費39,941千円）

- ・協定集落 61集落（通常単価 54集落 8割単価 7集落）
- ・対象農地 田 835.2ha 畑 7.6ha 合計 842.8ha
- ・加算措置

棚田地域振興活動加算	2集落
超急傾斜農地保全管理加算	2集落
集落協定広域化加算	1集落
生産性向上加算	3集落

○推進事業費 744千円（県費337千円・市費407千円）※市費の支出は国の予算配分による

○返還金 36千円（令和2・3・4・5年度分）

□中山間地域等直接支払交付金の推移

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
期	第5期対策	第5期対策	第5期対策	第5期対策	第5期対策
協定集落	61	61	61	61	61
協定農地(ha)	843	843	842	843	843
交付金額(千円)	159,410	159,457	160,107	159,416	159,764

※協定農地（ha）は、1ha未満を四捨五入しています。

※交付金額（千円）は、千円未満を四捨五入しています。

※第5期対策から4集落が取り組みを断念（役員のなり手不足等）、2集落が統合し1集落になったため、第5期対策の協定集落は61集落になりました。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	05	新規就農者支援事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 224	
18,186	17,425	16,023			1,402	761		

【令和6年度における事務事業の概要】

新規就農者の就農時における初期負担の軽減等を行い、就農意欲の喚起や就農後の定着を図りました。また、青年農業者スキルアップ給付金を支給し新規就農者の課題解決に向けた取組や研修を支援しました。

○農業次世代人材投資資金（経営開始型）※新規採択は令和3年度で終了

・令和2年度までの採択者

交付金額 1,500千円/年（最長5年間）

※前年所得に応じて交付額が変動（資金を除く所得が100万円を超えた場合に段階的に減額し、350万円を超えた場合は交付停止）

・令和3年度の採択者

交付金額 1,500千円/年（経営開始1年目～3年目）

1,200千円/年（経営開始4年目～5年目）

※前年の世帯所得が600万円を超えた場合は交付停止

・負担割合 農業次世代人材投資資金 県10/10（国10/10）

○経営開始資金（令和4年度以降の採択）

・交付金額 1,500千円/年（最長3年間）※夫婦の場合は1.5倍

※前年の世帯所得が600万円を超えた場合は交付停止

・負担割合 経営開始資金 県10/10（国10/10）

○経営発展支援事業費補助金（令和4年度以降の採択）

・補助対象事業費上限 5,000千円 ※経営開始資金の交付を受けない者は10,000千円

・負担割合 経営発展支援事業費補助金 県3/4（国2/4） 本人1/4

○推進事業費（事務費）

・負担割合 推進事業費 県10/10（国10/10）

○青年農業者スキルアップ給付金

・交付金額 200千円/年 ※スマート農業に関する課題研究の場合は100千円/年加算

【令和6年度における事務事業の成果】

新規就農者等に対し資金の交付等の支援を行い、就農意欲の喚起及び就農後の定着を図ることができました。

○農業次世代人材投資資金（経営開始型）2,850千円

・対象者 2名 令和2年度採択1名、令和3年度採択1名

○経営開始資金 9,000千円

・対象者 7名（うち夫婦1組）750千円（半期分）×3名、1,500千円×3名、2,250千円×1組

○経営発展支援事業費補助金 3,750千円

・対象者 1名

○推進事業費（事務費） 423千円

○青年農業者スキルアップ給付金 1,400千円（200千円×7名）

・対象者 7名

▶新規就農者数、資金及び給付金の交付等件数の推移

年 度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規就農者数	19	13	19	20	22
農業次世代人材投資資金交付件数	5	5	5	2	2
経営開始資金交付件数			4	5	7
経営発展支援事業交付件数			2	1	1
青年農業者スキルアップ給付金					7

※新規就農者数は、法人に就農した者を含みます。

款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	03	農業振興費	
事務事業名		07	有害鳥獣対策事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源						
14,116		12,999						12,999	1,117		P. 224		

【令和6年度における事務事業の概要】

イノシシなど有害鳥獣による農作物被害を軽減し農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策を行う「伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会」や市猟友会に委嘱する「伊万里有田市有害鳥獣捕獲隊」の活動を支援しました。

また、新規に狩猟免許を取得し、有害鳥獣駆除に従事した者に対して免許取得に係る経費の一部を助成しました。

○捕獲報償金 イノシシ（幼・成獣） 2,500円 アライグマ 1,000円

【令和6年度における事務事業の成果】

有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費の補助を行い、農作物被害の軽減に向けた支援に取り組みました。

○補助金支出実績

- ・イノシシ捕獲 3,479 頭（補助金 8,698千円）※R6.2月～R7.1月
- ・アライグマ捕獲 585 頭（補助金 585千円） //
- ・捕獲わな導入 40 基（補助金 1,205千円）
- ・わな狩猟免許取得 1 人（補助金 50千円）
- ・伊万里有田市有害鳥獣捕獲隊活動費助成 1,000千円
- ・駆除委託経費 1,451千円

○伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会負担金 10千円

有害鳥獣捕獲頭数の推移

年度	イノシシ (頭)	アライグマ (頭)	アナグマ (頭)	タヌキ (頭)	カラスなど (羽)
R2	4,757	533	139	81	1,073
R3	3,812	511	113	108	820
R4	3,724	492	149	124	999
R5	4,008	537	104	124	1,100
R6	3,598	579	117	148	1,297

※駆除期間は5月～2月（R2より5月～3月）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	08	地域計画策定事業	6つの まちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
980	980	980			0	0	P. 224	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和5年4月1日に施行された農業経営基盤強化促進法の改正によって、「人・農地プラン」が「地域計画」と名称を変えて法定化されました。「人・農地プラン」と「地域計画」の最も大きな違いは、「地域計画」では、新たに10年後に目指す地域の農地利用を示した「目標地図」を作成する必要があることです。地域計画は2か年で策定することとされていることから、令和7年3月末までに145集落（生産組合等）で延べ64回の協議（話し合い）を行い、13地区で地域計画を策定しました。

- 地域計画策定推進緊急対策事業
・負担割合 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に引き続き、各集落（生産組合等）と協議（話し合い）を行い、13地区で地域計画を策定しました。

- 地域計画策定推進緊急対策事業（事務費） 980千円
- 集落との協議 ※2年間延べ64回
- 策定した地域計画 13地区
伊万里、大坪、大川内、波多津、黒川、南波多、
大川、松浦、二里、東山代、山代、瀬戸新田、東山代干拓

地域計画区域内の農用地面積 2,503.9ha
うち担い手が耕作する農用地面積 674.5ha（集積率 26.9%）

- 完成した目標地図（耕作者ごとに色分け）



大川町構区



東山代干拓

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	10	農業振興地域整備計画策定事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 226	
8,543	8,543				8,543	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

優良な農地を確保・保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に推進するため、伊万里農業振興地域整備計画の見直しを令和5年度から令和6年度にかけて実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

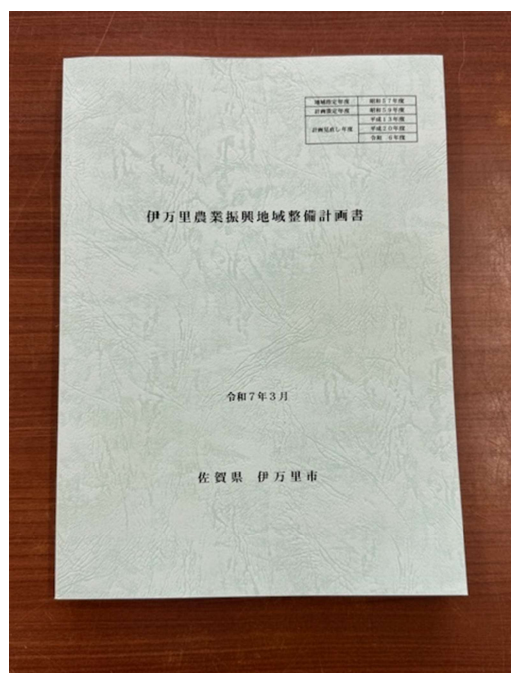
令和5年度に作成した基礎調査資料を基に、今後も農業上の利用を図るべき区域である農用地区域などの見直しを行い、伊万里農業振興地域整備計画の見直しを行いました。また、農業振興地域整備計画支援システムの構築を併せて行いました。

○計画見直し

- (1)計画の目的と方針
- (2)農用地土地利用計画素案作成
- (3)農用地土地利用変更関連資料作成
- (4)農業振興地域整備計画原案作成
- (5)計画書付図作成
- (6)農用地利用計画図作成

○委託料 8,543千円

【伊万里農業振興地域整備計画書】



※計画見直し内容

区分	農用地区域面積
変更前	3,741ha
増減	△464ha
変更後	3,277ha

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	11	農業ＤＸ推進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
614	613				613	1	P. 226	

【令和6年度における事務事業の概要】

農業分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、スマート農業技術等の普及による生産体制の充実、生産性の向上等を図るため、西松浦農業振興センター、市、伊万里市農業協同組合の3者で「伊万里市農業DX推進協議会」を組織し、市内農家の新たな取組を推進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

- 第3回伊万里市農業DX推進協議会
 - ・4月15日 R5活動報告・決算報告、R6事業計画・予算
- 視察研修
 - ・5月23日 J AGRI KYUSHUを視察（農業者を含め、19人参加）
- 第4回伊万里市農業DX推進協議会
 - ・7月5日 R5実証事業の進捗報告、R6実証事業の検討
- 中山間地域等直接支払制度における衛星画像を活用した解析業務の実証事業
 - ・8月1日～9月30日 中山間対象農地 9,803筆を衛星画像で分析
- 第5回伊万里市農業DX推進協議会
 - ・11月22日 R5実証事業の成果報告、R6実証事業の進捗報告
- JAVいまり農業まつりに企業招致
 - ・11月30日～12月1日 ラジコン草刈り機やドローンの展示・実演



○牛監視カメラの実証事業の実施

- ・1月24日 牛繁殖農家で牛監視カメラの運用確認



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	02	伊万里梨産地強化支援事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 226	
5,764	5,234	401		4,800	33	530		

【令和6年度における事務事業の概要】

老木化による生産量減少の改善を図るための改植支援や農作業の省力化、生産性の向上を図るための農機具導入支援など、梨産地の強化・維持を図るための支援を行いました。また、ブランド力の強化と販売力の向上のため、梨直売所マップを作成し、消費者に向けて情報発信を行いました。

○梨直売所マップ

- ・梨直売所マップ作成業務委託料

○伊万里市果樹園地改植支援事業費補助金（10/10県費）

- ・改植等（170千円/10a）
- ・花粉採取用苗木植付（2千円/1本、上限1本/10a）

○伊万里市梨栽培農機具導入支援事業費補助金

- ・補助率 1/2（上限額50万円）

【令和6年度における事務事業の成果】

梨産地の維持・強化のために意欲的に栽培面積の拡大や改植などに取り組む梨生産者・団体等を支援し、伊万里梨の産地維持を図ることができました。

○梨直売所マップ作成業務委託料（44千円）

○果樹園地改植支援事業費補助金（401千円）

- ・改植等 3戸 約20.3a
- ・花粉採取用苗木植付 5戸 39本

○梨農機具導入支援事業費補助金（4,789千円）

- ・事業実施主体 10戸
- ・事業内容 乗用草刈機、運搬車

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	04	園芸振興費	
事務事業名		03	園芸農業機械・施設等整備 支援事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 226			
145,762		124,323		103,595		20,700	28	21,439					

【令和6年度における事務事業の概要】

収益性の高い園芸農業を確立するため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コスト削減などの取組に必要な機械・施設等の整備に対して助成しました。

○さが園芸888整備支援事業費補助金（県単事業）
補助率 県1/2（1/3）、市1/10

【令和6年度における事務事業の成果】

農業所得の向上に向けた経営規模の拡大や先進的技術の導入などに取り組む農家を支援し、農業経営の強化を図ることができました。

○さが園芸888整備支援事業費補助金（総事業費215,582千円 補助金124,323千円）
・事業実施主体 3団体、13個人
・事業内容 パイプハウス、高設栽培施設、梨花粉開薬機等
・対象品目 きゅうり、いちご、アスパラガス、梨 など

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

○事業実績

年度	取組主体数	総事業費(千円)	補助金(千円)
R2	10 (9)	834,575 (105,577)	365,859 (58,554)
R3	13	111,709	64,337
R4	14 (13)	944,141 (174,141)	527,092 (103,777)
R5	17	212,023	123,478
R6	16	215,582	124,323

※R2、R4年度は産地パワーアップ事業費補助金分を含む
() 内がさが園芸生産888億円推進事業費補助金分の数字



さが園芸888運動
チャレンジ!活気あふれるさが園芸へ



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	05	畜産業費	
事務事業名		04	伊万里牛産地強化支援事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 228			
31, 594		20, 585				20, 500	85	11, 009					

【令和6年度における事務事業の概要】

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧される中で、産地強化を図るため、肥育農家の経営規模拡大や、生産基盤の向上に要する経費等を補助しました。

補助メニュー

- ・肉用牛サポートセンター利用料(補助率1/2、上限母牛3頭/戸、子牛3頭/戸)
- ・一貫経営の繁殖雌牛導入(補助率1/2 上限400千円/戸)
- ・空き牛舎の賃借料(補助率1年目:10/10、2年目:3/4、3年目:1/2、上限480千円/年)
- ・空き牛舎の購入費(補助率3/4、上限1,080千円/戸)
- ・空き牛舎の改修費(補助率1/2、上限1,500千円/年)
- ・肥育素牛の導入促進費(補助率50千円/頭、上限80頭/戸)
- ・肥育素牛の預託費(補助率1/2、最長2年、上限1,500千円/年)
- ・IoT機器等の導入費(補助率購入1/3、リース1/2、上限1,000千円/年)
- ・作業従事者の雇用費(補助率1/2、上限1回/戸 173千円)
- ・牛舎施設等改修費(補助率1/2、上限1,500千円)
- ・伊万里産素牛導入費(補助率100千円/頭、上限10頭/戸)

【令和6年度における事務事業の成果】

飼料費の高止まりや枝肉販売価格の低迷により大変厳しい状況が続くなか、牛舎施設等の改修や肥育素牛の増頭等に取り組む肥育農家を支援することで、生産基盤の向上に貢献することができました。

○伊万里牛産地強化支援事業費補助金

・肉用牛サポートセンター利用料	10頭	1,256千円
・空き牛舎の賃借料	3件	182千円
・空き牛舎の改修費	1件	1,458千円
・肥育素牛の導入促進費	157頭	7,850千円
・IoT機器等の導入費	1件	242千円
・作業従事者の雇用費	9件	1,557千円
・牛舎施設等改修費	5件	3,840千円
・伊万里産素牛導入費	42頭	4,200千円
計		20,585千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



屋根改修後の牛舎（牛舎施設等改修費）



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	05	畜産業費	
事務事業名		05	伊万里牛出荷奨励事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源						
19,781		19,535				19,500	35	246		P. 228			

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と伊万里産子牛の安定供給を図るため、肉用牛農家の出荷した頭数や成績に応じて奨励金を交付しました。

○出荷奨励金

- ・肥育牛 2,000円/頭 歩留等級Aかつ肉質等級5の場合は3,000円を加算
- ・子牛 2,000円/頭 県平均セリ価格を上回る場合は3,000円を加算

【令和6年度における事務事業の成果】

19,535千円の奨励金の交付を行い、伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と伊万里産子牛の安定供給を図ることができました。

- ・肥育牛 4,370頭 うち加算対象 3,323頭
対象農家数 36戸
- ・子牛 221頭 うち加算対象 128頭
対象農家数 26戸

○事業費 19,535,000円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	06	農地費	
事務事業名		03	農地・水保全管理支援事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源						
130,529		130,528		98,016		96	32,416	1		P. 230			

【令和6年度における事務事業の概要】

農地農村が有する多面的機能を維持していくために、農業者をはじめとした住民等の組織が行う農地や農業用施設の適正な維持管理活動に対し協定農地面積に応じた補助金を交付することで平成19年度から1期5ヵ年事業として創設され、令和元年度から3期目に入っています。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は、78組織に活動費として補助金129,763千円を支出するとともに、活動組織からの相談に対する援助や適正な活動推進のための検査確認などを行うことにより農地、農業用施設の維持管理や長寿命化及び農村環境の良好な保全を図ることができました。

活動内容	組織数	協定面積 (ha)	
		田	畑
農 地 維 持 活 動	78	1,591.6	320.1
資源向上活動（共同活動）	78	1,591.6	320.1
資源向上活動（長寿命化）	63	1,321.7	280.2

区分	内容	事業費（円）
多面的機能支払補助金		129,762,620
事 務 費	負担金、旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料	694,000
過年度交付金返還金		71,740
計		130,528,360

支出内容	補助率		
	国	県	市
多面的機能支払補助金	50%	25%	25%
事 務 費	100%	—	—

「資源向上活動（共同活動）状況」

「資源向上活動（長寿命化）状況」



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	06	農地費		
事務事業名		07	団体営農地防災事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり				
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興					
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書				
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源							
141,456		18,642		17,210		900				532		122,814		P. 232

【令和6年度における事務事業の概要】

この事業は、老朽化した農業用ため池等による自然災害を未然に防ぎ、農地の保全を図るものです。市内には県内最多の1,081箇所ものため池があり、農業用水源の多くをこれらに依存していますが、ため池の老朽化による漏水や土砂堆積で有効貯水量が激減し、用水不足が深刻な農業経営への影響となっていることから、防災上緊急性の高いため池等を重点的に整備し、自然災害の防止、農業生産の維持、公共施設の被災防止を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

ため池の改修や廃止工事により、決壊による災害リスクを低減し、下流域の農地や公共施設の安全を確保することができました。また、改修したため池は貯水能力が向上し、農業用水の安定供給が可能となり、農業経営の安定化に貢献することができました。

区分	内容	事業費（円）
委託料	ため池改修2箇所(新堤、上猪洗川)	8,946,300
工事請負費	ため池改修1箇所(皿屋)、廃止1箇所(山王山)	9,657,900
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	37,500
計		18,641,700

令和7年度への繰越明許費の内訳

区分	内容	事業費（円）
工事請負費	ため池改修1箇所(柳谷)、廃止2箇所(山王山、大谷上)	30,381,000
	可動堰改修1箇所(拝田)	88,000,000
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	4,400,000
計		122,781,000

※不用額は、令和7年度への繰越明許費122,781千円を含みます。（ 122,781 ） 繰越

皿屋ため池竣工写真



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	06	農地費	
事務事業名		08	ため池緊急浚渫推進事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 232			
110, 847		66, 739			62, 700	6, 195	▲2, 156	44, 108					

【令和6年度における事務事業の概要】

県内最多の1,081箇所もの農業用ため池が老朽化し、深刻な課題となっています。これらのため池は農業用水源として不可欠ですが、漏水や土砂堆積により貯水量が激減し、これにより、水稻作付け不良など農業経営に深刻な影響が出ています。

自然災害を未然に防ぎ、農地の保全、安定した農業生産、公共施設の安全を確保するため、緊急性の高いため池から優先的に整備を進め、地域の農業の持続化を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

本事業により、老朽化したため池の貯水量が回復し、農業用水の安定供給が図られました。これにより、水稻作付け不良などの農業経営への悪影響が解消され、農業生産の維持に貢献することができました。また、ため池の決壊リスクが低減され、下流域の農地や公共施設の自然災害防止を強化することができました。(R6 10箇所完了 R7繰越 8箇所)

区分	内容	事業費 (円)
工事請負費	権現ため池ほか9箇所	66,067,600
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	671,500
計		66,739,100

令和7年度への繰越明許費の内訳

区分	内容	事業費 (円)
工事請負費	古屋敷ため池ほか7箇所	43,924,500
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	175,500
計		44,100,000

※不用額は、令和7年度への繰越明許費44,100千円を含みます。(44,100) 繰越

ため池浚渫 着工前



ため池浚渫 工事完了



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	06	農地費	
事務事業名		09	団体営基盤整備促進事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 232			
68, 620		46, 449		28, 049	13, 600	5, 301	▲501	22, 171					

【令和6年度における事務事業の概要】

農地の排水不良による作付け不振や収益減少、老朽化した農業水利施設による災害リスクに直面しているため、地域の実情に応じた整備を通じて、農業生産の維持、経営の安定化を図ります。具体的には、区画整理による作業効率向上、暗渠排水や湧水処理による収量安定、農業用施設（水路、堰）の改修による生産性向上と安定経営の実現を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

本事業では、伊万里V期地区における暗渠排水工事によって、農地の排水性が大幅に向上し、作物の生育環境が改善され、収量の安定化が図られました。また、同地区の区画整理工事により、農作業の効率化が進み、農業生産性の向上が実現しました。

さらに、可動堰（府招下）と排水樋門（萩の尾）の設計委託により、将来を見据えた水管理機能の強化が図られ、用水の安定供給と災害に強い農業基盤の構築を図ることができました。

区分	内容	事業費（円）
委託料	可動堰設計（府招下）、排水樋門（萩の尾）	5,544,000
工事請負費	暗排・区画整理（伊万里V期）、水路改修（伊万里北）	40,015,600
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	889,460
計		46,449,060

令和7年度への繰越明許費の内訳

区分	内容	事業費（円）
工事請負費	水路改修（伊万里北）、堰改修（府招下）	22,090,400
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	29,600
計		22,120,000

※不用額は、令和7年度への繰越明許費22,120千円を含みます。（ 22,120 ） 繰越

区画整理工事 着工前



区画整理工事 完了



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	11	ため池整備事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 234	
294,038	40,548		34,700	1,418	4,430	253,490		

【令和6年度における事務事業の概要】

本事業は、ため池の老朽化とそれに伴う脆弱化に対応し、災害の未然防止を図るため、ため池の劣化状況、耐震性、豪雨への耐性評価を行うものです。

また、県営ため池整備事業において、ため池の決壊リスクを低減し、下流にある農地や公共施設の保全を図る工事に対し、県営事業負担金を支出しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

ため池整備工事の一部を負担金として担うことで、ため池の決壊リスクが低減され、地域の防災力向上に大きく貢献することができました。特に、老朽化による決壊リスクを抱えていたため池の安全性が向上し、これにより下流域に広がる農地や公共施設の自然災害に対する脆弱性を大幅に軽減することができました。

区分	内容	負担金額 (円)
負担金、補助及び交付金	負担金 (県営ため池整備事業)	40,548,000

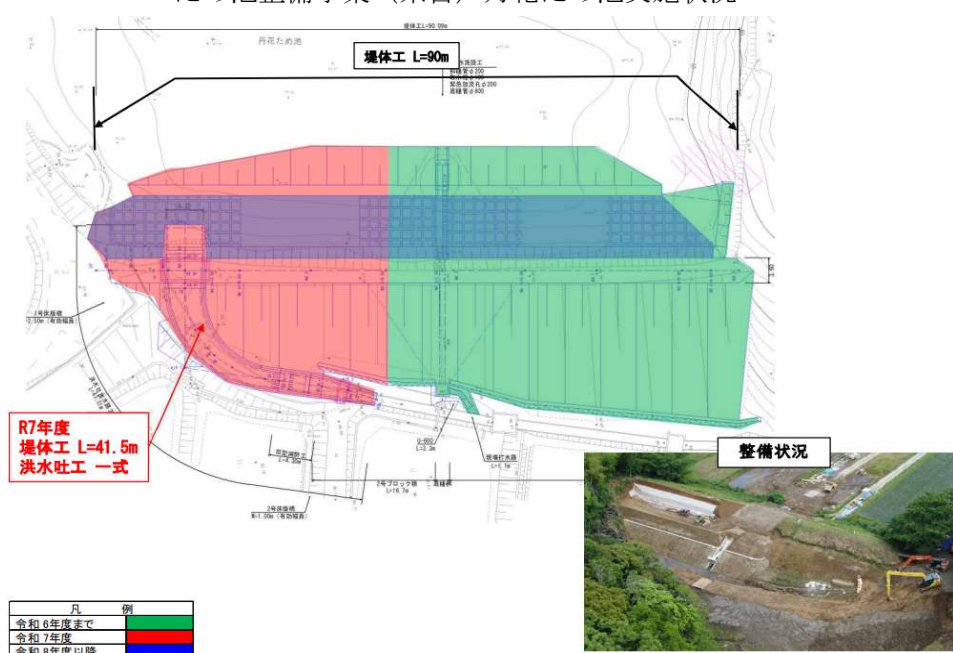
令和7年度への繰越明許費の内訳

区分	内容	事業費 (円)
委託料	ため池劣化・豪雨・耐震評価	253,490,000

※不用額は、令和7年度への繰越明許費253,490千円です。

(253,490) 繰越

ため池整備事業 (県営) 丹花ため池実施状況



款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 06 農地費
事務事業名	13 経営体育成基盤整備事業	6つのまちづくり
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課	施 策
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳
		国・県支出金 地方債 その他 一般財源
16,555	16,555	0 8,000 8,278 277
		不用額 (千円)
		0
		決算書 P. 234

【令和6年度における事務事業の概要】

東山代干拓地区の農地（A=49.9ha）は、湿田が多く麦作や畑作物など裏作の振興が図れない状況であり、また、狭小の区画が点在しているため大型機械の導入が困難な状況です。

このことから、農業機械は個人利用及び作業委託が行われているため、今回の整備により担い手による農地集積を進め、農業経営の安定化を図ることとしています。

【令和6年度における事務事業の成果】

県営事業負担金を適切に執行することで、工事進捗が図れ、大型機械の導入が容易になり、作業効率が向上しました。また、安定した水管理が可能となり、生産コストの削減と品質の向上が実現しました。これらの基盤整備を通じて、担い手農家への農地集積が促進され、効率的な農業経営が確立されました。

区分	内容	事業費（円）	負担金額（円）
農地整備	農地整地、農業用排水路、暗渠排水	94,600,000	16,555,000

○負担率

農地整備（経営体育成基盤整備事業） 国55%、県27.5%、市8.75%、地元8.75%



款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 06 農地費
事務事業名	14 農地中間管理機構関連農地整備事業	6つのまちづくり
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課	13 農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳
		国・県支出金 地方債 その他 一般財源
7,668	7,600	2,720 4,500 0 380
		不用額 (千円)
		68
		決算書 P. 234

【令和6年度における事務事業の概要】

本事業は、瀬戸新田地区の農業が抱える高齢化の進行と、それに伴う農地の利用効率の低下により、農地中間管理機構への農地の貸し付けが増加すると見込まれる中で、農地の大区画化などの基盤整備を実施し、農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積・集約化を加速させ、豊かで競争力のある農業の実現を推進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

農地の大区画化等の詳細設計と、それに伴う換地業務（報償費、委託料）の円滑な実施により、農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積・集約化が加速されました。また、県営事業負担金を適切に執行することで、地区の詳細設計の進捗を図ることができました。

区分	内容	事業費（円）
報償費	換地委員に対する報奨金	146,160
委託料	換地業務委託料	2,574,000
負担金、補助及び交付金	県営事業負担金	4,880,000
計		7,600,160

区分	内容	事業費（円）	負担金額（円）
農地整備	詳細設計、換地費等	48,800,000	4,880,000

負担率 国62.5%、県27.5%、市10.0%



款	06	農林水産業費				項	01	農業費		目	06	農地費	
事務事業名		16	農業用排水路施設等整備事業（繰越明許）				6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 （千円）		決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源						
54,654		54,347		46,310	3,800	6,631	▲2,394	307		P. 234			

【令和6年度における事務事業の概要】

本事業は、地域の農業生産基盤を強化するため、多角的に農業用施設の整備・保全を進めます。農業用河川工作物応急対策事業で災害による損傷を迅速に修繕し、基盤整備促進事業で施設の長寿命化や農地の大区画化を行います。また、ため池整備事業では災害リスクの高い施設の耐震化を行い、維持管理適正化事業を通じて施設の計画的な保全を推進します。これらの取り組みにより、農業用水の安定供給、生産性向上、そして地域全体の防災力強化を図り、持続可能な農業農村の実現を目指しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

拌田地区に係る可動堰設計業務委託、大溜及び棚古場ため池改修工事、伊万里V期地区基盤整備工事（区画整理・暗渠排水）、伊万里2期地区の揚水ポンプ施設更新工事を行うことにより、自然災害を未然に防止し、農業施設の維持及び農業生産の安定を図ることができました。

区分	内容	事業費（円）
役務費	通信運搬費	124,000
委託料	設計業務委託（拌田地区）	7,700,000
工事請負費	ため池災害防止工事（大溜ため池、棚古場ため池）	22,708,800
	農業用水利施設改修工事（伊万里2期地区）	8,800,000
	農業用暗渠排水整備工事（伊万里V期地区）	15,013,900
計		54,346,700

大溜ため池 完了



棚古場ため池 完了



伊万里V期地区 完了



伊万里2期地区 完了



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	17	ため池整備促進事業 (繰越明許)	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課	施 策	13	農林水産業の振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 236	
103,290	103,078	103,070			8	212		

【令和6年度における事務事業の概要】

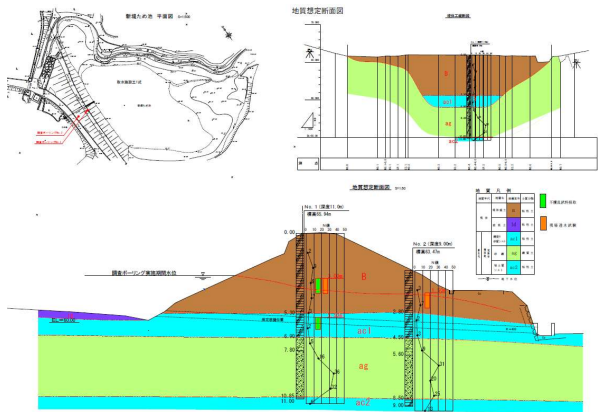
本事業は、ため池の老朽化とそれに伴う脆弱化、洗掘に対応し、災害の未然防止と維持管理の強化を図るため、ため池の詳細点検を行い、劣化状況、耐震性、豪雨への耐性の調査・評価を行うとともに、地域住民の安全確保のため、ため池決壊時の浸水想定区域などを明示したハザードマップの作成などを行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

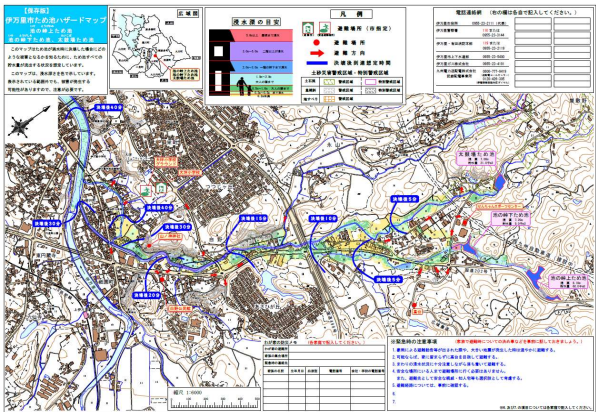
本事業の実施により、老朽化による決壊リスクを抱えていたため池の状態を把握し、下流域に広がる農地や公共施設の自然災害に対する脆弱性を確認することができました。また、ため池ハザードマップの作成は、地域住民の避難意識を高め、万一の災害時における迅速かつ安全な避難行動を支援する上で重要な役割を果たすとともに、下流域に広がる農地や公共施設の自然災害に対する脆弱性を把握し、対策に繋げる事ができました。

区分	内容	事業費（円）
委託料	ため池整備事業計画概要書作成業務委託料	5,280,000
	ため池詳細点検業務委託料	50,000,500
	ため池ハザードマップ作成業務委託料	47,797,200
計		103,077,700

「ため池耐震性評価」



「ため池ハザードマップ」



款	06	農林水産業費				項	02	林業費		目	01	林業総務費	
事務事業名		02	林道管理事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 238			
21, 379		20, 114		5, 397		1, 500	13, 217	1, 265					

【令和6年度における事務事業の概要】

林道の橋梁・隧道の長寿命化を図るため点検診断業務を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

林道台帳に記載された橋梁(L=4m以上)、隧道の損傷状態を把握することができました。

橋梁 N=21橋

隧道 N= 1本

科目	決算額	内容
燃料費	33,595円	公用車燃料費
賠償責任保険料	20,790円	道路賠償責任保険料
委託料	17,461,300円	林道環境整備業務委託料
		林道支障木伐採業務委託料
		林道施設点検診断業務委託料
		林道台帳更新業務委託料
工事請負費	1,618,100円	林道維持補修工事
原材料費	899,140円	林道用補修資材（生コンクリート支給）
備品購入費	81,400円	チェーンソー購入費
合計	20,114,325円	

●点検診断作業状況



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費				項	02	林業費		目	02	林業振興費	
事務事業名		01	森林経営管理事業				6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書			
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源						
39,007		36,877				36,877	0	2,130		P. 238			

【令和6年度における事務事業の概要】

- ・荒廃した森林の管理を促進するために、平成31年4月に施行された森林経営管理制度に基づき、私有林における経営管理の意向調査及び経営管理権集積計画の策定を行いました。
- ・前年度以前に策定した集積計画に基づき、森林整備（切捨間伐）を実施しました。
- ・林業事業体に対する担い手確保対策補助事業や、小学生を対象とした森林林業普及啓発のための木育教室の開催、木に親しむために乳児に対し市産材のつみきを配布しました。

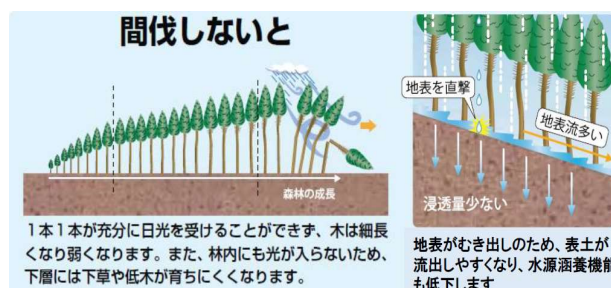
【令和6年度における事務事業の成果】

- ・南波多町笠椎区の制度対象森林86.64haにおいて意向調査を実施し、最終的に42.77haの経営管理権集積計画を策定しました。
- ・令和5年度以前に策定した集積計画に基づき、南波多町の2地区（井手野・大曲・大川原・古川）の間伐を36.83ha実施し、水源涵養や土砂流出の防止等、森林が持つ公益的機能の維持・回復を図ることができました。
- ・市内の2林業事業体に対し、森林整備を担う人材を確保し雇用の安定化を図るための補助金を交付しました。
- ・森林、林業、環境教育の一環である木育教室を開催し、市内2小学校で児童計34名が参加しました。金づちを用いて、県産ヒノキを使用した万能台を製作しました。

▶
間伐前



▶
間伐後



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	03	林業後継者育成等支援事業	6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり		
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
2,726	2,685			1,331	1,354	41		

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里西松浦森林組合に対し、森林整備に関する担い手の確保や育成及び通年雇用を促進するため、森林整備担い手育成事業として技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対し補助を行いました。

また、伊万里・有田管内において地域林業の担い手たる林業後継者の育成、確保を図る目的で結成された「伊万里有田地区森林・林業協議会」に負担金を支払うことで、林業経営研修会等の開催へと繋げることができました。

【令和6年度における事務事業の成果】

伊万里西松浦森林組合に対し、技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対する補助を行うことで、林業基盤の整備と経営の安定化を図ることが出来ました。

また、伊万里有田地区森林・林業協議会に対し負担金を支払い、協議会が行う林業経営研修会等に参加し、森林・林業に関する新たな知識の習得ができました。

項目	支出額 (円)	備考
森林整備担い手育成事業費補助金	2,612,603	基金助成(その他) 1,330,938円 市(一般財源) 1,281,665円
伊万里有田地区森林・林業協議会 負担金	72,000	市(一般財源) 72,000円
合計	2,684,603	

款	06	農林水産業費			項	02	林業費		目	04	治山事業費			
事務事業名		02	農林地崩壊防止事業（林地）			6つのまちづくり			05	住みよい環境づくり				
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課					施 策		22	防災体制の整備				
予算現額 （千円）		決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）		決算書				
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源							
1,516		1,291		586				353		352		225		P. 242

【令和6年度における事務事業の概要】

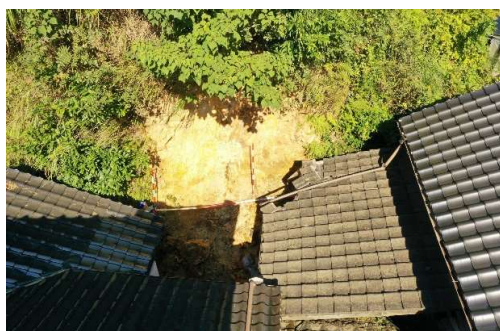
令和6年7月に発生した梅雨前線豪雨により崩壊した林地の復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

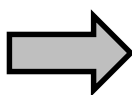
1地区の工事により、崩壊した林地を復旧保全し、地域住民の安全確保を図ることができました。

地区名	工事場所	工事決算額	工事延長	主な工法
中三操屋	南波多町原屋敷	1,291,400円	5.3m	のり切工

●工事着工前



●工事完了後



款	06	農林水産業費			項	02	林業費		目	04	治山事業費	
事務事業名		03	農林地崩壊防止事業（林地）（繰越明許）				6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり		
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課					施 策		22	防災体制の整備		
予算現額 （千円）		決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）		決算書		
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 242		
6,670		5,227		2,565		1,331	1,331	1,443				

【令和6年度における事務事業の概要】

令和5年7月に発生した梅雨前線豪雨により崩壊した林地の復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

2地区の工事により、崩壊した林地を復旧保全し、地域住民の安全確保を図ることができました。

地区名	工事場所	工事決算額	工事延長	主な工法
岡	脇田町脇田	2,156,000円	13.0m	のり切工
押川	黒川町奥野	3,071,200円	13.6m	のり切工
合計		5,227,200円		

●工事着工前（岡）



●工事完了後（岡）



●工事着工前（押川）



●工事完了後（押川）



款	06	農林水産費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事務事業名	02	海域環境・生態系保全管理 支援事業		6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
570	522	0	0	0	522	48	P. 244	

【令和6年度における事務事業の概要】

水産多面的機能支払補助金では、漁業者等で構成された活動組織が行う海底清掃及び海面清掃に要する経費の一部を補助しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

水産多面的機能支払補助金では、経費の一部を補助することで、活動組織が行う水産業・漁村の多面的機能を発揮するための地域活動を支援することができ、環境・生態系の維持回復や安心して活動ができる海域の確保などを図ることができました。

補助金交付先	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会 (協議会が国費、県費、市費をとりまとめ、活動組織へ一括交付)
活動組織	波多津地区海環境を守る会
補助対象経費	3,478,000円
補助率	市15% (国70%、県15%)
補助金額	521,700円

●実施状況 (海底清掃)



●実施状況 (漂着物清掃)



款	06	農林水産業費			項	03	水産業費		目	02	漁港管理費	
事務事業名		01	波多津漁港管理事業			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興				
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書		
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源					
23, 444		22, 589		9, 596	9, 500		3, 493	855		P. 244		

【令和6年度における事務事業の概要】

地域住民の安全を確保するための護岸補修工事を行いました。
波多津漁港施設の機能保全工事のための設計業務を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

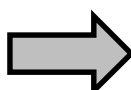
護岸補修工事により、地域住民の安全確保を図ることができました。
波多津漁港施設の機能保全工事のための実施設計が完了しました。

科目	決算額	内容
消耗品費	16,966円	係留使用許可ラベルシール、トイレトペーパー
光熱水費	124,268円	漁港内照明電気料、漁港内トイレ電気料・水道料
手数料	182,970円	漁港内トイレし尿汲取料
賠償責任保険料	640円	道路賠償責任保険料
委託料	19,636,700円	漁港管理業務委託料、広場管理業務委託料、 補修実施設計業務委託料2件、調査業務委託料
使用料及び賃借料	276,000円	複写機使用料
工事請負費	2,099,900円	護岸補修工事
原材料費	148,500円	漁港用補修資材（砕石支給）
負担金	103,000円	佐賀県漁港漁場協会負担金
合計	22,588,944円	

●工事着工前（護岸補修工事）



●工事完了後（護岸補修工事）



款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	商工業振興費		
事務事業名		01	伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策		14	商工業の振興			
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書		
				国・県支出金		地方債		その他		一般財源		
15, 149		15, 149						7, 100		8, 049		
								0		P. 246		

【令和6年度における事務事業の概要】

窯業振興や伝統技術の継承のための後継者育成を図るため、窯業団体に対し、賛助会費を支出するとともに、窯業団体が実施する事業に係る経費に対して、補助金を交付しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会や佐賀県陶芸協会に対し、各協会の活動を支援するための賛助会費を支出するとともに、窯業団体が実施する事業に係る経費に対して補助金を交付し、その活動を支援しました。

なかでも伊万里鍋島焼伝統産業振興事業費補助金については、令和7年の鍋島藩窯伊万里開窯350周年に向けて、本市の伝統産業である鍋島焼の持続的な振興につながる取組を確立するため、産地ブランド戦略の策定等に要する経費を補助し、支援を行いました。

1 賛助会費 () は支払先

- | | |
|---|------|
| (1)伝統的工芸品産業振興協会賛助会費
(一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会) | 50千円 |
| (2)佐賀県陶芸協会賛助会費
(佐賀県陶芸協会) | 10千円 |

2 補助金 () は支払先

- | | |
|---|----------|
| (1)伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業費補助金
(伊万里・有田焼伝統工芸士会) | 45千円 |
| (2)鍋島藩窯伝統技術保存事業費補助金
(伊万里鍋島焼協同組合) | 240千円 |
| (3)伊万里鍋島焼伝統産業振興事業費補助金
(伊万里鍋島焼協同組合) | 14,804千円 |
| 合 計 | 15,149千円 |



▲献上の儀（大阪城）



▲産地ブランディング戦略

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	02	伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
39, 575	34, 557			2, 448	32, 109	5, 018	P. 246	

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里陶磁器工業協同組合を指定管理者とし、伊万里・有田焼伝統産業会館の適切な維持・管理を図りました。

また、伊万里・有田焼伝統産業会館のエントランスホール及び資料展示室の改修を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和7年の鍋島藩窯伊万里開窯350周年に合わせ、伊万里・有田焼伝統産業会館のエントランスホール及び資料展示室の改修を行い、鍋島焼を中心とした焼物の歴史・価値等の情報を発信する機能を強化し、市内外に向けた本市の伝統産業の振興を図りました。



▲伊万里・有田焼伝統産業会館のエントランスホール



▲伊万里・有田焼伝統産業会館の資料展示室

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

※不用額は、令和7年度への継続費通次繰越4,950千円を含みます。

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	04	工場等設置奨励事業			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策		14	商工業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,272	2,250			2,200	50	22	P. 248	

【令和6年度における事務事業の概要】

市内に工場等の新設や増設を奨励することにより、産業の振興や新たな雇用の場を確保するため、新たに設備投資を行った事業者に対し、工場等設置奨励金を交付しました。

- ・対象要件：投下固定資産額が2,000万円を超えること
- ・交付期間：3年間（事業開始年度の翌年度から交付）

【令和6年度における事務事業の成果】

新たな設備投資が行われた3事業所に対し、工場等設置奨励金2,250千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○交付期間

- ・1年目分 2件 630千円
- ・2年目分 2件 590千円
- ・3年目分 1件 1,030千円

○製造業の場合

※課税された固定資産税相当額を奨励金として交付

1年目分	不均一課税(90%免除)	10%
2年目分	不均一課税(75%免除)	25%
3年目分	不均一課税(50%免除)	50%

奨励金

- ・七ツ島工業団地（黒川町）



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	11	産業Ｄ×推進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,854	8,754			8,700	54	2,100	P. 250	

【令和6年度における事務事業の概要】

コロナ禍以降の消費行動や働き方等の変化に加え、人材不足や原料、資材等の高騰など、企業を取り巻く環境の変容に伴い、企業活動においてもICTを活用した業務改善、効率化など、新たな視点を持ったビジネス改革（DX：デジタルトランスフォーメーション）への取組が重要視されていることから、DXを推進するフェアの開催、ITツールの導入補助金により市内企業のDXへの取組を促進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

1 DX推進フェア開催

- (1)日 時：令和6年11月14日（木）10:00～16:00
- (2)場 所：ロイヤルチェスター伊万里
- (3)来場者：58社 98名
- (4)出展者：15社

ITツールや商材・サービスに直接触れることができる機会を提供するDX推進フェアを開催し、出展企業と来場者のビジネスマッチングの機会創出と市内企業のDXへの取組を促進しました。



- R6の新規取組 -

- ① 九州経済産業局事業「省エネ・カーボンニュートラルキャラバン」と同時開催（GXとの連携）
- ② 伊万里デジタルイノベーション協会による「DXよろず相談」ブースの設置
- ③ IX-Party（伊万里市の若手経営者によるDX勉強会）による生成AI体験ブースの設置

2 中小企業DX支援事業費補助金

- (1)予 算：10,000千円
- (2)対象事業：①ITツール（ソフトウェア・クラウドサービス）の導入を伴う事業
②DX推進の計画策定（令和6年度追加）事業
※②の申請実績は無し
- (3)補助金額：対象事業費の2/3以内
下限50千円～上限500千円
- (4)実 績：24社 8,035千円 平均335千円／社

新しい生活様式の実践や生産性の向上に向けて、DXに取り組む市内の中小企業に補助金を交付しました。



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	12	まちなか賑わい創出事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
13,400	11,076	338			10,738	2,324	P. 250	

【令和6年度における事務事業の概要】

遊休物件を活用した中心市街地の活性化に向けて、企業委託型地域おこし協力隊による空き店舗や空き家、遊休地の実態調査を行うとともに、適宜オーナーに対する意向調査を行いました。

また、地域商業の活性化を図るため、空き店舗への新規出店者に対し、備品購入費の一部を補助しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

1 地域おこし協力隊運營業務委託

株式会社RURAL（本社：東京都）と企業等委託型地域おこし協力隊運營業務委託契約を締結し、2名の者に地域おこし協力隊を委嘱しています。

活動内容は、中心市街地における空き店舗数や立地などの実態調査、活用に係る所有者の意向調査の実施、活用可能な用途を把握した上で市内へ出店を希望する方への物件紹介、物件掲載ホームページの構築及び掲載などを行いました。

(1)委託先 株式会社RURAL 令和4年9月1日 契約

(2)協力隊員 1人目：令和5年2月1日委嘱 2人目：令和5年8月1日委嘱

(3)活動内容

- ・遊休物件の現状調査 104件(空き店舗53件, 空き家38件, 空き地13件)
- ・オーナーへの意向調査 26件(空き店舗22件, 空き家 2件, 空き地 2件)
- ・空き物件の相談・案内件数 8件
- ・物件掲載ホームページの構築、掲載
- ・遊休物件活用策の調査研究 など

(参考) 3年間の活動概要

- ・遊休物件の調査による活用可能な物件の抽出
- ・遊休物件の活用策に係る企画立案 など



▲サイト内画像

2 地域商業活性化支援事業費補助金

(1)補助金額：対象事業費の2／3以内、上限1,000千円（県外からの移住者の場合1,500千円）

(2)予 算：3,000千円

(3)実 績： 676千円（1件 飲食店（バー））

(4)県補助金： 338千円（地域商業活性化支援事業費補助金）

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	14	第3次プレミアム付商品券 発行事業	6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり		
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 252	
101,030	99,902	81,800			18,102	1,128		

【令和6年度における事務事業の概要】

食料品価格などの物価高騰の中、市民の消費生活を下支えし、地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を販売しました。

また、前年度に引き続き、従来の紙の商品券に加え、電子商品券を発行し、キャッシュレス化に対応した地域経済の振興を図りました。

区分	第3次伊万里がんばろう応援券（紙版）	伊万里がんばろうPay（電子版）
発行数	当 初：20,000冊（額面総額1億円） 変更後：26,400冊※ （額面総額1億3,200万円） ※電子商品券の不正購入発生により一部を紙商品券に切替えて販売を行った	当 初：40,000口（額面総額2億円） 変更後：32,523口※ （額面総額1億6,261万5千円）
額面/セット	5,000円（500円×10枚）	5,000円
券種構成/セット	共通券：5,000円	
販売価格/セット	4,000円	
使用期間	令和6年9月2日（月）～令和7年1月31日（金）	
販売対象	伊万里市民	
取扱店	市内で営業している店舗で、取扱店登録を受けた店舗（366店舗）	

【令和6年度における事務事業の成果】

区分	第3次伊万里がんばろう応援券（紙版）	伊万里がんばろうPay（電子版）
販売数	26,400冊	32,523口
使用金額	131,772,000円	157,203,310円
使用率	99.83%	96.67%



款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	02	企業立地勸奨事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書 P. 254	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,234	3,836				3,836	398		

【令和6年度における事務事業の概要】

市内において新たな雇用機会を創出し、伊万里東部工業団地やバンリビルへの誘致を図るため、企業訪問等による積極的な立地勸奨を行いました。

また、既存企業における事業拡張や円滑な事業活動を促進するため、フォローアップ活動に取り組みました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○令和6年度 企業訪問実績

- ・立地勸奨数 51件
- ・フォローアップ数 65件

○令和6年度 進出企業数 0件

・製造業等における伊万里東部工業団地への視察が2件、事務系企業におけるバンリビル等への視察が3件あったものの、新規企業の進出には至りませんでした。

○令和6年12月25日 上田石灰製造株式会社佐賀工場 竣工式の様子



款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	03	ビジネス支援サービス業等 立地促進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
19,166	19,165	1,069		16,951	1,145	1	P. 254	

【令和6年度における事務事業の概要】

企業誘致に取り組む中で、大学新卒者やUIJターン希望者等の就職先となる事務系企業の誘致を図り、受け皿となるオフィススペース、バンリビルを賃借しました。
また、バンリビル等へ進出した企業に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金を交付しました。

○拠点オフィス借上料 18,889千円（月額1,574,100円）

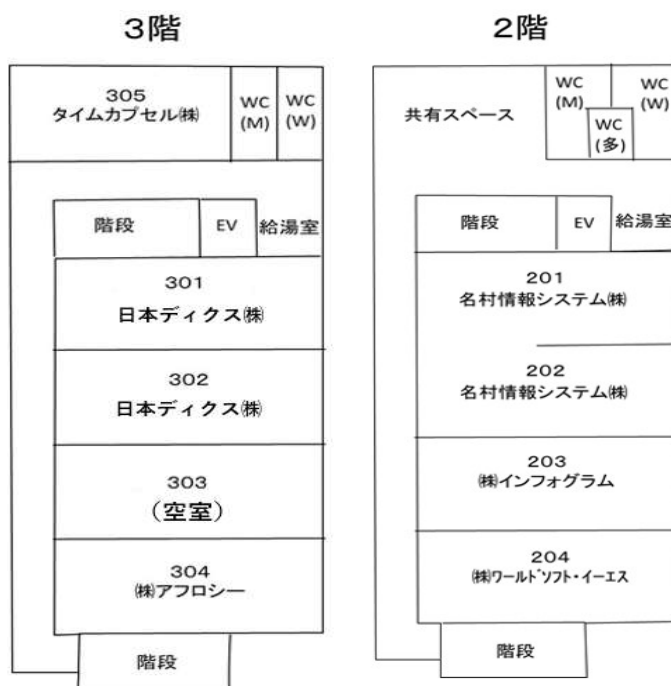
○ビジネス支援サービス業等立地奨励金

- ・1年目分 1件 22千円
- ・2年目分 1件 254千円

【令和6年度における事務事業の成果】

新たな雇用等を行われた2事業所に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金276千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○伊万里市ビジネス支援オフィス（バンリビル）への入居状況（令和7年3月末現在）



※財源内訳の「その他」のうち、200千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	02	観光PR事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 256	
21,090	19,478			19,400	78	1,612		

【令和6年度における事務事業の概要】

交流人口及び観光消費のさらなる拡大を図るため、本来のターゲット層である「本物志向」、「シニア層」に加え、情報発信力の高い「若者層」に本市の魅力をPRしました。

また、Instagramの市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」(saga_imari)による情報発信の強化や「若者層」に人気がある福岡市内の飲食店において、伊万里産食材による新メニューを開発及び提供する「伊万里ジャックFUKUOKA」を実施しました。

このほか、大川内山で開催された「風鈴まつり」と時期を合わせ、福岡空港国内線ターミナルビルや都内、福岡県内のホテルなどで伊万里焼風鈴及び浮き球を掲出し、イベントを通じた本市の魅力発信にも注力しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

以下のとおり観光PRを実施し、本市の魅力を発信しました。

【Instagram市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」による情報発信】

記事投稿を85回、ストーリーズ投稿を139回実施し、その結果、投稿を見た人の数を示すリーチ数は約65万となり、このアカウントにより年間65万人に向け情報発信することができました。(令和7年3月時点)

また、10月以降はアカウント運営の自走化に向け、伊万里鍋島焼協同組合へ引き継ぎを行い、撮影から投稿まで組合員が実施できるようになりました。

【大川内山風鈴祭りの開催時期に合わせた伊万里焼風鈴及び浮き球の掲出】

首都圏、福岡都市圏を中心にホテルや飲食店など24ヶ所、552個を掲出しました。新たに浮き球の貸出も開始し、2ヶ所、13個を掲出しました。このことにより、「伊万里焼」を通じた本市の魅力の発信ができました。

【伊万里ジャックFUKUOKAの開催】

福岡の人気飲食店において、季節ごとに旬の伊万里産食材を使用したメニューを開発し、1年をとおして全18店舗、35品の伊万里メニューを提供することで、食材をきっかけとした本市の魅力をPRしました。



(主な支出内容)

・委託料	Instagram市公式アカウントの運用	5,606千円
	伊万里ジャックFUKUOKA	5,335千円
・広告料	福岡都市圏デジタルサイネージ	2,775千円
・印刷製本費	観光パンフレット・ポスター印刷	3,462千円

※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	03	観光振興団体支援事業	6つの まちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課			施 策		15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
22,779	21,553			21,500	53	1,226	P. 256	

【令和6年度における事務事業の概要】

市物産観光振興協議会では、SAGA2024国民スポーツ大会の伊万里会場において、市観光協会と連携し観光ブース（観光案内、土産品等の販売）を展開したほか、伊万里の特産品を詰め合わせた「おもてなしギフトボックス」を製作し、競技会場で販売を行うなど、全国から訪れた多くの大会関係者に本市の魅力をPRしました。

また、福岡都市圏の旅好き女性を対象とした観光PRイベント「女子旅EXP0」への出展や女子旅モニターツアーを実施するなど、本市観光コンテンツのPRを行いました。

市観光協会においては、グリーン・ツーリズム事業として、関西を中心とする修学旅行生の受入れをはじめ、農家民宿実践者の掘り起こしや旅行会社への営業に取り組みました。さらに、旅行会社との連携による募集型企画旅行により、福岡都市圏からの日帰り観光客の誘客を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

- ・ SAGA2024国民スポーツ大会関連事業…(9月11日～10月14日)
 - (1)おもてなし物産展の開催
観光ブース（観光案内、土産品等の販売）において、伊万里市が会場の4競技、全13日間18会場で、本市のPRを行いました。
 - (2)おもてなしギフトボックス
競技会場で販売を行い、全国各地から来訪された大会関係者に本市のPRを行いました。大会終了後は、観光協会店舗にて継続して販売を行っています。
- ・ 女子旅EXP0への出展…(9月14日)
PRブースにおいて、新パンフレットの配布をはじめ、本市特産品の試食・試飲やアンケート回答者への抽選会を実施するなど、福岡都市圏の女性に対し本市の魅力をPRしました。
アンケート回答者（抽選会参加者）399名
- ・ 女子旅モニターツアーの実施…(11月17日)
旅行系インフルエンサーと共同で本市誘客のターゲットである福岡在住の20～40歳代女性のモニターツアーを企画実施し、本市観光コンテンツのPR及び今後の旅行商品造成に向けた意見等を集約しました。
参加者14名
- ・ 農家民宿修学旅行生の受入実績…56校 581名
- ・ 阪急交通社との連携による募集型企画旅行助成の受入実績…911名

（主な支出内容）

- ・ 物産観光振興協議会補助金 1,860千円
- ・ 観光協会補助金 17,057千円
- ・ 観光振興強化事業費補助金 2,190千円



▲修学旅行生の受入れ



▲おもてなし物産展



▲おもてなしギフトボックス

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費		項	01	商工費		目	04	観光費	
事務事業名		04	どっちゃん祭り開催支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり		
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策		15	観光の振興		
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書	
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 258	
3,000		3,000				3,000	0	0			

【令和6年度における事務事業の概要】

「どっちゃん祭り」について、開催に要する経費を補助金としてどっちゃん祭り実行委員会に支出しました。



【令和6年度における事務事業の成果】

酷暑による熱中症のリスクを回避するため、昨年度に引き続き5月に開催しました。

司会は、市シティプロモーション公認サポーターの石本愛さん、伊万里市出身でサガレレビアナウンサーの平川邦明さんに務めていただき、伊万里愛あふれる掛け合いで会場は大いに盛り上がりました。

また、新たな取組みとして、消防車やパトカーなどの車両の展示イベント「はたらくくるまEXPO」の開催、会場周辺の駐車場不足を補うため、市役所と伊万里駅を結ぶシャトルバスの運行を行いました。

- ・開催日 : 令和6年5月26日（日）
- ・イベント内容 : 伊万里子ども太鼓の会の演奏、市内外の団体によるダンスの披露、音楽フェスティバル、大道芸人によるパフォーマンス、総踊り、女みこしの合戦と伊万里太鼓の共演（雨天により、一部イベントが中止）
- ・人出 : 約35,000人
- ・支出内容 : どっちゃん祭り開催補助金 3,000千円

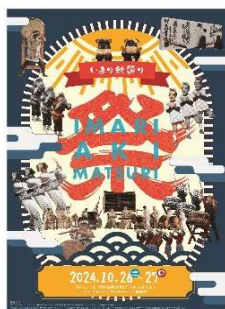


※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	05	いまり秋祭り開催支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 258
6,989		6,906			6,900	6	83	

【令和6年度における事務事業の概要】

郷土色豊かな伝統を織りなす市民総参加の祭りである「いまり秋祭り」について、開催に要する経費を補助金としていまり秋祭振興会へ支出しました。



【令和6年度における事務事業の成果】

恒例のダンスイベントや市民総踊りをはじめ、田子ノ浦部屋の力士による来場者参加型イベントの開催、伊万里高等学校書道部・美術部・吹奏楽部による合同パフォーマンス、市内事業者による物産展など大いに盛り上がりしました。

- ・開催日：令和6年10月26日（土）、27日（日）
- ・主なイベント：観光大使オンステージ、伝統芸能披露、大相撲 いまり秋祭り場所、伊万里太鼓の演奏、伊万里高校合同パフォーマンス、カラオケ★トンテントン、プラスバンドフェスティバル、市民総踊り、花火
(雨天により、一部イベントが中止)
- ・人 出：約80,000人（10月26日 約30,000人、10月27日 約50,000人）
- ・振興会決算額：7,554千円
- ・支出内容
手数料：26千円（総踊り用浴衣クリーニング代）
補助金：6,880千円



※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	07	魅力向上プロジェクト事業	6つの まちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課				施 策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,985	1,821			1,700	121	164	P. 258	

【令和6年度における事務事業の概要】

本市の観光振興の柱であり、令和7年に鍋島藩窯伊万里開窯350周年を迎える大川内山において、環境に配慮しつつ散策が可能な「グリーンスローモビリティ(低速電動車)」のリースによる短期的な運行を行いました。

また、本市と連携協力協定を締結している森永製菓(株)の新本社ビル建設に伴い、創業者生誕の地「伊万里」から、同社のさらなる発展と本市との連携の深化を図るため、市が令和5年度に伊万里鍋島焼協同組合に制作を依頼した「色絵エンゼル橘紋瓶子」を森永製菓(株)本社へ寄贈しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○グリーンスローモビリティ

観光客に対して急な坂道でもゆったりと景観を楽しむことができる新たな「おもてなし」を提供したことで、大川内山の魅力のさらなる向上を実現しました。

▶リース期間

- ・ 秋季 令和6年11月7日～12月16日 (40日間)
- ・ 春季 令和7年3月19日～3月31日 (13日間)

▶延べ利用者数 50名

▶リース料

- ・ 春季 672,980円
- ・ 秋季 119,020円
- ・ 合計 792,000円



▲グリーンスローモビリティ
※4人乗り(運転手を含む)

○森永製菓(株)への鍋島焼の寄贈

鍋島焼の寄贈により、本市と森永製菓株式会社との絆が深まり、連携体制がより強固なものとなりました。



▲寄贈式の様子



▲寄贈した「色絵エンゼル橘紋瓶子」

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	02	道路管理事業（単独）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
254, 093	249, 797	40, 710	101, 400		107, 687	4, 296	P. 264	

【令和6年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装、路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修や街路樹管理などを行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

（千円）

工 種	事 業 費	事 業 内 容
市道補修工事	98,901	86件（側溝整備、舗装補修、一般補修）
道路付属物修繕工事	9,676	1件（照明灯9基：平尾～脇田線、金谷～吉田線、古賀～正力坊線、井手野～原屋敷線、脇田～築港線、宿15号線）
市道舗装補修工事	101,919	4件（AS舗装：平尾～脇田線、八谷搦～上伊万里線、川東橋～伊万里駅前線）
小 計	210,496	
委託料	24,349	43件（街路樹管理業務、草刈業務、支障木伐採業務、用地測量業務、交通量調査）
使用料及び賃借料	231	市道補修用モーターグレーダー借上料等
原 材 料 費	9,464	生コン、側溝、アスファルト合材等
事 務 費	5,257	消耗品費、光熱水費、修繕料、通信運搬費
小 計	39,301	
合 計	249,797	

※不用額は、令和7年度への繰越明許費3,520千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	03	道路管理事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
7,841	40				40	7,801	P. 266	

【令和6年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事の発注を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和6年度における事務事業の成果】

歩行者や車両の通行における安全性の確保を図るため、市道中山上～井野尾線の法面補修工事の発注を行うことが出来ました。

(千円)

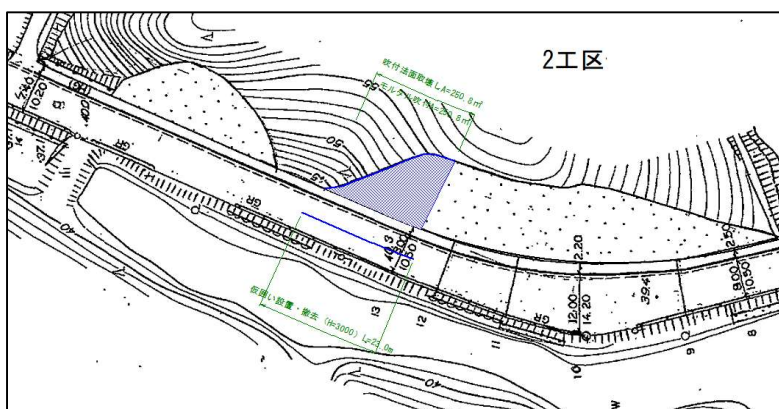
路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道中山上～井野尾線	0	法面補修工事 L=20m モルタル吹付工 A=250㎡
事 務 費	40	燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	40	

【市道中山上～井野尾線】

着工前



計画図



※不用額は、令和7年度への繰越明許費7,776千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	04	道路管理事業（単独）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,900	9,561				9,561	339	P. 266	

【令和6年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修を行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道補修工事	9,038	5件（天神～大久保線、重橋～畑川内線、外8路線）
用地購入費	523	4件
合 計	9,561	

【天神～大久保線】

着工前



成工



【重橋～畑川内線】

着工前



成工



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	02	市道改良事業（単独）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 266	
18,400	6,790				6,790	11,610		

【令和6年度における事務事業の概要】

地域に密着した生活道路の整備を進めるために、市単独事業により市道3路線の改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道煤屋4号線外2路線の道路改良工事に取り組むことで、市道の利便性の向上や安全性の確保を図ることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道煤屋4号線	3,850	道路改良工事 L=35.2m （モルタル吹付工 163㎡）
市道天神～大久保	1,780	道路改良工事 L=20.3m （U型300側溝 18m）
市道札の元～古瓶屋線外	1,160	物件移転補償（九電、NTT外）
合 計	6,790	

【市道煤屋4号線】

着工前



成 工



【市道天神～大久保線】

着工前



成 工



※不用額は、令和7年度への繰越明許費11,609千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	03	市道改良事業（道整備交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268
9,128	9,126	4,501	4,900		△ 275	2		

【令和6年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、市道讃岐～古場線の道路改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

地域再生計画の目標として、市道と林道を一体的に整備することにより森林施業や治山事業などを円滑に進め、利便性の向上や安全性の確保を進めることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道讃岐～古場線	9,030	道路改良工事 L=75.9m （排水工 56m As舗装工 369㎡）
事 務 費	96	通信運搬費、複写機使用料
合 計	9,126	

【市道讃岐～古場線】

着工前（中間付近）



成 工（中間付近）



着工前（終点付近）



成 工（終点付近）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	04	市道改良事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268
37,088		17,637	9,627	7,800		210	19,451	

【令和6年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋～中山線の道路改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路改良工事を進めることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道重橋～中山線	9,504	道路改良工事 L=152.5m （道路土工 637㎡ 土留工 140m）
	8,000	道路改良工事(その2) 前払金 L=134.8m （As舗装工 9,511㎡）
事 務 費	133	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	17,637	

【市道重橋～中山線】

着工前（起点側）



成 工（起点側）



着工前（終点側）



成 工（終点側）



※不用額は、令和7年度への繰越明許費19,451千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	05	市道改良事業（単独） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,607	9,602				9,602	5	P. 268	

【令和6年度における事務事業の概要】

地域に密着した生活道路の整備を進めるために、市単独事業により市道東田代9号線の道路改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道東田代9号線の道路改良工事を行うことで、利便性の向上や安全性の確保を図ることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道東田代9号線	9,602	道路改良工事 L=77m (Co舗装工 72㎡, ブロック積工 29㎡)
合 計	9,602	

【市道東田代9号線】

着工前（起点側）



成 工（起点側）



着工前（終点側）



成 工（終点側）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	06	市道改良事業（社会資本整備総合交付金）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268	
13,313	13,313	6,517	6,700		96	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋～中山線の舗装工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路拡幅後の舗装工事を行うことが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道重橋～中山線	11,645	道路舗装工事（その2） L=125m （As舗装工 962㎡）
	1,389	道路改良工事 L=152.5m （道路土工 637㎡ 土留工 140m）
事 務 費	279	消耗品費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	13,313	

【市道重橋～中山線】

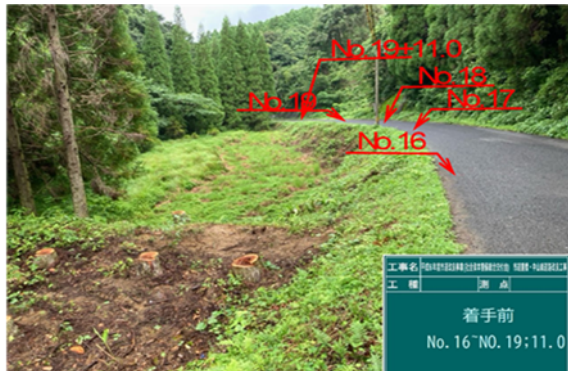
着工前（舗装工事）



成 工（舗装工事）



着工前（改良工事）



成 工（改良工事）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	02	交通安全施設整備事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268	
41, 594	41, 569	3, 000			38, 569	25		

【令和6年度における事務事業の概要】

道路利用者の安全を確保するため、ガードレール等の防護柵設置や路面標示の区画線設置及び道路反射鏡、ハンプ等の交通安全施設を整備しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者及び車両の通行における安全性の確保をすることができました。また、ハンプの設置により、通行車両の速度を低減し、歩行者の安全性の確保をすることができました。

工 種	事 業 費	事 業 内 容
防護柵等 設置工事	34,541	1件（防護柵設置、区画線、カラー舗装）
速度抑制施設 設置工事	6,038	1件（ハンプ設置）
小 計	40,579	
原 材 料 費	990	道路反射鏡、支柱等
合 計	41,569	

ハンプ設置
内の馬場地区

施 工 前

成 工



ハンプ設置
大黒地区

施 工 前

成 工



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	03	交通安全施設整備事業 (補助)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
111, 642	23, 659	12, 489	12, 500		△ 1, 330	87, 983	P. 270	

【令和6年度における事務事業の概要】

道路交通安全施設等整備事業補助金を活用し、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境をつくるため市道提川～川西線の道路改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道提川～川西線の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路改良工事を進めることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道提川～川西線	16,707	道路改良工事（その1）L=291m（道路土工 2,238m ³ ）
	6,000	道路改良工事（その2）L=85m（函渠工 2箇所 歩道設置工 63m）
事 務 費	952	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	23,659	

【市道提川～川西線】

着工前（東陵学園側）



成 工（東陵学園側）



着工前（川西側）



成 工（川西側）



※不用額は、令和7年度への繰越明許費87,982千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	04	交通安全施設整備事業（補助） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 270	
69,280	69,280	37,958	29,100		2,222	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

道路交通安全施設等整備事業補助金を活用し、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境をつくるため市道提川～川西線の道路改良工事に関する用地購入や物件移転補償および道路改良工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市道提川～川西線の利便性の向上や安全性の確保を図るため、用地購入や物件移転補償を行い、道路改良工事を進めることが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道提川～川西線	54,919	道路改良工事L=300m（道路土工 1,936m ³ ）
用地購入費	6,075	20筆 2,244.7m ² （田、畑、山林、原野、ため池、公衆用道路）
物件移転補償費	7,086	杉・ヒノキ、庭木類 1式（3筆）
事 務 費	1,200	消耗品費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	69,280	

【市道提川～川西線】

着工前（改良工事）



成 工（改良工事）



着工前（物件移転補償）



成 工（物件移転補償）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	01	橋りょう管理事業（単独）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,409	2,634				2,634	1,775	P. 270	

【令和6年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に通行できるよう、老朽化した橋りょう1橋の補修を実施しました。

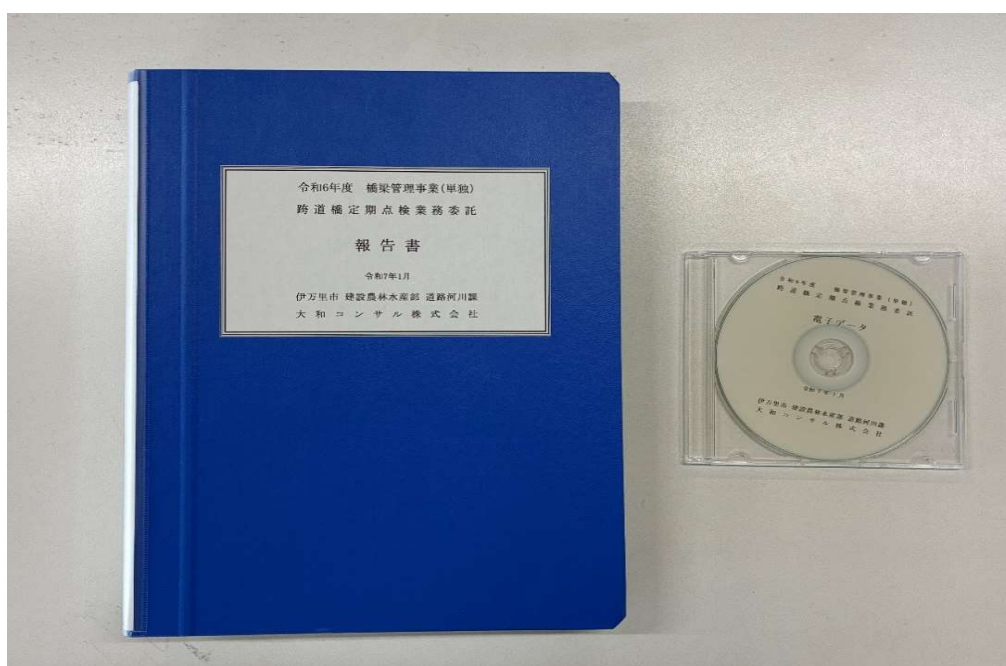
【令和6年度における事務事業の成果】

補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

また、定期点検を行い、橋りょうの現状における健全性を把握することができました。

工 種	事 業 費	事 業 内 容
橋りょう 補修工事	287	2件（橋りょう補修:桃の川新橋、滝野校橋）
委 託 料	2,347	跨道橋定期点検（中石坂跨道橋ほか2橋）
合 計	2,634	

【橋りょう点検】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	02	橋りょう管理事業（補助）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
70,286	70,279	38,187	26,700		5,392	7	P. 270	

【令和6年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した「伊万里市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、市道橋1橋の詳細設計および、2橋の補修工事を実施しました。

また、橋りょうの定期点検および、「伊万里市橋梁長寿命化修繕計画」の更新を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

鷹の巣橋外1橋の補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することが出来ました。

また、橋りょうの定期点検や「伊万里市橋梁長寿命化修繕計画」の更新を行うことで、橋りょうの健全性を把握するなど、今後の事業計画の動機付けとすることが出来ました。

（千円）

橋りょう名等	事業費	事業内容
鷹の巣橋 （立花町富士町地内）	15,014	橋りょう補修工事 L=4.8m 構造物補修 1式、防護柵取替工 9.6m
滝野校橋 （東山代町滝川内地内）	24,148	橋りょう補修工事 L=18.6m 構造物補修 1式、防護柵取替工 37m、伸縮装置取替工 9.2m
祇園橋 （大坪町祇園町地内）	6,817	詳細設計 1式
長寿命化修繕計画	14,300	橋梁長寿命化修繕計画更新 756橋（坂口橋ほか755橋）
市道橋定期点検	9,153	定期点検（大提橋ほか39橋）
事務費	847	普通旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料等
合 計	70,279	

【鷹の巣橋】成 工



【滝野校橋】成 工



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	03	橋りょう管理事業（補助） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）		財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
33, 653	33, 638		18, 219	14, 600		819	15	P. 272

【令和6年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した「伊万里市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、松浦跨線橋外3橋の補修工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

松浦跨線橋外3橋の補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することが出来ました。

(千円)

橋りょう名	事業費	事業内容
松浦跨線橋 (松浦町宿分地内)	7,058	橋りょう補修工事 L=17.0m 橋面補修工 123㎡、伸縮装置取替工 18.3m
重橋 (南波多町重橋地内)	20,416	橋りょう補修工事 L=21.0m 構造物補修 1式、防護柵取替工 41.8m、伸縮装置取替工 11.0m
鷹の巣橋 (立花町富士町地内)	3,000	橋りょう補修工事 L=4.8m 構造物補修 1式、防護柵取替工 9.6m
滝野校橋 (東山代町滝川内地内)	2,767	橋りょう補修工事 L=18.6m 構造物補修 1式、防護柵取替工 37m、伸縮装置取替工 9.2m
事 務 費	397	消耗品費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	33,638	

【松浦跨線橋】成 工



【重橋】成 工



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	01	河川局部改修事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
60,412	11,165		11,900		△ 735	49,247	P. 276	

【令和6年度における事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川浦方川と府招川の護岸整備を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

普通河川浦方川および府招川の護岸整備により、周辺の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することが出来ました。

(千円)

河 川 名	事 業 費	事 業 内 容
普通河川 浦方川	2,244	河川改修工事 L=13.0m (護岸工 A=17㎡)
普通河川 府招川	8,576	河川改修工事 L=27.3m (護岸工 A=66㎡)
事 務 費	345	消耗品費、修繕料、通信運搬費、複写機使用料
合 計	11,165	

【浦方川】着工前



成 工



【府招川】着工前



成 工



※不用額は、令和7年度への繰越明許費49,247千円です。

款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	02	浦分地区浸水対策事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
243, 459	19, 654		24, 400		△ 4, 746	223, 805	P. 276	

【令和6年度における事務事業の概要】

浸水常襲地区である黒川町浦分地区の浸水対策のために、排水機場計画地の用地取得および、物件移転補償を行い、排水機場建設工事に着手しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

排水機場計画地の用地購入と木造建物などの物件移転補償を行い、揚排水ポンプ設備工事と土木工事を進めることが出来ました。

(千円)

予 算 費 目	事 業 費	事 業 内 容
工事請負費	6,661	土木工事（施工ヤード造成費、仮設配管敷設費）
用地購入費	2,116	宅地 73.96㎡、雑種地 94㎡
物件移転補償費	9,562	木造建物一式（建物移転費、工作物移転費、動産移転費、立竹木補償、移転雑費）
事 務 費	1,315	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料等
合 計	19,654	

着手前（木造建物物件移転）



着工前（仮設工事）



完了（木造建物物件移転）



成 工（仮設工事）



※不用額は、令和7年度への継続費通次繰越223,339千円を含みます。

款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	03	河川局部改修事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 276
14, 527	14, 517			14, 500		17	10	

【令和6年度における事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川岳坂川の護岸の整備を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

普通河川岳坂川の護岸整備により、周辺の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することが出来ました。

(千円)

河 川 名	事 業 費	事 業 内 容
普通河川 岳坂川	14,474	河川改修工事 L=30.0m (護岸工 A=57m ² 、帯工1箇所、集水桝1基)
事 務 費	43	消耗品費、修繕料
合 計	14,517	

【岳坂川】

着工前 (上流部)



成 工 (上流部)



着工前 (下流部)



成 工 (下流部)



款	08	土木費		項	03	河川費		目	04	土砂災害対策費	
事務事業名		01	急傾斜地整備事業				6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり		
担当部課		建設農林水産部 道路河川課				施 策		22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書	
				国・県支出金	地方債	その他		一般財源			P. 278
18,712		5,624		2,772	3,200			△ 348	13,088		

【令和6年度における事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事の発注を行い、住家の安全性の確保に努めました。

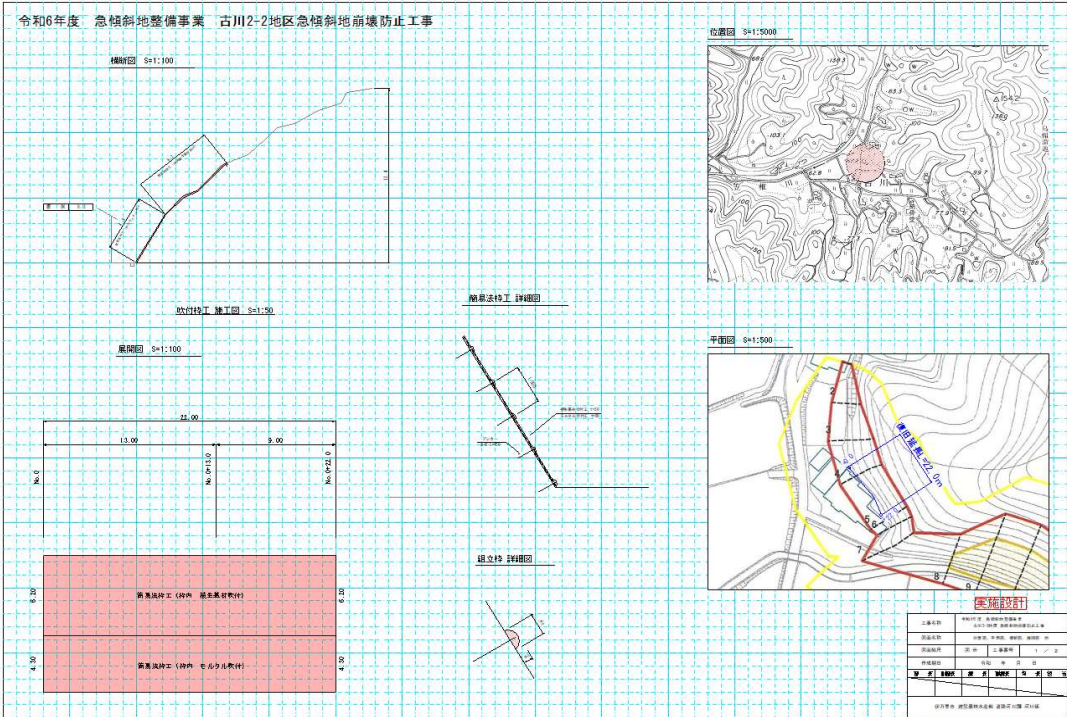
【令和6年度における事務事業の成果】

急傾斜地崩壊危険区域内にある住家の安全性の確保を図るため、古川2-2地区、川西8地区の斜面崩壊防止工事の発注を行うことが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
古川2-2地区	3,160	法面補修工事 L=22m 簡易法枠工 A=231㎡ (前金払)
川西8地区	2,384	法面補修工事 L=13m 法枠工 L=91.1m (前金払)
事 務 費	80	通信運搬費、複写機使用料
合 計	5,624	

【古川2-2地区】計画図



※不用額は、令和7年度への繰越明許費13,088千円です。

款	08	土木費	項	03	河川費	目	04	土砂災害対策費
事務事業名	02	急傾斜地整備事業 (繰越明許)			6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策		22	防災体制の整備
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
34,226	18,294	9,099	2,700	6,121	374	15,932	P. 278	

【令和6年度における事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

急傾斜地崩壊危険区域内にある住家の安全性の確保を図るため、馬臥1地区外3地区の斜面崩壊防止工事の発注を行うことが出来ました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
馬臥1地区	6,914	法面補修工事 L=10.0m 法枠工 L=239.6m
津主第二地区	3,762	法面補修工事 L=7.0m ワイヤロープ掛工 L=95.1m
脇田1地区	814	法面補修工事 L=8.0m 植生工 A=44㎡
市山2-1地区	6,709	法面補修工事 L=7.0m 法枠工 L=87.0m
事 務 費	95	燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	18,294	

【馬臥1地区】

着工前

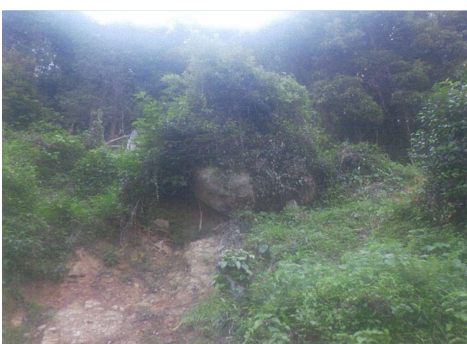


成 工



【津主第二地区】

着工前



成 工



款	08	土木費	項	04	港湾費	目	01	港湾管理費
事務事業名	02	港湾整備促進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 伊万里湾総合開発課				施 策	16	港湾の活用	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
25,100	25,100		22,700	2,300	100	0	P. 280	

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里港沿岸において、海岸管理者である佐賀県が実施する海岸保全施設の補修等を行う事業及び伊万里港の港湾施設の機能回復等を行う事業に対し、その経費の一部を負担しました。

(千円)

事 業 内 容	事業期間	事業費	市負担率	市負担額
海岸保全施設（樋門）補修	R4-R11	52,000	0.5/10	2,600
防舷材取替（久原3号岸壁）	R6	24,000	1/6	4,000
楠久2号橋りょう落橋防止装置設置工事	R4-R6	111,000	1/6	18,500
合 計		187,000	－	25,100

【令和6年度における事務事業の成果】

海岸保全施設（樋門）補修の実施及び岸壁の防舷材取替や橋りょうの耐震補強工事により、伊万里湾沿岸の海岸保全施設等の機能が回復され、防災機能の向上にも貢献することができました。

なお、事業費ベースで海岸保全施設補修は約43%、久原3号岸壁の防舷材取替、橋りょうの耐震補強工事は完了という状況です。



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	08	土木費	項	04	港湾費	目	02	港湾振興費
事務事業名	01	伊万里港ポートセールス推進事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 伊万里湾総合開発課				施 策	16	港湾の活用	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 280	
22,324	18,885			17,800	1,085	3,439		

【令和6年度における事務事業の概要】

平成9年度に伊万里港国際コンテナターミナル（黒川町七ツ島地区）が供用開始されたことに伴い、平成11年8月に佐賀県、伊万里市、民間物流業者、関係団体等により設立された「佐賀県伊万里港振興会」を推進母体として、官民一体で国内外の荷主や船社に対し、集荷と航路誘致の両面から伊万里港のポートセールスを行いました。

《主な取組内容》

- ・国際物流総合展への出展、伊万里港セミナーの開催などの集荷・広報事業
- ・新規航路開拓を目的とした「東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成」などの各種コンテナ貨物助成事業

【令和6年度における事務事業の成果】

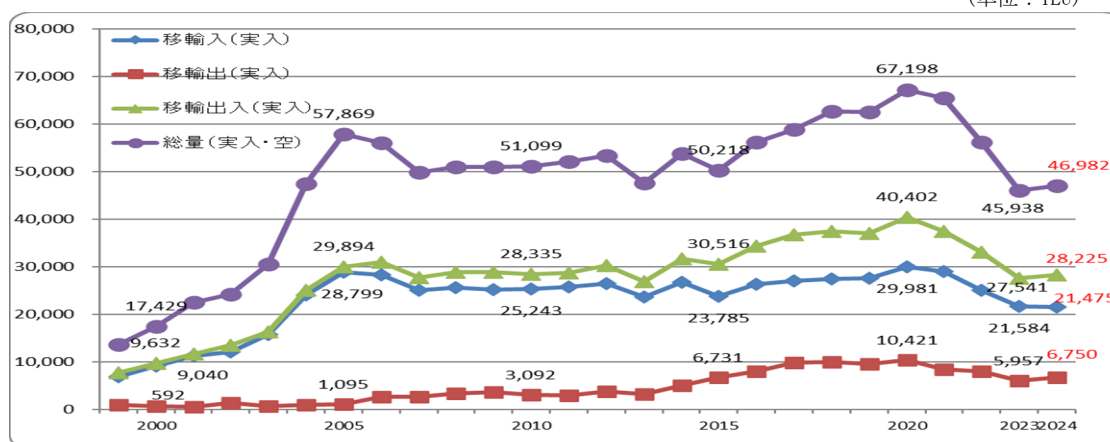
令和6年の伊万里港のコンテナ貨物取扱量は、世界的な財需要が回復してきている中、近隣主要港との海上運賃の差があることから、実入の移輸出貨物は6,750TEU、また移輸入貨物は21,475TEUで、移輸出入合計で28,225TEUとなり、前年より684TEU増加（+2.5%）したものの、微増という結果となりました。

佐賀県伊万里港振興会で実施している伊万里港コンテナ貨物助成制度を活用し、令和6年度は、新規荷主42社を獲得することができました。

※TEU・・・20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位

伊万里港コンテナ貨物取扱量

(単位：TEU)



令和6年 品目別コンテナ貨物取扱量

順位	移 輸 出	TEU	前年比	移 輸 入	TEU	前年比
1	ロール紙	3,469	24.9%	家具・家具装備品	5,820	▲ 4.9%
2	原木・木材製品	949	18.0%	日用品雑貨(衣類を除く)	4,125	13.1%
3	古紙	894	7.7%	動物性飼料原料	2,070	▲ 7.4%
4	機械・機械部品	133	▲ 54.5%	船舶用部品	1,244	▲ 5.8%
5	水産品	133	26.7%	わら	965	4.1%
6	鉱物製品	130	▲ 3.7%	機械・機械部品	704	▲ 29.8%
7	肥料・肥料原料	96	3.2%	鉄鋼製品	658	▲ 9.7%
8	鉄鋼製品	54	20.0%	寝具	632	▲ 1.3%
9	金属製品・原料	47	51.6%	衣類・身廻品・履物・繊維工業品	626	▲ 8.1%
10	窯業製品	14	▲ 67.4%	原木・木材製品	449	▲ 46.5%
	その他	831	3.7%	その他	4,182	21.6%
	計	6,750	13.3%	計	21,475	▲ 0.5%

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	01	都市計画総務費
事務事業名	01	都市計画総務事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策		19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 282	
31, 311	14, 230	3, 609			10, 621	17, 081		

【令和6年度における事務事業の概要】

都市づくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地域における都市づくりの課題に対応した整備等の方針を定めるため、令和5年度から令和7年度の3か年間で、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定することとしています。

2年目となる令和6年度においては、主に下記のような取組を実施しました。

- ①高校生アンケートの実施
- ②まちづくりワークショップの開催
- ③計画策定委員会の開催

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に実施した市民アンケートに引き続き、高校生アンケートやまちづくりワークショップを実施することで、幅広い年代の意向を反映させた将来都市像（都市計画マスタープラン）やまちづくり方針（立地適正化計画）の案を取りまとめることができました。

○高校生アンケート概要

対 象：伊万里市内の高校に通学する高校生448人

調査期間：令和6年10月25日から11月20日

調査方法：インターネットによる回答

回答状況：有効回答数192票（回答率42.9%）

○まちづくりワークショップの様子（13地区 のべ82人参加）



○計画策定委員会の様子（3回開催）



※不用額は、令和7年度への繰越明許費16,100千円を含みます。

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	01	都市公園管理事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策		19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
82,645	81,971	5,952	5,400	49,192	21,427	674	P. 282	

【令和6年度における事務事業の概要】

市内の都市公園37か所と公園緑地5か所を定期的に巡回し、遊具の点検、草刈、樹木管理を行いました。

また、楠久津公園において、複合遊具の更新、インクルーシブ遊具の整備を行いました。

複合遊具の更新については、国の公園施設長寿命化対策支援事業を活用しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

適正な維持管理を行うことに加え、遊具の更新により、利用者に安心安全な休憩やレクリエーションの場、緑と触れ合う場を提供することができました。

楠久津公園 複合遊具
更新前



更新後



楠久津公園 インクルーシブ複合遊具
設置前



設置後



国見台公園 樹木管理
剪定前



剪定後



※財源内訳の「その他」のうち38,000千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	02	普通公園管理事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
13,728	12,936			7,126	5,810	792	P. 284	

【令和6年度における事務事業の概要】

市内の自然公園3か所、河川公園3か所、児童遊園等5箇所、森林公園1箇所を定期的に巡回し、遊具の点検、草刈、樹木管理を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

適正な維持管理を行うことに加え、遊具の更新、公園整備により、利用者に安心安全な休憩やレクリエーションの場、緑と触れ合う場を提供することができました。

自然公園

大平山公園、高尾山公園、竹の古場公園

河川公園

桃川親水公園、大黒堰歴史ふれあい広場、ウォーターフロントこまなき

児童遊園等

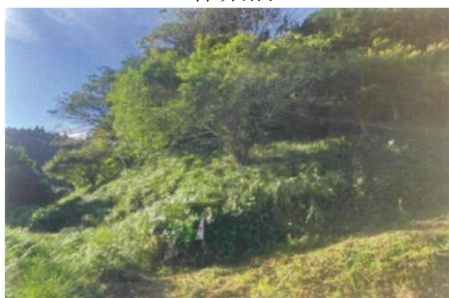
大川児童遊園、山代児童遊園、片竹児童遊園、川東児童遊園、大川ふれあい広場公園

森林公園

都川内森林公園

都川内森林公園

作業前

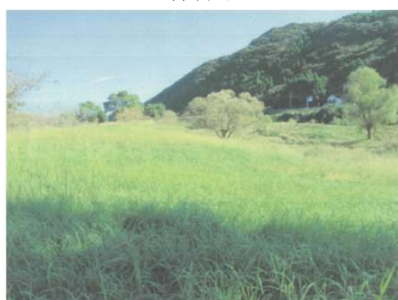


作業後



桃川親水公園

作業前



作業後



※財源内訳の「その他」のうち7,100千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	03	都市公園管理事業 (繰越明許)	6つの まちづくり			04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策		19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
57,050	57,045	27,100	26,200		3,745	5	P. 284	

【令和6年度における事務事業の概要】

都市公園2公園において、人工草スキー場、照明施設の更新を行いました。施設の更新については、国の公園施設長寿命化対策支援事業を活用しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

公園施設の更新により、利用者に安心安全な休憩やレクリエーションの場、緑と触れ合う場を提供することができました。

伊万里ファミリーパーク 人工草スキー場
更新前



更新後



国見台公園 照明施設
更新前



更新後



更新前



更新後



款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	03	都市下水路事業費
事務事業名	03	雨水ポンプ場更新事業		6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり		
	06	雨水ポンプ場更新事業 (通次繰越)						
担当部課	上下水道部 下水道施設課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
379,783	365,657	181,209	171,300		13,148	14,126	P. 286 288	

【令和6年度における事務事業の概要】

松島雨水ポンプ場は、昭和55年度から整備を行い、昭和62年4月に供用を開始し、37年が経過しています。当施設の機械及び電気設備は、大幅に標準耐用年数を超過しているため、ストックマネジメント計画により継続費を設定し、年次ごとに更新しています。

継続費（期間：令和5年度～令和7年度、事業費：469,697千円）

令和5年度から6年度にかけては、排水ポンプ3台の内、2台（NO.2及びNO.3）の更新を行いました。

なお、NO.1ポンプについては、平成26年度に更新が完了しています。

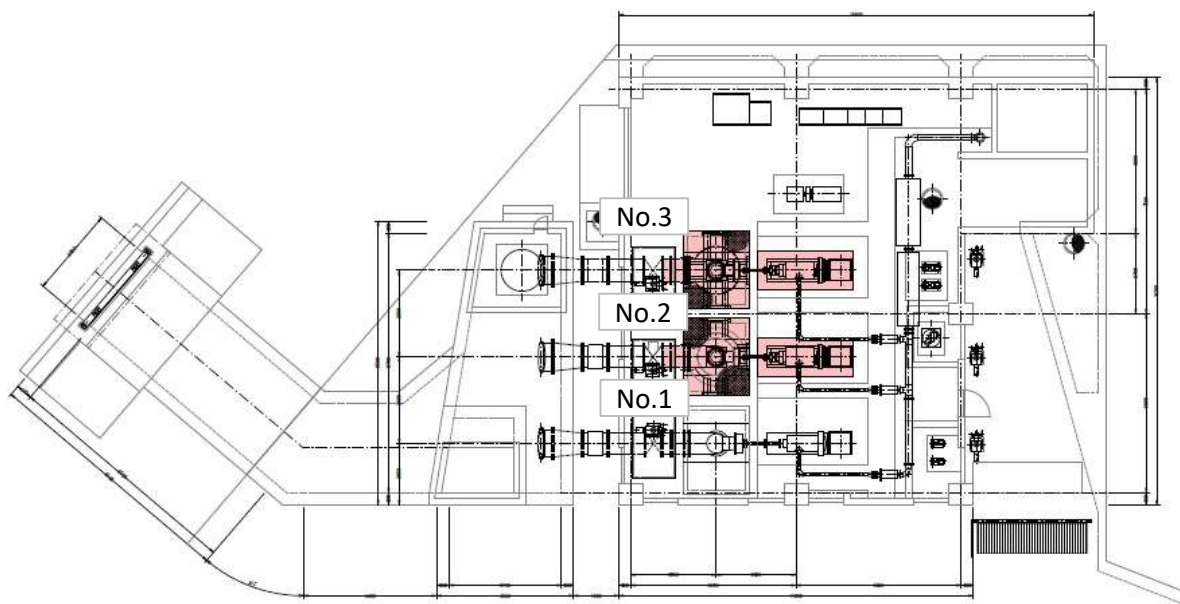
【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は、松島雨水ポンプ場の2台のポンプ設備更新を行い、浸水被害の軽減を図ることができました。

・排水ポンプ

形 式 : 立軸軸流ポンプ
 ポンプ口径 : φ700mm
 吐 出 量 : 55.2m³/min (×2台)
 全 揚 程 : 2.0m

松島雨水ポンプ場 平面図



※不用額は、令和7年度への継続費通次繰越8,869千円を含みます。

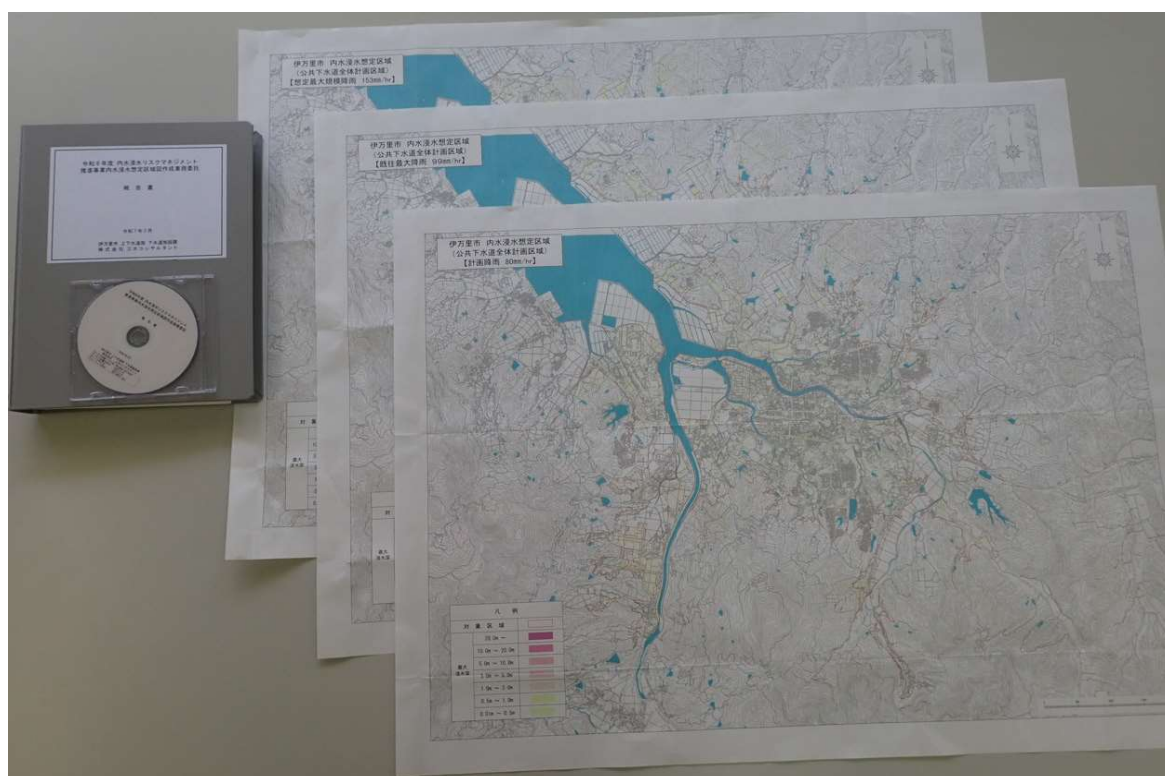
款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	03	都市下水路事業費
事務事業名	04	内水浸水リスクマネジメント推進事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	上下水道部 下水道施設課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,100	12,100	6,050			6,050	0	P. 288	

【令和6年度における事務事業の概要】

気候変動に伴う降雨量の増加による水害の頻発化・激甚化が懸念されるなか、下水道その他の排水施設及び河川その他の水域に雨水を排水できないことにより発生する内水浸水被害を想定した内水浸水想定区域図の作成を行うものです。

【令和6年度における事務事業の成果】

下水道区域内(1,526ha)において、対象降雨を想定最大規模降雨、既往最大降雨、計画降雨としてそれぞれの降雨に応じた浸水シュミレーションを行い、各降雨における浸水想定区域図の作成を行いました。



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	02	市営住宅管理事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
36, 234	36, 070			23, 854	12, 216	164	P. 290	

【令和6年度における事務事業の概要】

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で住宅を賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に、市営住宅を9団地に698戸設置しています。

市営住宅の入居申し込み受付や入居及び退去の手続き、家賃の算定、家賃等の納付書発送及び収納処理、滞納者への窓口相談や納付指導を行う等、公営住宅法に基づき、管理・維持・運営を行っています。

また、現入居者や新たな入居者に安全で安心な住宅を提供するため、施設管理業務の委託と住宅内の経年劣化等による破損個所の修繕や器具の取替工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市営住宅の管理・納付のため、修繕を193件、市営住宅明渡訴訟弁護士代理委任委託や施設管理業務委託を8件、市営住宅修繕工事を13件行い、市営住宅入居者に安全で安心な住宅を提供しました。

久原市営住宅解体前



久原市営住宅解体後



大久保市営住宅倉庫解体前



大久保市営住宅倉庫解体後



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	03	空家等管理促進事業 (単独)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
426	249	0			249	177	P. 290	

【令和6年度における事務事業の概要】

平成26年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市では、平成29年3月に空家等の適正管理に関する条例を改正すると共に、同年12月に伊万里市空家等対策計画を策定し、空家等の適正な管理に関して必要な事項を定め、倒壊等の事故、犯罪及び火災の未然防止並びに生活環境の保全を図り、市民の安全で安心な暮らしの実現のために事業に取り組んでいます。

市内に点在する空き家の状況把握に努め、老朽化が進み危険な空き家については、所有者等に対し必要な措置(適切な管理の指導や解体依頼)を行い、入居が可能な空き家については、空き家情報バンク制度や空き家等家財処分費等補助金の制度案内を行い空き家の活用を促進しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市で把握している空き家等について、職員により現況確認を行い、老朽化に応じて区分作業を行うとともに、老朽化が進み危険な空家等の所有者等に対して、空家等の適正管理の依頼及び指導を行い、周辺住民の良好な生活環境と安全を確保することができました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事業費	事業内容
報償費 委員報酬	31	空家等対策協議会委員報酬
旅費 費用弁償	1	空家等対策協議会委員旅費
需用費 消耗品費	12	色模造紙等
役務費	205	空き家所有者への通知等
計	249	

過去の実績

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
依頼及び指導件数	延べ40件	延べ51件	延べ38件	延べ40件	延べ31件

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	04	空家等管理促進事業 (補助)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,534	5,591	2,739			2,852	4,943	P. 292	

【令和6年度における事務事業の概要】

国の補助事業を活用して、空き家相談会の開催や空き家情報バンク利用促進のための取り組みを行い、空き家の利活用促進を行いました。また、特定空き家等の所有者に対する解体費用、及び空き家の家財処分費等について補助しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

空き家の利活用促進と特定空き家等の所有者に対して解体費用の補助を行うことで、周辺への被害を未然に防止することができました。

居住可能な空き家のうち、市が運営する空き家バンク制度に登録することを前提に、協力不動産業者と売買又は賃貸に向けた交渉を行っている所有者等に対し、家財処分等の経費の一部を補助することで、空き家情報バンクへの登録促進が図られ、申込数、成約数ともに県内トップとなりました。

【令和6年度変更点】

- ・特定空き家等除却事業費補助金の改正
補助対象者の市民税非課税要件の撤廃
補助上限額の拡大 R5 500千円 ⇒ R6 1,000千円

過去の実績

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
除却補助件数	0件	1件	1件	2件	5件
家財処分件数			4件	11件	11件

《空き家相談会の様子》



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	05	実家に帰ろう住宅改修等支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 292	
24, 680	12, 191	1, 440		10, 700	51	12, 489		

【令和6年度における事務事業の概要】

Uターン等の促進と将来の空き家化を未然に防ぐため、実家が市内にある市外在住者（本市へ転入後5年未満の者を含む）が当該実家にUターン等する場合に、実家の改修工事または解体・新築工事に係る費用の一部を補助しました。

①改修事業

- ・改修補助金 500千円(改修費の1/2)
- ・子育て加算 300千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 200千円

②解体・新築事業

- ・解体補助金 1,000千円(解体費の1/2)
- ・新築補助金 300千円
- ・子育て加算 300千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 200千円

【令和6年度における事務事業の成果】

下記のとおり、令和6年度は12世帯が補助を受け、28人が移住されました。

決算額内訳 (実家に帰ろう住宅改修等補助金)

区 分	件数	金額	移住者数
改修	10件	8,841千円	23人
解体・新築	2件	3,200千円	5人

過去の実績 (件数)

区 分	R4	R5
改修	3件	13件
解体・新築	1件	3件
移住者数	7人	31人



令和6年度 広報チラシ (千円)

決算額内訳

費 目	事業費	事業内容
旅費 普通旅費	140	Uターン相談会開催旅費
需用費 消耗品費	10	

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	01	市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
81,923	78,836	35,254	40,800	82	2,700	3,087	P. 292	

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら、老朽化が進んだ市営住宅を改修し、市営住宅の長寿命化を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

大坪、立花、大久保市営住宅を改修することにより、建物の長寿命化を図ることができました。

また、弁天市営住宅の改修工事に係る実施設計を行い、長寿命化に向けて事業の進捗を図ることができました。

（千円）

市営住宅	事業費	事業内容
大 坪 市営住宅	39,180	排水管・ガス管・浴室改修工事 屋内の排水管・ガス管及び屋外埋設部の排水管・ ガス管の更新、浴室の改修（8戸）
立 花 市営住宅	13,040	排水管改修工事、駐車場整備 屋外埋設部の排水管の更新（3棟） 駐車場整備（ライン引き）（186台）
大久保 市営住宅	19,792	排水管・ガス管改修工事 屋内のガス管及び屋外埋設部の排水管・ガス管の更新 （2,3号棟 36戸）
弁 天 市営住宅	6,299	給水管・排水管・ガス管・浴室・建屋（屋上、外壁）改修、 駐車場整備の実施設計
その他	525	公用車等に係る費用
合 計	78,836	

【大坪市営住宅】



【立花市営住宅】



【大久保市営住宅】



【弁天市営住宅】



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	02	一般住宅耐震改修等促進事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
528	528	396			132	0	P. 294	

【令和6年度における事務事業の概要】

平成17年11月に建築物の耐震改修の促進に関する法律が一部改正されたことにより、平成19年3月に佐賀県耐震改修促進計画が策定され、また、平成25年5月に同法律が一部改正されたことにより、平成30年3月に伊万里市耐震改修促進計画を策定しました。

これに基づき、住宅の耐震化等を推進することを目的として、建築基準法の旧耐震基準(昭和56年5月31日)以前に建てられた木造一戸建て住宅の耐震性を確認する耐震診断を実施するための登録建築士を派遣しました。また、既存耐震不適格建築物である一戸建て住宅等に対する耐震改修工事や避難道路沿いに存する地震等で倒壊の危険性があるブロック塀等の撤去を実施するための耐震改修事業費について、住宅・建築物の所有者に直接的な補助を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

木造一戸建ての耐震診断派遣事業として、4件の診断を実施しました。また、避難道路沿いに存するブロック塀1件に対して、撤去費用の補助を行いました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
委託料	400	木造住宅耐震診断派遣事業業務委託料 耐震診断 4件(図面なし4件、図面あり0件)
負担金、補助 及び交付金	128	耐震改修事業費補助金 耐震改修費用補助 0件 0円 ブロック塀等撤去補助 1件 128,000円
計	528	

過去の実績

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
耐震診断 補助	3件	2件	7件	1件	4件
耐震改修 費用補助	0件	1件	0件	0件	0件
ブロック塀等 撤去補助	1件	2件	3件	2件	1件

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	03	市営住宅改修事業(社会資本整備総合交付金)(繰越明許)			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課				施 策	20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 294	
20,498	20,242	9,905	9,900		437	256		

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら、老朽化が進んだ市営住宅を改修し、市営住宅の長寿命化を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

大久保市営住宅を改修することにより、建物の長寿命化を図ることができました。

(千円)

市営住宅	事 業 費	事 業 内 容
大久保市営住宅	20,242	排水管・ガス管改修工事 屋内のガス管及び屋外埋設部の排水管・ガス管の更新 (1号棟 18戸)
合 計	20,242	

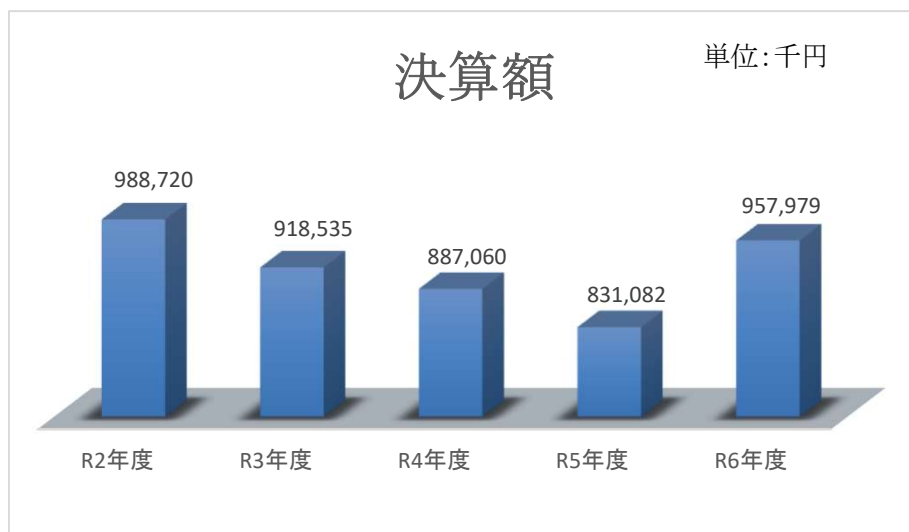
【大久保市営住宅】



款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	01	伊万里・有田消防組合運営負担金			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 294
957, 979		957, 979				957, 979	0	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するために、火災予防や消火、救急、救助活動などの消防事務を行っている伊万里・有田消防組合に対し、その運営経費に係る負担金を支出しました。



【令和6年度における事務事業の成果】

伊万里・有田消防組合において、定年延長に伴う職員の増や車両更新等整備による体制の維持・強化を図り、市内で発生した各種災害に迅速に対応し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



オーバーホールしたはしご車



更新した消防ポンプ自動車と救急自動車

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	02	佐賀県防災航空隊運営負担金			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,082	3,777				3,777	305	P. 294	

【令和6年度における事務事業の概要】

消防組織法第30条に基づき、県が市町の長の要請に応じ、航空機を用いて市町の消防を支援するために設置した佐賀県防災航空隊に対し、隊員として職員を1名派遣しています。その人件費に相当する額を定められた負担割合に応じて支払いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

佐賀県防災航空隊に隊員を派遣することにより、市内で発生した災害に対しても地理的条件等に精通していることが更に迅速・的確な活動につながり、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



佐賀県防災航空隊と伊万里消防署との合同水難救助訓練（イマリンビーチ）

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	01	消防団運営事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 294	
102,856	96,989	39,397		19,835	37,757	5,867		

【令和6年度における事務事業の概要】

大規模複雑化、多様化する災害に対応する非常備消防組織としての役割を果たす消防団が、現場活動に必要な装備品の整備と併せて、福利厚生の実施を図ることで、消防団の円滑な活動・運営の環境づくりを行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

消防団の装備品として、防火帽129個、消防団用テント2式、ワイヤレスアンプ2式を整備し、円滑な現場活動及び団員の安全な活動のためのサポートをすることができました。また、消防団員福祉共済制度補助金の見直しを行い、これまでは3分の1の補助だったものを全額負担したことで、消防団員の福利厚生を充実させることができました。

・消防団員報酬	32,053,250円
・出勤報償金	5,583,000円
・防火帽等	4,321,130円
・消防団員退職報償金掛金	17,817,600円
・佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金	2,986,760円
・消防団員福祉共済制度加入補助金	2,601,000円
・消防団運営交付金等	4,100,000円
・その他	27,526,513円

合計 96,989,253円



消防団用テント



防火帽



ワイヤレスアンプ

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	02	消防団車両管理事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
28, 141	27, 921		26, 300		1, 621	220	P. 296	

【令和6年度における事務事業の概要】

消防団活動を充実させるため、経年により劣化が見られる小型動力ポンプ付積載車を年次計画に基づいて更新整備しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

小型動力ポンプ付積載車3台を更新整備したことにより、消防団の災害現場に対する活動能力を向上させることができました。



《過去5年間における小型動力ポンプ付積載車の分団への配備状況》

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
松浦 第5部 (中通区)	伊万里 第5部 (平山区)	波多津 第2部 (煤屋区)	大川内 第1部 (岩谷区)	大川内 第4部 (吉田区)
大川 第6部 (長野区)	山代 第4部 (浦ノ崎区)	東山代 第2部 (長浜区)	山代 第1部 (楠久区)	松浦 第4部 (宿分区)
				山代 第3部 (久原区)

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	03	消防団施設整備支援事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
672	672				672	0	P. 298	

【令和6年度における事務事業の概要】

消防団施設の整備、強化促進を図るため、行政区が所有するホース乾燥施設の新設・補修及び小型動力ポンプ付積載車格納庫の補修に要する経費に対して補助金を交付しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

行政区が所有する消防団施設の新設及び補修に要する経費を補助したことにより、消防団施設を早急に整備することができました。

- ①小型動力ポンプ付積載車格納庫拡張費補助
 - ・大川内町吉田区（大川内分団第4部） 478,000円
- ②小型動力ポンプ付積載車格納庫改修費補助
 - ・南波多町重橋区（南波多分団第6部） 194,000円

合計672,000円

《過去5年間の補助事業の件数》

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	件数	3件	1件	4件	3件	2件
内 訳	新設	0件	0件	2件	1件	0件
	補修	3件	1件	2件	2件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防設備費
事務事業名	01	消防用設備管理事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 298
8,920		7,144				7,144	1,776	

【令和6年度における事務事業の概要】

消防用設備の整備、強化促進を図るため、老朽化した防火水槽、消火栓の改修を行いました。また、行政区が所有する防火水槽の補修費に対して補助金を交付しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

防火水槽、消火栓の改修を行うと共に、行政区が所有する防火水槽の補修に要する経費を補助し、消防用設備を整備したことで、有事の際には迅速かつ効果的な活動ができる環境を構築することができました。

○有蓋防火水槽改修工事	968,000円
○非常用サイレン設備撤去工事	161,920円
○その他（消防水利維持用管理原材料費等）	45,068円
○消火栓工事負担金	5,063,300円
○防火水槽補修費補助 （木須町木須西区、黒川町浦湯区）	906,000円

合計7,144,288円

《過去5年間の補助事業の件数》

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
件数		1件	3件	6件	3件	2件
内 新設		0件	0件	0件	0件	0件
訳 補修		1件	3件	6件	3件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	02	防災活動事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施 策		22	防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,370		3,955	189			3,766	415	P. 298

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市地域防災計画に基づき、国や県など関係機関との連携を図り、防災体制の充実に取り組みました。

【令和6年度における事務事業の成果】

自然災害の対策については、国の防災基本計画、県の地域防災計画の修正を踏まえた上で伊万里市地域防災計画の修正を行いました。

地区防災会活動の活性化と防災委員の防災意識の向上を図るため、佐賀地方気象台や災害時にボランティア団体などの活動を支援する中間支援組織から講師を招いて防災講演会を開催しました。

また、講師を招聘し、地区防災委員が地図を使って防災対策を検討する「災害図上訓練DIG」を二里町、東山代町、山代町で実施し、地域の防災士にもアドバイザーとして参加してもらうなど、日頃から互いに顔の見える関係の構築に努めました。

原子力災害の対策については、佐賀県原子力防災訓練において、鹿島市への住民避難訓練等を実施し、関係機関の相互連携の強化と住民の防災意識の啓発に努めました。



・防災講演会の講演の様子
(地区防災会等 317名参加)



・災害図上訓練DIGの様子
(二里町、東山代町、山代町で実施)



・原子力防災訓練における
一般住民避難訓練の様子
(立花地区・大川町の住民109名参加)



・原子力防災訓練における
避難退域時検査訓練の様子

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	03	防災行政無線施設管理事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 防災危機管理課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 300	
19, 629	16, 790	16, 555			235	2, 839		

【令和6年度における事務事業の概要】

災害時や緊急時に市民へ情報を迅速に伝達する防災行政無線施設の維持管理を行いました。

【市役所親局】



操作卓



J-ALERT
(全国瞬時警報システム)

【屋外拡声子局】



【令和6年度における事務事業の成果】

防災行政無線の適切な維持管理をはじめ、関係するシステム等の適切な運用を行い、防災体制の充実に努めました。

1. 委託料
保守点検業務委託、戸別受信機設置業務委託
2. ASP利用料
防災行政無線及びJアラートと防災ネットあんあん、緊急速報メール、市ホームページ、LINE等のSNS、ケーブルテレビ、電話・FAX配信サービス、職員・駐在員連絡メール及び多言語配信サービスをシステム連携するための利用料
3. IP無線機利用料
市役所と町コミュニティセンター（波多津、南波多、大川、松浦）の停電時における連絡用無線機の回線利用料
4. 防災ネットあんあん利用料
佐賀県が運用する防災ネットあんあんの県内市町が負担する利用料
5. 電気料
181局の電気料（中継局 1局、再送信局 2局、屋外拡声子局 178局）
6. 防災行政無線（固定局）電波利用料
親局 1局、中継局 1局、再送信局 2局、可搬型親局 1局 の電波利用料
7. 簡易無線局電波利用料
市役所と地区・町コミュニティセンター（伊万里、牧島、大坪、立花、大川内、黒川、二里、東山代、山代）間の停電時における連絡用無線機の電波利用料
8. 修繕料
防災行政無線の設備を修繕するための修繕料

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	03	いじめ・教育相談事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,574	4,493	1,292			3,201	81	P. 306	

【令和6年度における事務事業の概要】

平成27年3月の伊万里市いじめの防止等に関する条例制定に伴い、いじめ防止対策を実効的に行うための専門機関として、市に伊万里市いじめ問題対策委員会を、全学校にいじめ対策委員会を設置しています。

教育相談の専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー5名を拠点校に配置し、全小学校で巡回相談を行っており、不登校やいじめなど子どもや保護者が抱える悩みについての相談や診断等の適切なカウンセリングを行いました。

今年度は1日4～8時間、1か月に1～3日程度実施しました。

必要に応じ、いじめ防止等緊急スクールカウンセラーを派遣する等の支援を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

カウンセラーの助言を受けたことで学校に登校できるようになったなど、児童や保護者などの抱える問題を改善することができました。

○拠点校：伊万里小、大坪小、二里小、黒川小、南波多郷学館

・相談件数：391件

・相談人数：延べ 470人

また、些細なことでも早い段階から対応を行い、いじめに対して適切な指導をしたことで、解消に向かった事例もありました。

市いじめ問題対策委員会では、実際にあったいじめの事例を共有するなど、児童生徒が安心して生活し、健やかに成長することができる環境づくりに努めるとともに、諮問事案について審議を行いました。

【スクールカウンセラー年度別相談件数】

年 度	相談件数
平成30年度	456件
令和元年度	459件
令和2年度	458件
令和3年度	408件
令和4年度	461件
令和5年度	458件
令和6年度	391件

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	09	教科書購入事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 306	
52,035	51,391			51,300	91	644		

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度は、小学校の教科書改訂により教員用教科書・デジタル教科書を含む指導書の購入を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

デジタル教科書を主要教科で整備し、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料や情報を素早く提供することができるようになったことで、その学力向上を図るとともに、電子黒板を効果的に利活用することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	12	デジタル・シティズンシップ教育推進事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,489	1,801			1,800	1	688	P. 308	

【令和6年度における事務事業の概要】

デジタル技術の体験を通じて、次世代を担う「デジタル・シティズンシップ」の教育推進を目的としています。

プログラミング教育の必修化に伴い、より実践的なプログラミング教育を推進するため、令和6年度は中学校及び義務教育学校後期課程の生徒を対象に、IT企業から外部講師を招き、プログラミングワークショップを開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

プログラミングワークショップでは、ロボット・ドローンプログラミング講座を中心に、デジタル技術の体験を通し児童生徒の興味関心を高め、ITリテラシーの向上を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	小学校管理事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
184, 497	178, 141			5, 600	172, 541	6, 356	P. 308	

【令和6年度における事務事業の概要】

小学校13校及び義務教育学校（前期）1校において、児童の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として178,141千円を支出しました。

令和6年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
伊 万 里 小	529	27	黒 川 小	102	8	二 里 小	222	12
牧 島 小	65	7	波 多 津 小	81	8	東山代小	378	17
大 坪 小	453	22	南波多郷学館 （前期課程）	105	8	山代東小	101	9
立 花 小	528	22	大 川 小	91	8	山代西小	33	5
大 川 内 小	84	8	松 浦 小	96	8	合 計	2,868	169

【令和6年度における事務事業の成果】

教材備品、図書備品等の購入・充実により学習環境の維持に努めるとともに、新たな取組として、校舎等の照明LEDをリース方式で導入しました。

また、各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、南波多郷学館、牧島小学校、黒川小学校のトイレ洋式化や使用禁止となった小型焼却炉の解体を行うなど、児童の安心・安全の確保、学校施設環境の改善に努めました。

【主な工事】

- ・ 南波多郷学館外2校トイレ洋式化改修工事
- ・ 市内小中学校プールろ過装置改修工事
- ・ 牧島小学校普通教室空調設備取替工事
- ・ 小型焼却炉解体工事



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	03	小学校施設環境改善事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 312
179, 073		174, 713	43, 379	118, 500		12, 834	4, 360	

【令和6年度における事務事業の概要】

昨今の猛暑の影響で、夏場の教室は過酷な環境にあることから、市立学校の特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、多目的室）39教室にエアコンの設置を行いました。
また、伊万里小学校のトイレ改修（下水道接続及びトイレ内部改修）を行うための実施設計を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

特別教室へのエアコン設置工事が完了し、令和7年1月から使用を開始しました。普通教室と同様に特別教室においても、暑さ寒さを気にせず年中利用することができるようになり、児童達へ快適な学習環境を提供することができました。
また、令和7年度の工事に向けて伊万里小学校のトイレ改修の実施設計を完了しました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	小学校遠距離児童通学支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
49,140	46,427	1,802			44,625	2,713	P. 312	

【令和6年度における事務事業の概要】

通学距離4km以上及び学校統合により遠距離通学となった児童に対し、定期券購入費及び燃料費を補助しました。

また、黒川小学校及び波多津小学校のスクールバス、南波多郷学館及び東山代小学校の通学用タクシーをそれぞれ運行しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

通学距離4km以上及び学校統合により遠距離通学となった児童10人の通学費補助、児童102人のスクールバス及び通学用タクシーの運行を通じて、保護者の費用負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	小学校要保護・準要保護児童就学援助事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
27,990	26,306	35			26,271	1,684	P. 312	

【令和6年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の経費の一部を援助しました。

また、翌年度（令和7年度）に入学予定で同じく就学困難な児童（新1年生）の保護者に対し、就学準備の経費として新入学学用品費を入学前に支給しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

要保護児童3人、準要保護児童414人（うち40人は令和7年度入学者）の保護者に対して、就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができました。

小学校就学援助率 (準要保護)	R元	R2	R3	R4	R5	R6
割合 (%)	9.93	9.70	10.79	11.29	11.90	13.04
伊万里市の就学援助 受給者数 (人)	319	308	342	345	353	374
児童数 (人)	3,214	3,176	3,171	3,057	2,967	2,868

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外0人

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	小学校パソコン管理事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 312
65,763		64,452	1,232		400	62,820	1,311	

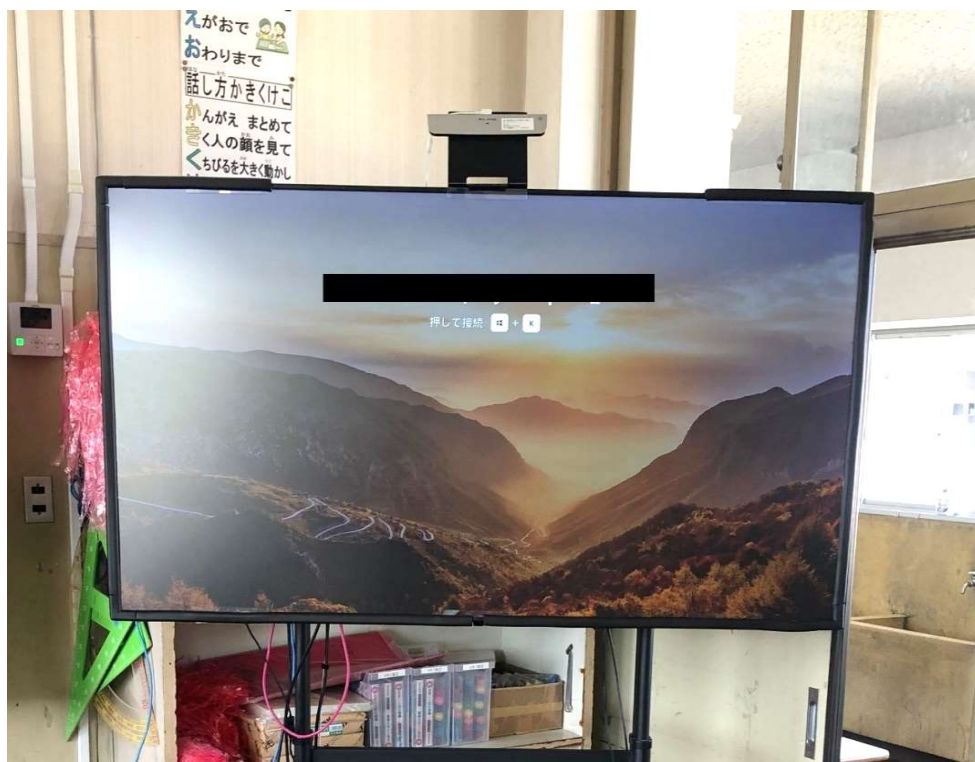
【令和6年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うため、学習用タブレット（パソコン）や電子黒板等のICT機器のほか、教職員が日常的に使用する校務用パソコンを整備・更新するもので、令和6年度は電子黒板等のICT機器及び校務用パソコンを整備しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板等を更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	05	市内企業見学事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,175		619			600	19	556	P. 314

【令和6年度における事務事業の概要】

社会科で工場について学習する市内すべての小学5年生を対象に、市内企業の工場見学を実施することで、本市の製造業について学習し、興味・関心を持つことにより、将来の就職や定住の推進を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

実際に工場に出向き、従業員が行っている作業等の様子を説明を受けながら見学したり、商品の製作を行ったりすることで、教科書で学習する単元を楽しみながら学習をすることができました。

また、現場で働く従業員の姿を見ることを通して保護者等の働く姿を目の当たりにする貴重な機会となりました。

【工業見学受入企業】

株式会社かねは食品、IMARI株式会社
株式会社佐賀造船鉄工所、株式会社名村造船所
七ツ島産業株式会社、九州内田鍛工株式会社
株式会社宝山工業、昭和金属工業株式会社
株式会社キザクラ、株式会社伊万里鉄工所
株式会社オリオンセラミック、伊万里東洋株式会社
中国木材株式会社、テラサキ伊万里株式会社
スクレッティング株式会社、株式会社SUMCO
株式会社奈雅井

【令和6年度訪問企業】

株式会社名村造船所（2校）
七ツ島産業株式会社（1校）
株式会社宝山工業（1校）
昭和金属工業株式会社（4校）
株式会社奈雅井（1校）
伊万里東洋株式会社（1校）
株式会社かねは食品（1校）
株式会社SUMCO（2校）

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 314
1,540,276		1,537,834	410,754	996,200	130,879	1	2,442	

【令和6年度における事務事業の概要】

老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備し、建物の供用を開始しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に引き続き、東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの複合施設の建設工事を実施するとともに、児童用の机や椅子、図工室の工作台など学校備品の購入を行い、校舎や体育館などの供用を開始することができました。（工事全体進捗率94.3%）

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

※不用額は、令和7年度への繰越明許費1,793千円及び継続費通次繰越2千円を含みます。

◆東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設 施設外観等



構造：鉄筋コンクリート造

階層：3階建

面積：5,958㎡



（全体進捗率94.3%）

工 事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度割	28.1%	66.2%	5.7%

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	02	東陵学園等整備事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 314
275, 272		272, 427	19, 258	206, 600	42, 721	3, 848	2, 845	

【令和6年度における事務事業の概要】

大川小学校、松浦小学校の校舎老朽化及び児童数の減少に伴い、両小学校と東陵中学校を統合し、令和7年度から新たに義務教育学校「東陵学園」として開校するため、東陵中学校の校舎の改修を行いました。

また、大川小学校、松浦小学校及び東陵中学校の閉校に伴い、学校の歴史や思い出を残すために必要な記念誌、記念碑等の作製、閉校記念式典を行うための費用として、学校と地元地区等で組織する閉校事業部会に対し補助金を交付しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年9月から東陵中学校の昇降口・職員室・職員トイレの増築工事、多目的室を図書室に改修するとともに、児童生徒に必要な学校備品の購入や新たな校章を決定し校旗を作製するなど、東陵学園の開校に向けた整備を完了することができました。

また、閉校する3校において閉校記念式典を行い、学校のそれぞれの歴史に幕を下ろしました。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

※不用額は、令和7年度への繰越明許費2,497千円を含みます。

◆東陵学園校舎



◆東陵学園校章



◆閉校した大川小学校、松浦小学校、東陵中学校



工 事	令和5年度	令和6年度	全体進捗率
年度割	31.8%	68.2%	100.0%

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	中学校管理事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 314	
110,641	108,834			1,691	107,143	1,807		

【令和6年度における事務事業の概要】

中学校6校及び義務教育学校（後期）1校において、生徒の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として108,834千円を支出しました。

令和6年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	生徒数	学級数
伊 万 里 中	522	22	東 陵 中	110	6
啓 成 中	282	13	国 見 中	308	12
青 嶺 中	99	5	山 代 中	98	6
南波多郷学館 （後期課程）	65	5	合 計	1,484	69

【令和6年度における事務事業の成果】

教材備品、図書備品等の購入・充実により学習環境の維持に努めるとともに、新たな取組として、校舎等の照明LEDをリース方式で導入しました。

また、各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、青嶺中学校、山代中学校、啓成中学校の空調設備改修工事や使用禁止となった小型焼却炉の解体を行うなど、生徒の安心・安全の確保、学校施設環境の改善に努めました。

【主な工事】

- ・ 青嶺中学校外2校空調設備改修工事
- ・ 山代中学校調理室給水管改修工事
- ・ 小型焼却炉解体工事



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	03	中学校施設環境改善事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
158,791	156,640	43,186	105,600		7,854	2,151	P. 318	

【令和6年度における事務事業の概要】

昨今の猛暑の影響で、夏場の教室は過酷な環境にあることから、市立学校の特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、被服室、美術室、多目的室）34教室にエアコンの設置を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

特別教室へのエアコン設置工事が完了し、令和7年1月から使用を開始しました。普通教室と同様に特別教室においても、暑さ寒さを気にせず年中利用することができるようになり、生徒達へ快適な学習環境を提供することができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	中学校遠距離生徒通学支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
31, 527	29, 947	2, 528			27, 419	1, 580	P. 318	

【令和6年度における事務事業の概要】

通学距離6km以上及び学校統合により遠距離通学となった生徒に対し、定期券等の購入費用を補助するとともに、青嶺中学校及び国見中学校の通学用スクールバス等を運行しました。

また、自転車通学する要保護及び準要保護生徒に対し、ヘルメット購入費用を補助しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

通学距離6km以上及び学校統合により遠距離通学となる生徒12人に対して定期券・ガソリン代・自転車購入費を補助したほか、生徒48人に対してスクールバス・タクシーの運行を通じて、通学に係る費用の負担軽減を図ることができました。

また、自転車通学を行う要保護及び準要保護生徒14人に対し、ヘルメット購入に係る費用の補助を行い、通学に係る費用の保護者の負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,570	18,546	43			18,503	24	P. 318	

【令和6年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の経費の一部を援助しました。

また、翌年度（令和7年度）に入学予定で同じく就学困難な生徒（新1年生）の保護者に対し、就学準備の経費として新入学学用品費を入学前に支給しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

要保護生徒3人、準要保護生徒257人（うち64人は令和7年度入学者）の保護者に対して、就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができました。

中学校就学援助率 (準要保護)	R元	R2	R3	R4	R5	R6
割合 (%)	14.58	13.28	14.00	13.41	13.13	12.48
伊万里市の就学援助 受給者数 (人)	209	192	208	204	198	189
児童数 (人)	1,433	1,446	1,486	1,521	1,508	1,514

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外4人

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	中学校パソコン管理事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
43, 294	42, 668	567		100	42, 001	626	P. 318	

【令和6年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うため、学習用タブレット（パソコン）や電子黒板等のICT機器のほか、教職員が日常的に使用する校務用パソコンを整備・更新するもので、令和6年度は電子黒板等のICT機器及び校務用パソコンを整備しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板等を更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	03	市美術展開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
142		140				140	2	P. 322

【令和6年度における事務事業の概要】

市民や市内クラブに所属している人等から創作意欲に溢れる作品を公募し、絵画、書、写真・工芸の部門別に「伊万里市美術展」を開催しました。

- 主催：市美術展実行委員会
(絵画2人、書4人、写真1人、工芸2人、計9人で組織)
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ギャラリー

【令和6年度における事務事業の成果】

市民の市美術展への関心は広がっており、出品者数・出品点数においては、昨年度の数を上回りました。

一般市民へ作品発表の場を提供するとともに、市民に美術鑑賞の機会を提供し、市民参加型の文化芸術の振興を図ることができました。

- 部門ごとの開催期日、出品数

・前期 (5/15～5/19) : 書	出品数 266点 (一般38点、小中学生228点)
・中期 (5/22～5/26) : 写真・工芸	出品数 写真 62点・工芸 42点
・後期 (5/29～6/2) : 絵画	出品数 70点

○出品者数：340人

○入場者数：延べ816人

過去の部門別出品点数

部門	絵画	書 (一般)	書 (学生)	写真	工芸	計	出品者数
H29	60	70	220	72	37	459	354
H30	57	65	251	65	42	480	377
R元	47	66	250	70	46	479	379
R3	52	49	196	45	41	383	314
R4	45	31	170	45	42	333	262
R5	56	40	206	63	53	418	308

※R2年度は中止

年度別入場者数 (延べ人数)

年度	H28	H29	H30	R元	R3	R4	R5
人数	1, 284	1, 244	1, 333	1, 481	1, 071	952	1, 023

※R2年度は中止

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	04	市民音楽祭開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 322	
100	100				100	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

市内を中心に活動する団体が、合唱、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露する「市民音楽祭」を開催しました。

- 主催：市民音楽祭実行委員会
(歌・合唱団体3人、器楽・重奏団体3人、計6人で組織)
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ホール

【令和6年度における事務事業の成果】

市民の音楽活動の再開や出演者同士の声掛けにより、出演団体数はコロナ禍以降、過去最多となりました。

毎年12月の恒例行事として、「市民音楽祭」を開催することにより、地域における芸術文化の継続や活動団体のモチベーションの維持につながりました。

- 開催期日：12月1日（日）
- 出演団体：21団体（器楽・重奏 12団体、歌・合唱 9団体）
- 出演者数：261人
- 参観者数：約215人
- ※参考（令和5年度）
 - ・出演団体：20団体（器楽・重奏 11団体、歌・合唱 9団体）
 - ・出演者数：278人
 - ・参観者数：約230人

過去の出演団体・出演者数

	出演団体	出演者数
H29	19	270
H30	20	280
R元	23	343
R3	13	154
R4	17	217
R5	20	278

令和6年度開催の様子



款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	08	放課後子ども教室開催事業	6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 322	
553	362	241			121	191		

【令和6年度における事務事業の概要】

地域住民等の協力・参画を得ながら、文化・芸術の分野ではミニ門松づくりや茶道教室のほかチェス教室など、スポーツの分野では陸上教室やバスケットボール教室など、様々な学習や体験、交流の機会を提供する「放課後子ども教室」を開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

子どもたちの社会性、自主性、創造性を育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境（居場所）づくりを推進することができました。

○実施教室数等

8コミュニティセンター8教室

○実施内容（参加子ども人数）

- ・伊万里地区 お菓子作り、ミニ門松作り、親子料理教室（88人）
- ・牧島地区 陸上教室、ミニ門松作り（275人）
- ・大坪地区 親子で手づくり教室、ボードゲーム、留守家庭児童クラブ交流会、親子料理教室（241人）
- ・立花地区 リズムダンス、茶道教室、鬼火たき、節分行事（315人）
- ・大川内地区 茶道教室（52人）
- ・黒川地区 休日図書館（164人）
- ・東山代地区 しめ縄作り（31人）
- ・山代地区 バスケットボール教室、料理教室、体験教室（251人）

○参加子ども人数

延べ 1,417人



しめ縄作り（東山代）



休日図書館（黒川）

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	09	地域学校協働活動推進事業	6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 322	
751	173	115			58	578		

【令和6年度における事務事業の概要】

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を円滑に進めるため、「地域学校協働活動推進員」を全小学校区に配置しました。

○地域学校協働活動推進員
14名（小学校毎に1名）

○地域学校協働活動推進員協議会
R6. 9. 10、R7. 2. 25開催

【令和6年度における事務事業の成果】

学校と地域が相互に連携・協働し、「地域学校協働活動」を円滑に進めることができ、「学校を核とした地域づくり」を推進することができました。

○活動実施小学校区数
11小学校区

○地域学校協働活動推進員活動実績
計 131時間

○協働活動サポーター活動実績
計 84時間

○主な活動内容

- ・大坪小学校： 朝の読み語り活動
- ・大川内小学校： 田んぼの学校
- ・波多津小学校： 課外授業（地域を学ぶ）、はたらく人プロジェクト、学校給食試食会
- ・南波多郷学館： 南波多子ども教室（昔遊び、手話、書道、スポーツ）、川柳教室、認知症キッズサポーター講習会、登下校の見守り・交通教室
- ・大川小学校： 大川町駅舎及び周辺の清掃活動
- ・松浦小学校： クリーン作戦活動、馬の頭水利施設見学、昔遊び学習
- ・山代東小学校： 玉ねぎ生産体験、職業講話

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	11	同和問題講演会開催事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
560	533	524			9	27	P. 324	

【令和6年度における事務事業の概要】

同和問題に対する市民の意識高揚を図るため、8月の同和問題啓発強調月間において同和問題講演会を開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

同和問題講演会を実施し、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

- 期 日 8月27日（火）
- 会 場 市民センター文化ホール
- 講 師 近畿大学名誉教授 奥田 均 氏
- テーマ 「部落差別、まだあるの？どこにあるの？なくせるの？」
- 参加者 280人



同和問題講演会の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	12	同和教育集会所管理運営事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施策	11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 324	
2,732	2,620	542			2,078	112		

【令和6年度における事務事業の概要】

同和問題解決の拠点施設である同和教育集会所の管理運営を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

人権啓発交流事業「粘土教室」「料理教室」を実施するなど、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

	施設利用者数
令和2年度	636
令和3年度	635
令和4年度	647
令和5年度	710
令和6年度	641



粘土教室



同和問題研修会



料理教室

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	14	社会人権・同和教育団体支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会生涯学習課				施 策	11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,440	1,440	536			904	0	P. 326	

【令和6年度における事務事業の概要】

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を図るため、「市人権・同和教育推進協議会」と協働し、地域に密着した教育・啓発を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

各種研修講座を開催し、市民の人権意識の向上に努めることができました。

事業名	実施回数	参加者数
指導者育成講座	7	240
地区巡回講座	44	856
PTA等研修講座	22	2,157
企業・事業所研修講座	15	1,049
住民啓発事業	88	6,381
計	176	10,683



PTA研修



地区巡回講座

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	16	カブトガニ保護促進事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,476	1,476			1,400	76	0	P. 328	

【令和6年度における事務事業の概要】

カブトガニの保護活動を充実させるため、その活動の拠点施設である「伊万里湾カブトガニの館」を運営する『牧島のカブトガニとホテルを育てる会』に対し、施設運営費の補助金として1,444千円を支出しました。

ほかに、カブトガニ研究調査業務委託として『佐賀県立伊万里高等学校理化・生物部』に対し16千円を、伊万里市カブトガニを守る会補助金として『伊万里市カブトガニを守る会』に対し16千円を支出しました。



伊万里湾カブトガニの館

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度の伊万里湾カブトガニの館の入館者数は4,286名でした。（令和3年度から令和5年度（3年間）までの平均入館者数4,051名）

伊万里市カブトガニを守る会を中心に、カブトガニの産卵地清掃を行いました。ボランティアの参加を含め、延べ約60名の参加がありました。今回の清掃では、2トントラック2台分のゴミを回収することができました。

「カブトガニの産卵を観る会」を開催し、約80名の参加がありました。当日は、伊万里高校理化・生物部によるカブトガニの解説が行われ、参加者の方々は興味深げに耳を傾けていました。また、観る会と同日に、カブトガニ増殖のためにカブトガニの館や伊万里高校、青嶺中学校、牧島小学校、山代東小学校で約1年間飼育した幼生約1,850匹を放流しました。幼生の飼育については、令和6年12月に牧島小学校へ幼生の引き渡しを行い、飼育しています。

カブトガニの産卵つがい数について、令和3年と令和4年は、平成28年～令和2年（5年間）の平均である522つがいの3倍近くの約1,500つがいを記録していましたが、令和6年は、258つがいを記録し、平均以下のつがい数となりました。この減少の実態を確認するため、令和7年度に産卵地一斉調査を行います。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



伊万里高校理化・生物部による
解説の様子



産卵観察の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	18	史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,120	1,120	782		300	38	0	P. 328	

【令和6年度における事務事業の概要】

史跡大川内鍋島窯跡の将来的な保存・整備・活用を図り、地域活性化に資するため、平成26年度から国県の補助金を活用し遺構の範囲や性格、歴史的変遷を確認する発掘調査を実施しています。

今年度は、日峯社下窯跡の発掘調査を行い、令和7年3月26日に調査指導会議を開催しました。



【令和6年度における事務事業の成果】

日峯社下窯跡の第7室の空間地と作業通路及び物原の位置関係を確認することを目的として2か所トレンチを設定し、発掘調査を行いました。調査の結果、第7室西側の作業通路とマウンド状物原の東端部分を確認しました。これらの成果は今後の史跡整備の基礎資料として活用します。

調査指導会議では今回の調査結果をふまえ、出土陶片と同じ伝世品を詳細に比較検討し、製作方法の差異を確認すること、窯体の西側にある空間地について、面的な発掘調査を検討すること、さらに窯体の造成方法を確認するための調査方法について指導を受けました。

また、発掘調査の現地を視察し、無遺物層について窯室の床面材の可能性を指摘されました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



調査指導会議の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	19	腰岳遺跡群学術調査事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
702	687	341			346	15	P. 330	

【令和6年度における事務事業の概要】

日本有数の黒曜石原産地である腰岳の文化的な保護を目的とした事業です。令和6年度は令和5年度に引き続き、過去に実施した調査の出土遺物の再整理作業と、腰岳で採取した黒曜石の化学分析を行いました。

これらの成果報告と指導助言を受けるため、第3回の有識者らによる調査指導会議を開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

再整理作業では、昭和59・60年に実施した鈴桶遺跡の発掘調査のうち、調査区Ⅰ区で出土した遺物のカウント作業を行いました。この作業によって、Ⅰ区の各グリッドでの遺物の数を確認し、調査区内における出土遺物の分布状況を把握しました。

黒曜石の化学分析については、標高300～170mで採取した29点を試料とし、長崎大学へ分析を依頼しました。

令和7年3月6日に調査指導会議を開催し、事業内容の報告を行いました。

再整理作業については、今回データ上で把握した分布状況を、当時のドット図と照らし合わせる作業を行うよう指導を受けました。また、残りのⅡ・Ⅲ区も同様にカウント作業と図面との照合を行い、悉皆的な分類作業を行う箇所（グリッド）を決定していくこととしました。

化学分析については、昨年度の委員会でも意見があった腰岳産黒曜石の原石サンプルについて大学側と連携して進めていくこととなり、今後、露頭箇所の現地踏査等を実施します。



鈴桶遺跡出土遺物 再整理作業



黒曜石水洗作業

第3回調査指導会議

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	02	青少年相談事業	6つの まちづくり			02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,837	1,830				1,830	7	P. 332	

【令和6年度における事務事業の概要】

青少年相談室を設置し、青少年や保護者等からの悩み事の相談に対応しました。

- 相談業務委託先：青少年なやみ相談つくしの会（教職経験者等6人）
- 開設日時：土・日・祝日、年末年始休日を除く、月曜日から金曜日の9:00～17:00

【令和6年度における事務事業の成果】

青少年や保護者等が抱える悩みに対して、相談者が気軽に来所または電話により相談できる体制・環境を整え、青少年センターの相談機能を充実させることができました。

- 年間相談件数：134件
- 青少年相談室案内カードの配付
小学1年生から高校3年生までの全児童、生徒

過去5年の相談件数

年 度	R元	R2	R3	R4	R5
件 数	46	153	111	157	157

相談内容の内訳

	学校生活	交友	問題行動	家庭生活	その他	計
R3	10	16	0	5	80	111
R4	22	17	0	29	89	157
R5	11	8	0	9	129	157
R6	10	9	0	10	105	134

案内カード

一人で悩まず電話してみよう
(0955) 22-7867
青少年相談室
朝9:00～夕方5:00 (月～金)

- ◆ 名前は言わなくてもいいよ。
- ◆ ひみつは守るよ。
- ◆ いやなこと・くやしいこと・こまったことがあったら電話してね。
- ◆ 友だちや家ぞくのこと、学校のことなど、なんでも話していいよ。

学校や家庭の中でのいろんな悩みや不安をかかえている子どもたちや保護者の相談に応じます。

〒848-0045
伊万里市松島町73-1 生涯学習センター内
伊万里市青少年センター

青少年相談室
TEL 0955-22-7867

電話相談・面接相談どちらでもいいです。
受付 午前9時～午後5時 (月～金曜日)

表

裏

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	03	青少年育成市民会議支援事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施策	09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
400	400				400	0	P. 332	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民が丸一丸となって次代を担う青少年の健全育成を図るために組織された「伊万里市青少年育成市民会議」に対して、事業費補助を行うとともに、非行防止パトロール等の実施、青少年育成関係団体の組織強化・活動支援を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

○「伊万里市青少年育成市民会議」の事業

「伊万里サマーキャンプ」は事前研修、直前研修、沖縄で本研修を実施し、各町青少年育成町民会議や関係団体の取り組みに対する支援を行い、地域の青少年育成活動を促進することができました。

また、非行防止活動については、全国強調月間にあわせ、広報紙や市ホームページに掲載し啓発するとともに、定期巡回パトロールや地域環境点検等を実施し、青少年の健全育成に努めました。

【主な支援内容】

- ・各町民会議交付金
- ・青少年団体連絡協議会交付金
- ・サマーキャンプ
- ・加盟団体等事業費支援費
(社会を明るくする運動、子ども110番のぼり旗作成費用)
- ・子ども話し方大会後援（市子ども会連合会主催）

○「伊万里市青少年団体連絡協議会」の事業

「チャレンジ『Day』キャンプ」、「スタミナ焼肉オリエンテーリング」の2事業を実施しました。

募集チラシ

第31回 伊万里サマーキャンプ

対象：小学生（4～5年生）

募集期間：令和6年9月30日（月）～10月18日（金）

会場：都川内森林公園（大川内町）

時間：8:30～15:30

参加費：500円（保険料含む）

募集人数：20名程度（先着順）

申込方法：上記QRコードより申し込みまたは参加費を現金で都川内森林公園に送付してください。

活動内容：テント設営、火おこし体験、野外炊飯、レクリエーション

主催：伊万里市青少年団体連絡協議会、伊万里市教育委員会、伊万里市青少年育成市民会議

参加人数 25名

チャレンジ「Day」キャンプ

対象：小学生（4～5年生）

募集期間：令和6年9月30日（月）～10月18日（金）

会場：都川内森林公園（大川内町）

時間：8:30～15:30

参加費：500円（保険料含む）

募集人数：20名程度（先着順）

申込方法：上記QRコードより申し込みまたは参加費を現金で都川内森林公園に送付してください。

活動内容：テント設営、火おこし体験、野外炊飯、レクリエーション

主催：伊万里市青少年団体連絡協議会、伊万里市教育委員会、伊万里市青少年育成市民会議

参加人数 9名

第35回 スタミナ焼肉オリエンテーリング

2025.3.23（日）9:00～13:30

in 都川内森林公園

参加費：2,000円（1組あたり）※当日徴収

募集期間：令和7年2月10日（月）～2月21日（金）※先着順

主催：伊万里市青少年団体連絡協議会、伊万里市教育委員会、伊万里市青少年育成市民会議

参加人数 108名

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費		
事務事業名		01	図書館管理運営事業			6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 市民図書館				施 策		08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 334
59,387		59,153				264	58,889	234		

【令和6年度における事務事業の概要】

施設の維持管理等を行うとともに、令和6年度は特に、第五次図書館システム機器の長期継続契約満了に伴い、新たな図書館システム機器に更新し、書影が本棚のように表示される「Web書棚」や「読書チャレンジ」など、新しい機能を追加しました。

また、6年目となる西九州させば広域都市圏連携事業では、域内の7つの公共図書館を巡回して、互いの図書館資料を運搬する配本事業と、5つの図書館で職員のスキルアップを図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年7月に開館29周年を迎え、市民と一緒に誕生日を祝う「図書館☆（ほし）まつり」を開催しました。施設利用については、展示コーナー等の利用日数は延べ197日間、図書館が主催した行事の参加者数は2,569人、市民が主体となって行った会議や研修会などの参加者数は5,752人と多く利用されました。

西九州させば広域都市圏連携事業では、年間24回の配本車の巡回があり、当館では26冊の配送を依頼し、参加図書館との相互貸借を行いました。



▲図書館☆まつりでの俳句まつりの展示の様子

▲「Web書棚」と「読書チャレンジ」

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	02	図書館資料収集事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 市民図書館				施 策	08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
16,040	16,033			15,940	93	7	P. 336	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度は図書館資料として、新たに本館用図書を5,454冊、自動車図書館ぶっくん用を1,635冊、雑誌1,196冊と視聴覚資料106点、新聞8紙を購入しました。
また、専門の情報を入手できる有料のデータベースを5件契約しました。

【有料データベース】

- ①D1-Law（現行法令・判例体系データベース）
- ②日経テレコン21（ビジネス情報データベース）
- ③ジャパンナレッジ（百科事典データベース）
- ④ルーラル電子図書館（農業系データベース）
- ⑤佐賀新聞データベース（佐賀新聞記事データベース）

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度における市民図書館の利用状況は、個人登録者数47,990人、団体登録1,409団体、利用人数67,636人、貸出点数320,968点となり、前年度より減少しました。一方、調査相談（レファレンス）は7,824件、予約受付件数は14,176件と、それぞれ前年度に比べてやや増加し、読書に対する要求の高まりを見せています。加えてインターネットによる予約は、年間11,794件の申込があり、予約全体の83.2%を占め、図書館ホームページを使用した予約は今後も増加すると見込まれます。

※財源内訳の「その他」のうち14,900千円は、ふるさと応援基金繰入金



▲図書館で借りられた本について費用対効果を検証

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	03	ブックスタート事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 市民図書館				施 策	08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
81	81			81	0	0	P. 336	

【令和6年度における事務事業の概要】

ブックスタート事業は3か月児健診の際、事業の趣旨を保護者に説明した上で、4冊の絵本の中から1冊を選んでもらい、その絵本を手渡して、赤ちゃんと保護者に対し、ボランティアや図書館職員が読み語りを行って、絵本を介したコミュニケーションを保護者に勧めるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に3か月児健診が集団検診から個別健診に変更となったため、ブックスタートを実施せず、絵本の受け渡しのみ行いました。

令和3年度からは他の利用者がいない館内整理休館日を活用して、市民図書館のホールでブックスタートを再開し、令和6年度も感染対策を講じながら月に1回実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は市民図書館のホールを会場として9回開催し、90人の赤ちゃんに読み語りを実施しました。また、都合が合わなかった方には別の日に来館してもらい、60人の赤ちゃんにそれぞれ絵本1冊とアドバイスブックを渡しました。

絵本を手渡すことで、保護者が赤ちゃんとのコミュニケーションを持つきっかけを作り、家族で読書や絵本に親しむ環境整備を支援することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



▲ブックスタートでは赤ちゃんと保護者に読み語りをを行う



▲ブックスタートに来られなかった方には、絵本を手渡す

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	04	家読推進事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 市民図書館			施 策		08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 338
238	200					200	38	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度は、児童文学者の村中李衣氏を迎え、「しあわせを紡ぐ絵本の読みあい」と題し、うちどく推進講演会を行いました。子ども達と絵本を介したコミュニケーションを大切にする「読みあい」についてお話いただきました。

また、第9回「伊万里市民図書館・学校図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。

さらに、うちどく広め隊の活動として、市内のおはなしボランティアが集まり学習を行う「おはなしネットワーク」において、市内で活動している読み語りボランティアを派遣しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

講演会の参加者は、絵本を介してコミュニケーションを図る「読みあい」について学びました。絵本を真ん中にして、読み手と聞き手が物語世界の中で想像することを楽しみ、コミュニケーションの場を作ることが大切だと話されました。

また、図書館を使った調べる学習コンクールでは、市内の小学校から46点の応募があり、入賞作品（12点、12人）を表彰するとともに、最優秀賞の2点を全国コンクールへ推薦し、その2点とも佳作に入賞しました。

うちどく広め隊の活動では、市内のおはなしボランティアグループが所属する「おはなしネットワーク」の集会において、「読みかたり風21」によるおはなしの実演がありました。そこで読みかたりの技術指導やテクニックの習得と情報交換がなされ、うちどくへの意識が高まりました。



▲調べる学習コンクール入賞者の表彰式
を図書館ホールにて実施



▲うちどく広め隊の活動のうち、「読み
かたり風21」による実演

令和6年度調べる学習コンクール最優秀賞

- ・低学年の部 立花小学校 1年「かみなりがこわい」
- ・中学年の部 東山代小学校 4年「未来につなぐ工芸品」
- ・高学年の部 二里小学校 5年「果実酢をつくろう」

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	05	図書館改修事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 338	
93,698	6,215			6,215	0	87,483		

【令和6年度における事務事業の概要】

図書館が令和7年7月に開館30周年を迎えることから、令和6年度は、これまで培ってきた市民との協働や知の拠点としてのポテンシャルを活かし、環境を始めとしたSDGsの考えを学ぶ新たな機能を盛り込むことで、より良い図書館を目指すために、カーボンニュートラルライブラリー構築業務委託を行いました。

また、公共施設における再生エネルギー導入の端緒として、太陽光発電設備設置の契約を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

カーボンニュートラルライブラリーについては、市民の学習機会を設け脱炭素への関心を高めると同時に、カーボンニュートラルライブラリー構築業務委託により、細やかな意見を反映した報告書を作成することができました。

また、太陽光発電設備設置工事については、図書館の機能や景観を妨げない契約を締結することができましたが、設置工事については令和7年度に繰り越して行うことになりました。

これらの事業により、再生エネルギーの有用性を市民に啓発する契機をつくることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

※不用額は、令和7年度への繰越明許費87,483千円です。



▲カーボンニュートラルライブラリー構築業務委託報告書



▲図書館ホール ARのイメージ図

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	01	歴史民俗資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,014	2,791			2,208	583	223	P. 338	

【令和6年度における事務事業の概要】

歴史民俗資料館では、伊万里市の歴史や文化、自然を紹介する常設展に加え、企画展「洞窟と考古学者」を実施しました。

「洞窟と考古学者」は、佐世保市教育委員会と岡山理科大学の共同主催によるもので、伊万里市は8か所の開催館のうちの1つとして、令和6年4月27日（土）から6月23日（日）まで巡回展を行いました。展示テーマは、昭和30年代に西北九州を舞台に行われた旧石器時代の遺跡や洞窟遺跡の発掘調査と、それに携わった考古学者について、伊万里市では鈴桶遺跡（二里町）の出土遺物のほか、白蛇山岩陰遺跡（東山代町）や近隣市町である有田町の中尾岳（盗人岩）洞穴遺跡の資料を展示しました。

また、小、中、高校生に伊万里の良さを知ってもらい、伊万里に住んでいることに誇りを持ってもらうよう、出前講座や見学講座に積極的に取り組みました。



【企画展 パネルコーナー】



【企画展 洞窟遺跡コーナー】



【常設展 古代コーナー】



【見学講座】

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度の入館者数は1,447人を数え、伊万里市民を中心に郷土に対する理解を深めることができました。

また、出前講座、見学講座も年間11回実施し、小学生を中心に伊万里のすばらしさを伝えることができました。

※財源内訳の「その他」のうち2,200千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	05 歴史民俗資料館費
事務事業名	02 陶器商家資料館管理運営事業	6つのまちづくり	02 創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課	施 策	12 文化財の保護		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源
2,250	2,179			2,100	79
					71
					P. 338

【令和6年度における事務事業の概要】

陶器商家資料館では、市重要文化財の旧犬塚家住宅である建物の公開と併せて「古伊万里」などの古陶磁器や商家に関する文書や調度品などの展示を行いました。

館内に設置している6枚の説明パネルについては、来館者にとってより分かりやすいものになるよう、内容を更新し、新しく作り直しました。

また、玄関上部に設置している「丸駒」の看板や2階の窓の木製建具等の修繕を行い、当時の造りをそのまま残しながら、より良い環境の整備に努めました。



【1階 板の間（展示室）】



【1階 説明パネル】



【2階 座敷】



【外観と丸駒の看板】

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度の入館者数は2,910人を数え、市内外からの来訪者へ、本市のやきもの文化や商人文化に関する理解を深めるとともに、市街地観光に貢献しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	03	鍋島ギャラリー管理運営事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 340	
3,322	3,293			3,288	5	29		

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里・鍋島ギャラリーでは、市内外からの来館者へ、鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうために、所蔵する優品の常設企画展を開催しました。

来館者の皆様が、古伊万里や鍋島焼についてこれまで以上に興味を持ち、理解を深めてもらうために、説明動画を作成し展示室内に設置しました。

また、「伊万里・鍋島ギャラリー所蔵品図録」について、旧図録作成以降に伊万里市の所蔵になったやきものを加え、新しく分かったことを付加・修正した改訂版を作成しました。

「鍋島・古伊万里展 青磁・染付・色絵の世界」 10月 7日～ 4月14日
「鍋島・古伊万里展 清涼なうつわたち」 4月23日～11月 4日
「鍋島・古伊万里展 美しいうつわたち」 11月12日～ 4月13日

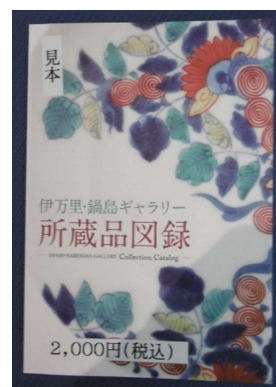
このほかに、大川内山の秋の窯元市に協賛して、伊万里・有田焼伝統産業会館においても本市が所蔵する古陶磁器を広く一般に展示公開しました。



【展示室内の様子】



【説明動画】



【改訂版 所蔵品図録】

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度の来館者数は5,976人を数え、市内外からの来館者へ鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに、市街地観光に貢献しました。

また、市内の小学校を中心に団体で訪れる学校や施設が増え、実際のやきものの見学や説明を通して伊万里のすばらしさを伝えることができました。

※財源内訳の「その他」のうち3,200千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	01	保健体育総務事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,291	2,168				2,168	123	P. 340	

【令和6年度における事務事業の概要】

スポーツ基本法に基づき市内各町、地区にスポーツ推進委員を配置するとともに、各町でのニュースポーツ講習会を支援する体力増進指導員を配置し、市民のスポーツへの関心や参加意欲の更なる高揚を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

①スポーツ推進委員

各町3名ずつ計39名にスポーツ推進委員を委嘱し、毎月の研修会の実施などにより各種スポーツの見識を深め指導技術を向上させるとともに、ラジオ体操会やソフトバレーボール大会を開催するなど、市民の健康づくり、体力づくりに寄与することができました。

②伊万里市スポーツ推進審議会

関係団体の代表者や学識経験者により組織される「伊万里市スポーツ推進審議会」において、令和6年度事業報告や令和7年度社会体育についての計画、予算等について審議しました。

【ラジオ体操会】



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	02	ニュースポーツ大会開催事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
169	168				168	1	P. 342	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民が気軽にスポーツを楽しみ、心身の健康を維持する機会を創出するため、ニュースポーツ大会を開催するとともに、スポーツの楽しさに触れる機会を創出するため、年少児から小学生を対象とした伊万里っ子キッズスポーツフェスティバルを開催しました。
また、貸出用備品であるデッキスティックゲームを購入しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

市民がスポーツの楽しさを味わいながら、仲間意識を醸成し健康を維持する生涯スポーツを推進することができました。

大会名	参加チーム数等	参加者数
第27回市民グラウンド・ゴルフ大会	63チーム	368人
第18回市民ソフトバレーボール大会	25チーム	123人
第37回市長杯争奪市民ゲートボール大会	12チーム	74人
伊万里スプリングスポーツデイ（第1回市民モルック大会）	10チーム	45人
（第13回市民ペタンク大会）	11チーム	37人
（第32回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル）	陸上・ ホッケー・ ラグビー	45人



デッキスティックゲーム



第1回市民モルック大会

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	03	競技スポーツ大会開催事業	6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
684	600				600	84	P. 342	

【令和6年度における事務事業の概要】

競技スポーツの普及と競技力向上を図るため、各競技団体と連携し、野球やソフトボール等の競技スポーツ大会を開催しました。

また、市長旗高校野球大会の優勝旗用三脚等を購入しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

各種大会の開催により、競技人口の拡大と競技力の向上を図ることができました。

大会名	参加チーム数等	優勝チーム
第52回伊万里市民軟式野球大会	12チーム	ミックス
第47回市長旗争奪高等学校野球大会	4校（春季）	敬徳高校
	4校（秋季）	敬徳高校
第60回国見台陸上競技選手権大会	延べ1,781人	
第51回市民早朝ソフトボール大会	一部 8チーム	T・farm戸石川農園
	二部 15チーム	祇園町愛球会
市長旗争奪第46回中学生野球大会	7チーム	国見中学校
市長旗争奪第51回少年野球大会	9チーム	立花少年野球部
第47回市長旗争奪 ママさんナイターバレーボール大会	11チーム	いまり啓成A

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	04	市内一周駅伝競走大会開催事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
298	279				279	19	P. 342	

【令和6年度における事務事業の概要】

各町におけるスポーツの普及、振興はもとより市内の長距離選手の発掘、育成につなげるため、市内一周駅伝競走大会を開催しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

11月24日に、市内全地区・町の参加により市内一周（全14区間58.6km）をコースとする「第71回市内一周駅伝競走大会」を開催しました。
前回大会から新たに小学生区間を設け、選手の育成や競技力の向上とともに、各地区の融和と団結力の向上を図ることができました。

【令和6年度成績】

優勝：伊万里地区 準優勝：二里町 第3位：山代町 躍進賞：大坪地区



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	05	競技スポーツ全国大会等出場支援事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,006	3,006				3,006	0	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

スポーツの全国大会等に出場する個人や団体の負担軽減を目的に、出場に要する経費の一部を助成しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

競技スポーツの全国・九州レベルの大会に出場した団体・個人（49件161人）に対し、出場に要した経費の一部を助成し、参加者の負担軽減を図るとともに競技力の向上を図ることができました。

大会区分	区分	件数	対象人員	補助金額
全国大会	団体	5件	50人	1,576,000円
	個人	26件	47人	935,000円
九州大会	団体	3件	40人	282,000円
	個人	15件	24人	213,000円
合計	団体	8件	90人	1,858,000円
	個人	41件	71人	1,148,000円
	総計	49件	161人	3,006,000円

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	06	ウォーキング大会開催支援事業	6つのまちづくり			02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
300	300				300	0	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民の健康づくりの促進と自然豊かな伊万里を市内外にPRするため、伊万里ウォークの開催を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

11月23日に開催された「魅力あふれる夢のまち伊万里ウォーク2024」では、市内外から853名の参加をいただき、市民が気軽に参加できる健康づくりの場を創出するとともに、市外の方に本市の魅力発信を行うことができました。

【コース別参加者数】

●伊万里湾岸・はちがめコース（約20km）	…	160名
●秘窯の里・鍋島コース（約12km）	…	413名
●古伊万里コース（約6km）	…	280名
計		853名

【地域別参加者数】

●佐賀県内	…	615名
うち伊万里市内		(482名)
うち伊万里市外		(133名)
●福岡県	…	38名
●長崎県	…	195名
●その他	…	5名
計		853名



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	07	スポーツ団体支援事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,975	2,975				2,975	0	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民へ広くスポーツの普及及び振興を図るため、伊万里スポーツフェスティバルを開催したほか、各種目団体や各町スポーツ協会などの活動を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

スポーツ団体への支援を行ったことで、子どもから大人までスポーツに親しむ環境づくりを推進することができました。

また、「第6回伊万里スポーツフェスティバル」では、市民総参加型のスポーツイベントとして、スポーツの普及と健康増進を図ることができました。

【令和6年度成績】

●優勝：大坪地区 ●準優勝：南波多町 ●第3位：黒川町・東山代町

(伊万里スポーツフェスティバル対象大会成績表)

種 目	大 会 名	種 別	開催日	会場	第1位	第2位	第3位
グラウンド・ゴルフ	市民グラウンド・ゴルフ大会	団体戦	6月1日	国見台陸上競技場 国見台球技場	大川内町	二里町 黒川町	
軟式野球	伊万里スポーツフェスティバル 軟式野球大会	一般A	6月2日～ 10月20日	国見台野球場 伊万里松浦球技場	ベスト4で大会終了	大坪地区 南波多町	東山代町 大川町
		一般B			ベスト4で大会終了	伊万里地区 立花地区	二里町 大川町
ドッチビー	市子ども会連合会スポーツ大会	—	8月4日	国見台体育館	山代町	二里町	南波多町
相撲	市長旗争奪青年相撲大会	団体戦	8月6日	国見台相撲場	黒川町	伊万里地区	
ゲートボール	市長杯争奪 市民ゲートボール大会	—	9月25日	伊万里松浦球技場	東山代町	大川町	大川内町
ソフトボール	伊万里市民スローピッチ大会	—	11月17日	国見台球技場 伊万里湾大橋球技場	立花地区	大坪地区	東山代町 波多津町
バレーボール	市民バレーボール大会	一般男子	11月4日	国見台体育館外	南波多町	二里町	伊万里地区 東山代町
		一般女子			東山代町	牧島地区	立花地区 二里町
ゴルフ	市民ゴルフ大会	—	11月8日	佐世保国際カントリー倶楽部	南波多町	大坪地区 東山代町	
陸上	市内一周駅伝競走大会	—	11月24日	浦ノ崎駅前～市内一円	伊万里地区	二里町	山代町
卓球	市長杯争奪 各町対抗卓球大会	男・女混成団体戦	3月9日	国見台体育館	山代町	大川内町	大坪地区
ベタンク	伊万里スポーツデイ(春)	—	3月20日	国見台球技場	大坪地区	南波多町	黒川町
モルック	伊万里スポーツデイ(春)	—	3月20日	国見台球技場	大坪地区	黒川町	大坪地区

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	08	スポーツ合宿誘致事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,700	1,683			1,600	83	17	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

市民と市外の高校生等との合同練習などにより競技力の向上を図るとともに、スポーツの振興と宿泊に伴う経済の振興を目的に、市内の体育施設を利用する団体が実施するスポーツ合宿に対し、宿泊費の一部を助成しました。

助成要件：2泊以上の宿泊で、延べ宿泊者数が20人以上の場合

助成内容：1名あたり1,000円／泊（1団体上限100,000円）

【令和6年度における事務事業の成果】

高校生の陸上合宿「伊万里アスリート・アカデミー」において22団体延べ1,599人、佐賀大学合気道部の合宿で延べ94人、国スポ陸上佐賀県チームの合宿で延べ60人を伊万里に誘致して、競技力の向上を図るとともに市外の方へ伊万里の魅力を発信することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

	団体数	延べ人数	補助額
令和2年度	2	149人	149,000円
令和3年度	10	755人	717,000円
令和4年度	11	738人	724,000円
令和5年度	19	1,223人	1,174,000円
令和6年度	24	1,753人	1,683,000円

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	09	ハーフマラソン大会開催支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,000	2,000			2,000	0	0	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

スポーツの振興に加え、交流人口の拡大や観光情報の発信を目的とした伊万里ハーフマラソンの開催を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

平成27年から開催し11回目の大会となる2025大会は、全国各地から3,035人のエントリーがあり、県内外の参加者に対し、伊万里の魅力を発信することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

伊万里ハーフマラソン2025(IMARI HALF-MARATHON2025) エントリー集計

種目別エントリー数

【最終】

種目 No.	種目・種別	2025	2024	2023	2022 オンライン	2021 オンライン	2020	2019	2018	2017	2016
1	ハーフ 男子 18～39歳	755	697	459	107	219	945	914	849	922	726
2	男子 40～49歳	729	685	490	193	343	850	795	708	734	554
3	男子 50～59歳	696	619	478	186	281	657	623	520	496	395
4	男子 60歳以上	353	361	261	60	106	331	313	276	256	175
5	女子 18～39歳	155	145	111	32	50	274	257	215	250	221
6	女子 40～49歳	143	161	108	65	123	223	214	193	191	154
7	女子 50～59歳	140	167	107	60	90	168	134	112	110	65
8	女子 60歳以上	64	63	43	27	32	57	50	46	29	18
9	セルフ男子18歳以上	—	—	—	307	393	—	—	—	—	—
10	セルフ女子18歳以上	—	—	—	269	323	—	—	—	—	—
	小 計	3,035	2,898	2,057	1,306	1,960	3,505	3,300	2,919	2,988	2,308
	10km 一般男女、高校男子	—	—	—	—	—	—	220	239	234	200
	3km 小中高男女、一般女子、壮年男子、車いす	—	—	—	—	—	332	322	213	224	201
	合 計	3,035	2,898	2,057	1,306	1,960	3,837	3,842	3,371	3,446	2,709

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	10	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業		6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
270,218	270,197	99,971		170,200	26	21	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度に佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会伊万里市開催競技の運営等を行ったSAGA2024伊万里市実行委員会に対し負担金等を支出しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

SAGA2024伊万里市実行委員会では、伊万里市開催競技として国スポ4競技、全障スポ1競技の大会運営等を行い、大会期間中延べ約23千人の方が来場されました。

佐賀県チームは、男女総合成績で第2位、女子総合成績でも第2位と言う輝かしい成績を納められ、更に、ホッケー競技では成年女子が若楠国体以来となる48年ぶりのメダル（銅）を獲得されました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

＜SAGA2024伊万里市実行委員会 令和6年度決算（支出）の状況＞

科 目	決算額	摘 要
1 総務費	1,543,135	
1 会議費	242,093	通知郵送、資料印刷 159,939 会議時のお茶代等 21,600 コピー使用料等 60,554
2 事務局費	1,301,042	事務用品 400,335 郵送料、コピー使用料等 217,804 コピー使用料等 682,903
2 開催推進費	269,132,553	
1 広報啓発費	1,771,433	啓発グッズ・チラシ作製等 649,036 まちなか装飾等 495,545 大会報告書制作 626,852
2 市民協働推進費	7,857,647	企業協賛記念品等 97,464 ボランティア養成研修 412,020 花いっぱい活動等 1,068,062 学校観戦バス借上等 6,280,101
3 開催準備費	869,714	競技団体主催大会視察旅費等 414,482 組合せ抽選会出席旅費等 455,232
4 大会運営費	78,758,109	大会総務費 113,850 宿泊衛生費 10,427,060 輸送交通費 41,492,654 歓迎・おもてなし費 26,724,545
5 競技会運営費	179,875,650	オープンウォータースイミング費 28,838,586 ビーチバレーボール費 42,868,702 ホッケー競技費 90,630,300 軟式野球競技費 17,158,127 フライングディスク競技費 379,935
合 計	270,675,688	

SAGA 2024 国 ス ポ
全障ス ポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	11	全国高等学校野球選手権大会 出場支援事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,108	1,103				1,103	5	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

第106回全国高等学校野球選手権大会に出場を果たした有田工業高等学校に対し、出場及び応援に要する経費の一部を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

伊西地区高校野球の大会等で常に切磋琢磨し、本市の生徒も多く通っている有田工業高等学校を支援することで、市民に対するスポーツ機運の醸成と全国に焼き物など伊西地区の情報を発信することができました。



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	12	プロスポーツチーム連携事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
402	246				246	156	P. 344	

【令和6年度における事務事業の概要】

県内にあるプロスポーツチームとの連携事業を通じて、市民に対してトップレベルのスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの振興と競技力の向上を図りました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年8月5日に株式会社佐賀バルーナーズと連携協定を締結するとともに、令和7年1月26日にSAGAアリーナで開催された佐賀バルーナーズの試合に本市の子ども達を無料で招待しました。

招待試合	佐賀バルーナーズ 対 越谷アルファーズ
試合日程	令和7年1月26日（日）14：05～
試合会場	SAGAアリーナ
会場までの移動	無料往復バス (佐賀県プロバスケットボール振興協議会バス補助を利用)
参加者	高校生 3名 中学生 9名 小学生 45名 大人（保護者） 48名 幼児 7名（保護者の膝の上で観戦）



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	01	体育施設管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
68,919	66,817			9,433	57,384	2,102	P. 346	

【令和6年度における事務事業の概要】

本市スポーツ施設の核となる国見台公園体育施設をはじめ、令和4年度より供用を開始した伊万里松浦球技場や伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場等市内の体育施設の維持管理を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

国見台野球場屋外スピーカーの修繕や東山代運動広場のサッカーゴールの修繕等に加え、体育施設の落下式トイレの改修工事を行うなど、利用者が使いやすい環境づくりを進めることができました。

【主な支出額の内訳】

・スポーツ施設トイレ改修工事	26,190 千円
・国見台管理事務所 屋根棟修繕	330 千円
・国見台公園野球場 屋外スピーカー修繕	523 千円
・国見台球技場 高圧受電設備更新工事	605 千円
・国見台庭球場 人工芝修繕	121 千円
・国見台 スポーツトラクター修繕	328 千円
・東山代運動広場 サッカーゴール修繕	161 千円
・東山代運動広場 小型焼却炉解体工事	824 千円
・浦ノ崎運動広場 浄化槽用放流ポンプ修繕	195 千円
・浦ノ崎運動広場 グラウンド陥没修繕	154 千円
・運動広場管理清掃業務委託等	13,648 千円
・その他各体育施設光熱水費等	23,738 千円

スポーツ施設トイレ改修工事

改修前



改修後



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	02	国見台体育施設改修事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,400		2,310	1,155	1,000		155	90	P. 346

【令和6年度における事務事業の概要】

老朽化の著しい国見台陸上競技場の擁壁について、改修工事を行うための実施設計を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

老朽化した国見台陸上競技場の擁壁について、安全性の確保に必要な改修工事を行うための実施設計を行い、次年度の改修工事に向けた準備を整えることができました。

擁壁写真



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費		
事務事業名		03	散弾銃射撃場環境対策事業			6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり	
担当部課		教育委員会 スポーツ課				施 策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)		決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 346
2,183		1,742				1,700	42	441		

【令和6年度における事務事業の概要】

伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会で策定されたアクションプランに基づき、散弾銃射撃場内および場外の水質（表流水・地下水）調査を行いました。

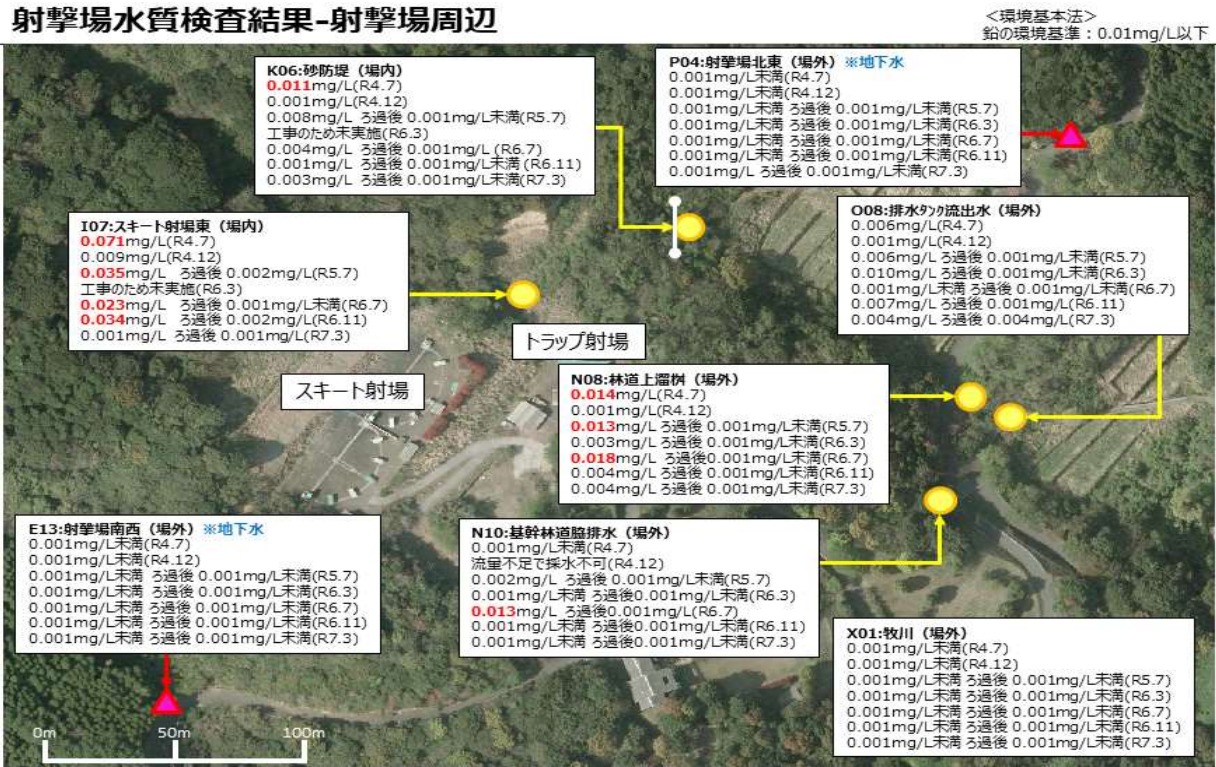
令和7年3月26日に開催した検討委員会において、対策工事及び水質調査結果を報告するとともに、今後の方針について協議を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

水質調査については、対策工事後の経過観察のため、これまでの年2回から3回に調査回数を変更し実施するとともに、検討委員会において、対策工事及び水質調査結果について報告し、今後3年間は水質調査を継続して経過観察を行うことを確認しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

射撃場水質検査結果-射撃場周辺



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	04	散弾銃射撃場環境対策事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348
70, 107	66, 294				66, 200	94	3, 813	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和5年度散弾銃射撃場鉛汚染対策工事について、天候などの影響により工事の進捗が遅れたため、工期を延長（繰越）し、実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

検討委員会において決定された土壌撤去方法や処分方法に基づいた高濃度汚染土壌の撤去工事について、工事期間を延長（R5.9.5～R6.5.31）し、対策工事を完了しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	01	学校給食センター管理運営事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 学校教育課				施策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348	
256,017	246,828				246,828	9,189		

【令和6年度における事務事業の概要】

市内の小学校13校、中学校6校、義務教育学校1校の給食を安定的に提供するため、学校給食センターの管理運営を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

学校給食を安定的に提供するため、施設や設備を点検、修繕するなど適正に管理するとともに、給食提供に必要な調理業務や配送回収業務などの各種委託料、燃料費、光熱水費などの運営経費を支払いました。

また、9月からのアレルギー除去食提供に伴い、必要となる容器や調理器具を購入しました。

アレルギー除去食 調理の様子



アレルギー除去食配食の様子



2025. 2. 13 通常食



2025. 2. 13 アレルギー除去食



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	02	学校給食運営員会支援事業	6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 350	
53,755	52,459	43,866			8,593	1,296		

【令和6年度における事務事業の概要】

学校給食事業に必要な学校給食運営委員会の適正かつ円滑な運営を図るため、学校給食運営委員会に対し、活動費や物価高騰による子育て世代の負担軽減のための事業費を補助しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は、活動費補助として100,000円、物価高騰による子育て世代の負担軽減のため、令和5年度と令和6年度の給食費増額分の1/2を補助するとともに、進学等に向け特に経済的負担が大きい中学3年生の給食費を無償化するための事業費補助として52,358,737円を交付し、経済的負担の軽減と子育て環境の改善、食育への関心向上に努めることができました。

また、運営委員会が2回開催され、前年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と収支予算案、学校給食費取扱要領の一部改正等について審議しました。



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	03	学校給食センター改修事業	6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 350	
126, 148	126, 148				126, 148	0		

【令和6年度における事務事業の概要】

給食センターの建設から18年が経過し、設備・機器の耐用年数はすでに超過しており、部分的な修繕・改修では施設の満足な機能を保つことが難しいことから、令和5年度から令和7年度までの夏休み期間において老朽化した施設・設備等の更新を行っています。

また、令和5年度から令和19年度までの期間、給食センターの施設や調理設備等の維持管理業務も併せて行っています。



【令和6年度における事務事業の成果】

令和6年度は、夏休み期間に調理室にある蒸気釜、連続揚物機、連続炊飯機など調理機器の入替を行うとともに、より美味しい給食を提供するため、熱風とスチームの組み合わせで多彩な調理が可能なスチームコンベクションオーブンを導入しました。また、センター施設の維持管理に必要な各種点検や維持管理を行いました。



款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	01	農業用施設災害復旧費
事務事業名	02	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	04	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
101,111	56,786	61,261	500	1,479	△ 6,454	44,325	P. 350	

【令和6年度における事務事業の概要】

本事業は、令和5年度及び令和6年度の豪雨で甚大な被害を受けた農業用施設（水路、ため池、農道など）の早期復旧を支援しました。

具体的な取り組みとしては、国による厳正な災害査定を経て、補助対象となる事業費を確定し、これにより、迅速かつ適正に復旧工事を実施することができました。

当該事業は、被災地区の農業生産基盤を迅速に回復させることを目指し、農業用施設の維持と経営の安定に不可欠な役割を果たしました。これにより、被災地の農業が早期回復し、地域の活性化にも貢献しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

本事業では、国の農業用施設災害復旧事業により採択された箇所、被災した水路やため池、農道などの復旧工事を完了しました。これにより、豪雨による被害で中断していた農家の方々の生産活動が再開され、大切な経営の維持と安定化を図ることができました。

区分	内容	事業費（円）
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	1, 240, 342
工事請負費	兎戸平道路ほか	48, 187, 900
計	※5年災補助率 98.1%、94.9%	49, 428, 242

区分	内容	事業費（円）
事務費	備品購入費（草刈機）	73, 000
委託費	カツ子ヲ道路設計業務委託	1, 650, 000
工事請負費	坂下堤ため池、カツ子ヲ道路(前払金)	5, 635, 000
計	※6年災補助率 98.8%、96.9%	7, 358, 000

○決算額内訳

(千円)

	予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
	101, 111	56, 786	61, 261	500	1, 479	▲6, 454	44, 325
R6繰越	61, 200	49, 428	61, 261	-	1, 439	▲13, 272	11, 772
R6現年	39, 911	7, 358	-	500	40	6, 818	32, 553
							(32, 526) 繰越

※不用額は、令和7年度への繰越明許費32, 526千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	02	農地災害復旧費
事務事業名	01	農地災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	02	農地災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
30,721	11,152	11,300	300	713	△ 1,161	19,569	P. 352	

【令和6年度における事務事業の概要】

本事業は、令和5年度及び令和6年度の豪雨で甚大な被害を受けた農地の早期復旧を支援しました。

具体的な取り組みとしては、国による厳正な災害査定を経て、補助対象となる事業費を確定し、これにより、迅速かつ適正に復旧工事を実施することができました。

当該事業は、被災地区の農地を迅速に回復させることを目指し、不可欠な役割を果たしました。これにより、被災地の農業が早期回復し、地域の活性化にも貢献しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

本事業では、国の農業用施設災害復旧事業により採択された箇所で、被災した農地の復旧工事を完了しました。これにより、豪雨による被害で中断していた農家の方々の生産活動が再開され、大切な経営の維持と安定化を図ることができました。

区分	内容	事業費 (円)
事務費	需用費、役務費、使用料及び賃借料	286,200
工事請負費	小敷岩農地ほか	10,810,800
計	※5年災補助率 94.1%、84.3%	11,097,000

区分	内容	事業費 (円)
事務費	旅費 (増高申請協議)	55,280
計	※6年災補助率 86.5%	55,280

○決算額内訳 (千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
30,721	11,152	11,300	300	713	▲1,161	19,569

R6繰越 14,469 11,097 11,300 - 713 ▲916 3,372

R6現年 16,252 55 - 300 - ▲245 16,197

(16,196) 繰越

※不用額は、令和7年度への繰越明許費16,196千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	03	林道災害復旧費
事務事業名	01	林道災害復旧事業（補助、現年）（繰越明許）			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,712	1,288	1,155	100		33	424	P. 352	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和5年6月30日から7月10日にかけての豪雨により被災した林道倉谷線の復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

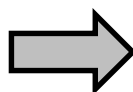
被災した林道の復旧保全をすることができ、林業従事者等を含む市民が安全に林道を利用することができるようになりました。

路線名	工事場所	工事決算額	工事延長	主な工法
倉谷線	黒川町畑川内	1,288,100円	9.0m	ふとんかご工

●工事着工前



●工事完了後



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	01	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 352
12,188	4,505		4,900		△ 395		7,683	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年6月29日～7月2日、令和6年8月28日～8月31日、令和6年9月21日～9月22日及び令和6年11月1日～11月2日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設17箇所のうち、7箇所（河川2箇所、道路5箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

残りの10箇所（河川5箇所、道路5箇所）は、令和7年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川松元川

着工前



成 工



市道鳴石～久原線

着工前



成 工



※不用額は、令和7年度への繰越明許費6,162千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	02	土木施設災害復旧事業 (単独、過年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
5,601	5,304	2,640	0		2,664	297	P. 352	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和3年8月の豪雨により被災した市道府招上15号線について、地すべりに関する解析業務を行いました。

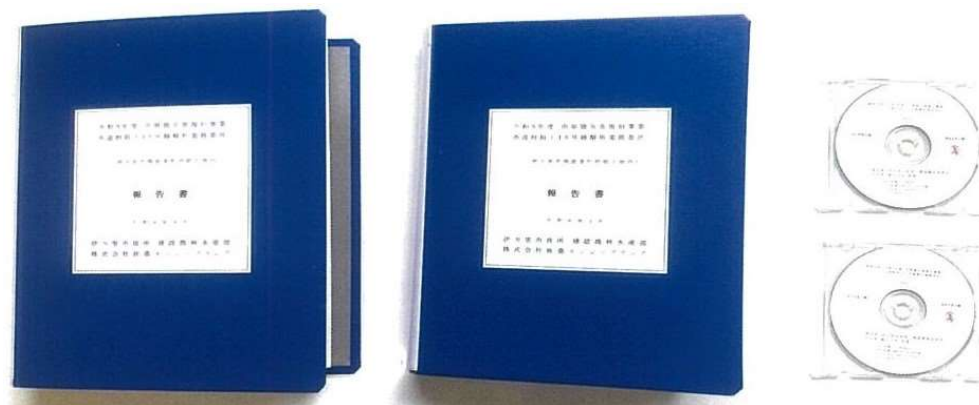
【令和6年度における事務事業の成果】

被災した市道府招上15号線について、被災後の滑動や地下水位の観測結果に基づき、地すべり機構を解析し、地すべり対策工法の検討を行うことができました。

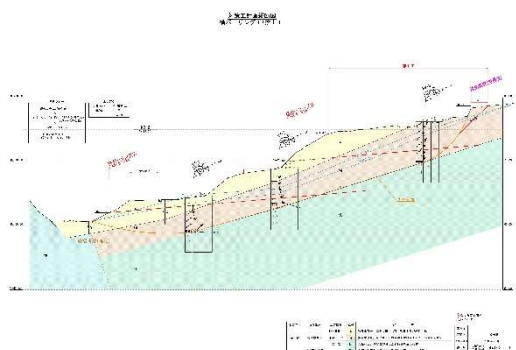
(事業内容)

市単独災害復旧事業 府招上15号線解析業務委託 (南波多町府招上地内)

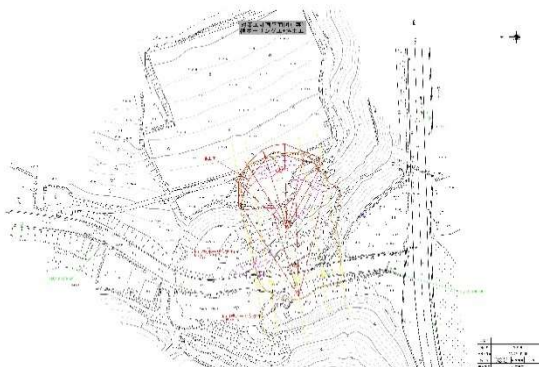
成果品



計画縦断面図



計画平面図



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	03	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
97,805	8,403	5,605	5,500		△ 2,702	89,402	P. 352	

【令和6年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和6年6月29日～7月2日、令和6年7月13日～7月16日、令和6年8月28日～8月31日、令和6年9月21日～9月22日及び令和6年11月1日～11月2日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設18箇所のうち、河川1箇所の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

残りの17箇所（河川8箇所、道路9箇所）は、令和7年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 内の馬場川
着工前



成 工



※不用額は、令和7年度への繰越明許費89,402千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	04	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策		22	防災体制の整備
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12, 583	10, 874		10, 400		474	1, 709	P. 354	

【令和6年度における事務事業の概要】

令和5年7月7日～7月11日及び令和5年9月14日～9月18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

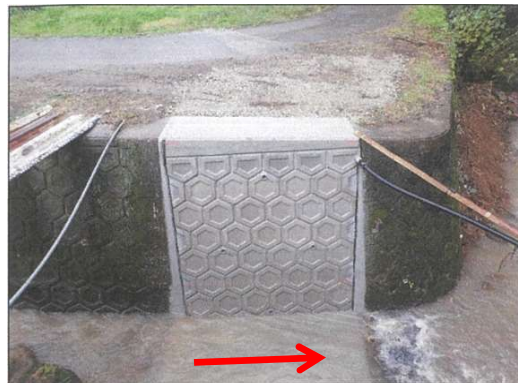
【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に被災した公共土木施設30箇所のうち、令和6年度に繰越した28箇所（河川16箇所、道路12箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 菅田川

着工前

成 工



市道 筒井～木場～開拓線

着工前

成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	05	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策		22	防災体制の整備
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 354
136,976		111,378	71,860	38,700		818	25,598	

【令和6年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和5年6月28日～7月3日、令和5年7月7日～7月10日及び令和5年9月14日～9月18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

令和5年度に被災した公共土木施設26箇所のうち、令和6年度に繰越した22箇所（河川14箇所、道路8箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 板治川

着工前



成 工



市道 大黒川5号線

着工前



成 工



会計名	国民健康保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課 総務部 税務課、収納管理課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和6年度における事務事業の概要】

国民健康保険事業の推進

国民健康保険は、地域住民の健康と福祉を保障する地域保険として、国民皆保険体制を支える大きな柱となっており、伊万里市国民健康保険においても、市民の「健康で豊かな毎日」を支えるために、必要な医療サービスを提供しながら保健事業の推進を図るとともに、保険税の収納率向上やレセプト点検、第三者求償事務などの保険給付の適正化を図り、国保財政の健全化に努めました。

令和6年度の国民健康保険の加入状況は、世帯数が6,367世帯（前年度6,705世帯）、被保険者数は9,478人（前年度10,020人）となっています。世帯数及び被保険者数ともに減少傾向にあります。

<被保険者数調べ>

（単位：世帯、人）

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減	伸び率
国 保 世 帯 数	6,705	6,367	△ 338	△ 5.0%
市全世帯に占める割合	28.1	26.7	—	—
被 保 険 者 数	10,020	9,478	△ 542	△ 5.4%
市全人口に占める割合	19.3	18.2	—	—

※国保世帯数・被保険者数は年度末の数値

【令和6年度における事務事業の成果】

1. 医療費等の状況

国民健康保険法に基づく保険給付を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。

また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を進めるとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。

医療費等は下記の表に示すとおり、前年度より減少しましたが、国民健康保険の被保険者数が減少したため、一人当たり医療費は増加しました。

<国民健康保険給付費の内訳>

（単位：千円）

区 分	令和5年度		令和6年度		増減額 (a-b)	伸び率 (a/b-1)	歳出総額に 占める割合
	支出額(b)	件数	支出額(a)	件数			
療養給付費	3,943,769	202,616	3,806,309	195,511	△ 137,460	△ 3.5%	56.6%
療養費	25,156	3,716	32,671	3,902	7,515	29.9%	0.5%
審査支払手数料	12,651	—	12,283	—	△ 368	△ 2.9%	0.2%
高額療養費	673,581	10,527	619,523	10,237	△ 54,058	△ 8.0%	9.2%
移送費	0	0	0	0	0	—	0.0%
出産育児一時金	15,302	32	12,177	24	△ 3,125	△ 20.4%	0.2%
葬祭費	2,790	93	2,760	92	△ 30	△ 1.1%	0.0%
傷病手当金	32	1	0	0	△ 32	△ 100.0%	0.0%
合 計	4,673,281	216,985	4,485,723	209,766	△ 187,558	△ 4.0%	66.7%

2. 保健衛生普及の実施

疾病の予防、早期発見及び早期治療に役立て、被保険者の健康増進を図るため保健衛生普及について、以下の事業を行いました。

(1) 健康マイレージ事業

特定健康診査の対象となる40歳以上の被保険者のうち、健康診断の受診や運動など自主的な健康づくり活動を行った場合に、ふるさと応援寄附金の返礼品（2千円相当）を抽選により400名に交付することで健康意識の高揚を図りました。

健康マイレージ申込状況

年 度	令和5年度	令和6年度
申込者数	742名	717名

(2) 医療費通知事業

医療内容を年3回通知することで、健康や医療に対する認識を深めました。

医療費通知発送実績

年 度	令和5年度	令和6年度
通数	20,834通	20,187通

(3) ジェネリック医薬品差額通知事業

継続的に服用している医薬品のうち、自己負担を500円以上軽減できる被保険者に差額通知を年2回送付して、医療費の抑制を図りました。

差額通知送付実績及び使用率

年 度	令和5年度	令和6年度
通数	147通	69通
後発医薬品使用率	83.1%	86.3%

※使用率は各年1月の割合

(4) 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業

国保に加入し国保税の滞納のない世帯に属する被保険者に対し、人間ドック費用のうち11,160円と脳ドック費用のうち12,186円を助成することで疾病の早期発見に努めました。

人間ドック・脳ドック費用助成実績

コース	件数	助成単価	助成金額
人間ドック	150件	11,160円	1,674千円
脳ドック	73件	12,186円	890千円
令和6年度 実績	223件	-	2,564千円
令和5年度 実績	204件	-	2,346千円

3. 保険税の収納率向上

国民健康保険税の収納率向上を目的として、滞納が累積される前に電話や文書で催告を行い、その後も納付がなければ預貯金、給与等の差押え（滞納処分）を行うなど滞納整理を強化するとともに、対応が困難な事案については、国税局OBによる高度な滞納整理業務の指導により対応策を講じるなど、滞納整理の促進に努めました。

また、納税相談のために夜間開庁を実施するとともに、コンビニエンスストア収納やスマートフォン決済など納税しやすい環境を整備しました。

一方で、国民健康保険の利用制限（長期滞納者で催告等にも反応がない者には病院等受診時の支払いが通常の3割負担ではなく10割負担となる資格証明書の交付）を行うなど国民健康保険事業独自の滞納整理に取り組みました。

結果として、現年度課税分の収納率は対前年比0.8ポイント減の95.4%、滞納繰越分は対前年比1.6ポイント減の26.8%、現年度課税分と滞納繰越分を合わせた保険税全体の収納率は、対前年度比0.4ポイント減の89.2%となりました。

4. 生活習慣病予防対策

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防対策として、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し43,816千円を支出しました。

1) 特定健康診査

	対象者数	受診者数	受診率	備考
R5	7,098	2,837	40.0%	R6.6（確定値）
R6	6,767	2,858	42.2%	R7.6（速報値）

2) 特定保健指導

	対象者数	支援終了者数	終了率	備考
R4	284	202	71.1%	R5.9（確定値）
R5	250	177	70.8%	R6.9（確定値）

会計名	介護保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 長寿社会課・ 地域包括支援センター	施 策	02	高齢者支援の充実

1. 高齢者の活動支援と介護予防の充実

【令和6年度における事務事業の概要】

生活習慣病の予防や認知症予防等の介護予防に関する知識の普及に努めるとともに、要支援や介護予防・日常生活支援総合事業の対象者への支援を行い、適切なサービス利用につなげました。また、地域の住民主体での介護予防活動を支援しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

いきいき百歳体操教室などの取組により、介護予防につながるだけでなく、高齢者が定期的に顔を合わせることで閉じこもりを予防しました。

また、要支援の認定を受けた人等に対し、介護予防プランを作成し、必要な介護予防サービスにつなげました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護予防普及啓発事業	959千円	1,439千円	1,397千円
生きがいづくり講座受講人数	611人	665人	692人
地域介護予防活動支援事業	1,838千円	1,909千円	2,005千円
百歳体操新規立上げ（数・実人数）	7か所・124人	9か所・134人	5か所・89人
百歳体操継続指導（回数・延べ人数）	475回・5,568人	425回・5,066人	470回・5,211人
介護予防支援サービス事業	18,807千円	17,398千円	16,902千円
事業対象者・要支援認定者の介護予防サービス計画作成			
介護予防支援	5,400人	5,847人	6,488人
介護予防ケアマネジメント	3,671人	3,353人	3,495人
高齢者保健・介護予防連携推進事業	297千円	344千円	790千円
個別指導（実・延数）	23人・43人	32人・39人	28人・34人
集団指導（回数・延人数）	26回・644人	35回・728人	44回・678人

2. 介護サービス・生活支援の充実

【令和6年度における事務事業の概要】

高齢者の生活支援として、地域包括支援センターによる総合相談等の包括的支援や日常生活を安心して過ごせるよう各種在宅サービスの提供を図りました。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症高齢者見守り事業等を実施しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

地域包括支援センターでは、高齢者や家族、民生委員、医療機関、介護支援専門員などからの相談に応じ、関係機関と連携し、地域の保健・福祉・医療サービスや見守りにつなげる支援を行いました。

また、認知症高齢者の見守り事業を行うことで高齢者を地域全体で見守る体制を整備するとともに、成年後見制度等の申立て支援や報酬助成を行うことで認知症高齢者等の権利擁護を図ることができました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
・ 包括的支援総務事業	8,663千円	9,803千円	10,815千円
総合相談延件数	3,332件	3,902件	3,324件
・ 社会保障充実事業	15,754千円	16,497千円	16,575千円
在宅医療・介護連携推進事業	—	—	—
出前講座	6か所	13か所	14か所
生活支援体制整備事業	—	—	—
お困りごと支援（登録者）	18人	27人	36人
お困りごと支援（実績）	31件	53件	85件
認知症初期集中支援チーム	—	—	—
チーム員数	29人	31人	30人
チーム員会議回数	5回	5回	5回
訪問延件数	61件	25件	9件
・ 家族介護支援事業	1,261千円	1,470千円	1,875千円
紙おむつ支給事業	—	—	—
該当者人数	135人	165人	144人
支給総数	38,552枚	33,828枚	31,288枚
認知症高齢者見守り事業	—	—	—
あんしん登録者数（年度末登録人数）	42人	46人	40人
見守りサポーター（派遣人数・延時間）	3人・81時間	4人・178時間	4人・173時間
見守りネットワーク（協力事業者登録数）	84か所	123か所	122か所
・ 任意支援事業	1,786千円	5,216千円	6,218千円
愛の一声運動推進事業	—	—	—
対象者人数	337人	332人	309人
訪問延回数	7,852回	8,213回	7,747回
高齢者成年後見制度利用支援事業	—	—	—
市長申立件数	7件	6件	10件
報酬助成件数	6件	5件	6件

3. 介護保険事業の適正な運営

【令和6年度における事務事業の概要】

介護保険制度に基づく本市の介護保険事業は、「安心して健やかな暮らしづくり」を基本理念とした第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）に基づき、被保険者の要介護認定をはじめ、介護保険制度の市民等への周知、介護サービス給付体制の整備、介護サービスの給付を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

介護認定調査や介護認定審査会の運営により適正な要介護認定を行ったほか、介護保険活用ガイドの作製及び配布により、介護保険制度の普及・啓発につながりました。

また、介護サービス費の給付により、介護を必要とする高齢者や認知症の方などが、住み慣れた自宅や地域で生活することができました。

【令和6年度末の要介護認定者数】

区 分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
令 和 4 年 度	482人	484人	738人	508人	377人	378人	269人	3,236人
令 和 5 年 度	518人	485人	777人	504人	365人	345人	261人	3,255人
令 和 6 年 度	602人	470人	782人	493人	347人	306人	244人	3,244人

〔歳 入〕

介護保険の財源として、保険給付費と地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）に対する負担割合は、国25.0%、県12.5%、市12.5%、第1号被保険者保険料23.0%、第2号被保険者保険料27.0%となっています。また、地域支援事業費（包括的支援事業・任意事業）に対する国等の負担割合は、国38.5%、県19.25%、市19.25%、第1号被保険者保険料23.0%となっています。

(1) 第1号被保険者保険料

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特別徴収保険料	1,158,689千円	1,163,392千円	1,193,173千円
収納率	100.2%	100.2%	100.2%
普通徴収保険料	94,033千円	101,160千円	100,758千円
収納率	94.6%	95.4%	94.8%
滞納繰越分	3,044千円	3,019千円	3,642千円
収納率	26.2%	25.1%	28.5%
全体収納率	99.0%	99.1%	99.0%

(2) 負担金等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定審査会共同設置負担金（有田町）	13,641千円	13,925千円	15,430千円
国庫負担金	1,057,414千円	1,034,364千円	991,089千円
国庫補助金（調整交付金以外）	118,156千円	114,331千円	108,170千円
国庫補助金（調整交付金）	345,763千円	312,352千円	312,912千円
支払基金交付金	1,560,859千円	1,519,123千円	1,511,585千円
県負担金	827,606千円	787,017千円	765,435千円
県補助金	43,158千円	45,583千円	44,177千円
一般会計繰入金	965,965千円	946,662千円	914,569千円
繰越金	315,738千円	466,920千円	233,442千円

〔歳 出〕

(1) 被保険者の適正な要介護認定

有田町と共同設置している介護認定審査会に係る運営費用や、介護認定調査に係る主治医意見書手数料、要介護認定訪問調査業務委託料等を支出しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護認定審査会運営事業	16,054千円	19,619千円	21,581千円
うち総務課人件費	4,723千円	4,777千円	6,624千円
介護認定調査事業	24,998千円	24,084千円	27,314千円
うち総務課人件費	11,068千円	11,530千円	14,862千円

(2) 介護保険制度の市民等への周知

介護保険制度に関する制度の仕組みやサービスの利用方法等を記載した活用ガイドの作製費用を支出しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護保険制度趣旨普及事業	574千円	1,713千円	681千円

(3) 円滑な介護サービス給付体制の整備

介護保険給付及び要介護認定業務に係る一般事務経費を支出しました。また、介護保険制度の円滑な運営を行うために、医療関係者や介護保険事業者、被保険者代表等からなる介護保険運営会議の運営費、地域密着型サービス運営委員会の運営費等を支出しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護保険総務事業	72,276千円	74,383千円	68,614千円
うち総務課人件費	61,523千円	60,198千円	57,446千円
介護保険事業計画策定事業	1,198千円	2,933千円	42千円

(4) 介護サービスに伴う適正な給付

居宅サービス、施設サービス及び地域密着型サービスに伴う給付費をはじめ、それらのサービスに要した費用が著しく高額である場合の高額介護サービス費等の給付費、居宅介護住宅改修や居宅介護福祉用具購入などに要した費用に伴う給付費等を支出しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護給付事業	4,801,559千円	4,793,068千円	4,768,615千円
介護予防給付事業	211,260千円	236,171千円	256,866千円
高額介護サービス給付事業	112,071千円	113,069千円	110,576千円
高額介護予防サービス給付事業	73千円	325千円	536千円
高額医療合算介護サービス給付事業	20,901千円	17,124千円	16,310千円
高額医療合算介護予防サービス給付事業	-	-	84千円
特定入所者介護サービス給付事業	160,022千円	150,522千円	136,608千円
特定入所者介護予防サービス給付事業	195千円	273千円	176千円
介護給付審査支払事業	6,140千円	6,059千円	6,255千円
介護給付費点検・指導事業	2,016千円	2,105千円	2,464千円
うち総務課人件費	1,699千円	1,779千円	2,331千円
合 計	5,314,237千円	5,318,716千円	5,298,490千円

(5) 介護予防・生活支援サービスの提供

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、個々の状態に応じて訪問型サービスや通所型サービスなどを提供し、在宅での自立した生活を支援しました。また、補助金を交付することにより、地域支え合い事業を実施する団体の活動を支援しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護予防・生活支援サービス事業	152,704千円	153,723千円	155,142千円
介護予防・生活支援サービス審査支払事業	1,166千円	1,111千円	1,105千円
事業対象者数（年度末）	146人	194人	216人
地域支え合い事業（実施数・利用延人数）	1団体・770人	1団体・1,265人	1団体・1,544人

(6) 決算額

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳入総額	6,551,855千円	6,557,780千円	6,247,195千円
歳出総額	6,084,935千円	6,324,338千円	6,023,640千円
差引額（翌年度繰越額）	466,920千円	233,442千円	223,555千円

会計名	後期高齢者医療特別会計	6つの まちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和6年度における事務事業の概要】

後期高齢者医療制度の推進

後期高齢者医療は、平成20年度から佐賀県後期高齢者医療広域連合が保険者となって運営を行っています。高齢者が安心して医療給付が受けられるよう保険料の収納率向上など後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めました。

令和6年度末の後期高齢者医療被保険者数は、9,245人（前年度末9,020人）となっており、団塊の世代が75歳に到達したため被保険者数が増加しました。

【令和6年度における事務事業の成果】

1. 後期高齢者健康診査事業

後期高齢者健康診査事業を次のとおり実施しました。

後期高齢者健康診査事業（事業費2,146千円）

	区分	実施回数	受診者数	対象者数	受診率
R6	集団方式	13回	224人	8,722人	17.8%
	個別方式	—	1,327人		
R5	集団方式	12回	163人	6,322人	20.1%
	個別方式	—	1,106人		

2. 後期高齢者医療滞納対策及び財政状況

市民への制度周知・理解の促進を図るため、広報紙により制度の周知を図るとともに、未納者への電話催告を行うなど、保険料の滞納防止・収納率向上に努めました。

令和6年度の歳入総額は1,694,002千円で、内訳は後期高齢者医療保険料653,833千円（38.6%）、使用料及び手数料105千円（0.0%）、一般会計繰入金1,001,464千円（59.1%）、繰越金7,659千円（0.5%）、諸収入30,941千円（1.8%）となっています。現年度分保険料については、特別徴収で403,293千円（収納率100.2%）、普通徴収で249,808千円（収納率99.1%）となっています。

一方、歳出総額は1,691,040千円で、内訳は、総務費10,801千円（0.6%）、後期高齢者医療広域連合納付金1,648,761千円（97.5%）保健事業費3,481千円（0.2%）、諸支出金27,997千円（1.7%）となっており、歳入歳出差し引き2,962千円は、翌年度に繰り越しました。

会計名	水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度の水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給を念頭に、効率的で効果的な運営に努めました。

【令和6年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、水道事業収益が1,377,435千円、水道事業費用が1,353,659千円で、当年度純利益が23,776千円となり、昨年度に引き続き、安定した経営を維持することができました。

また、主な建設改良工事として、有田川浄水場（排水処理施設）更新事業の土木工事では排水池及び排泥池の築造、機械・電気設備工事では加圧脱水機や受変電設備機器の製作、建築工事では脱水機棟の発注を行い工事に着手しました。

その他、竜門ダムから有田川浄水場に原水を送る老朽化した導水管の布設替や法定耐用年数の経過や耐震化されていない配水管等の更新、水道未普及地域の解消のため送・配水管布設の新設工事を行いました。

（主な建設改良工事）※事業費は税込み

工事名	事業費（千円）	事業内容
水道施設（浄水場）更新事業 有田川浄水場（排水処理施設）土木工事	111,887	排水池築造 1式 排泥池築造 1式
水道施設（浄水場）更新事業 有田川浄水場（排水処理施設）機械・電気設備工事	487,441	機械 加圧脱水機 1台 ケーキ搬出コンベア 2台 電気 受変電設備 1式 運転操作設備 1式 計装設備 1式
水道施設（浄水場）更新事業 有田川浄水場（排水処理施設）建築工事	96,144	脱水機棟（鉄筋コンクリート造 地上2階） 建築面積 289.65㎡ 延べ床面積 377.95㎡
水道施設（管路）更新事業 竜門ダム線（県道大木有田線）導水管布設替工事	77,914	DCIP φ500 L= 196.4m DCIP φ450 L= 4.5m 撤去または埋塞 L= 479.2m
水道未普及地域解消事業 深山線外（県道黒川松島線）送配水管布設工事	24,285	PE φ100 L= 348.6m PE φ50 L= 199.5m PP φ40 L= 345.0m PP φ30 L= 142.0m

【事業の課題】

今後は人口減少に伴う給水収益の減や、老朽施設の更新事業の進捗に伴う減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。

会計名	工業用水道事業特別会計	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	14	商工業の振興

【令和6年度における事務事業の概要】

令和6年度の工業用水道事業は、工業用水道事業の使命である良質で低廉豊富な工業用水の安定供給に努め、市内15事業所に対し、年間に11,753,834m³の給水を行いました。

【令和6年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、工業用水道事業収益が965,345千円、工業用水道事業費用が881,138千円で、当年度純利益が84,207千円となり、昨年度に引き続き、黒字となりました。

また、主な更新工事として、原水設備改良費では第1工業用水道大里導水ポンプ場高压受電盤外更新工事を実施し、浄水設備改良費では第3工業用水道長浜浄水場の無停電電源装置更新工事や、第3工業用水道長浜浄水場及び第4工業用水道久原浄水場の薬品貯蔵槽液位計更新工事等を実施しました。

（主な建設改良工事）※事業費は税込み

工事名	事業費（千円）	事業内容		
第1工業用水道 大里導水ポンプ場 高压受電盤外更新工事	16,390	高压受電盤 更新		1面
		三相変圧器 更新		1台
第3工業用水道 長浜浄水場 無停電電源装置更新工事	4,858	無停電電源装置 更新		1台
第3工業用水道 長浜浄水場 薬品貯蔵槽液位計更新工事	6,810	No. 2PAC貯蔵槽液位計 更新		1台
		苛性ソーダ貯蔵槽液位計 更新		1台
		希硫酸貯蔵槽液位計 更新		1台
第4工業用水道 久原浄水場 薬品貯蔵槽液位計更新工事	1,729	No. 2PAC貯蔵槽液位計 更新		1台
		No. 1希硫酸貯蔵槽液位計 更新		1台

【事業の課題】

今後、老朽施設の更新事業の進捗に伴い取得した財産に係る減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。また、累積欠損金も1,523,153千円残っています。

会計名	下水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・下水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和6年度における事務事業の概要】

下水道事業では、浸水防除、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的に、安全・安心でかつ快適な生活環境・水環境の向上に努めました。

【令和6年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、下水道事業収益が1,265,328千円、下水道事業費用が1,220,897千円で、当年度純利益が44,431千円となり、昨年度に引き続き、安定した経営を維持することができました。

主な建設改良工事として、公共下水道事業では、管路長寿命化対策としてマンホール蓋取替工事を行うとともに、浄化センターの非常用自家発電設備の改修工事等を行いました。

(主な建設改良工事) ※事業費は税込み

工事名	事業費 (千円)	事業内容
管路長寿命化対策 (マンホール蓋取替) 工事	8,910	マンホール蓋取替 20箇所
市道東八谷搦27号線 外污水管布設工事	1,743	小口径マンホール 2基 污水管 L= 32.08m
伊万里市浄化センター非常用自家発電 設備改修工事	153,161	搭載型発電装置 1台 油庫・燃料移送ポンプ 1式 No.2自家発連絡盤/予備盤 1面 自家発補機盤 1面
伊万里市浄化センター非常用自家発電 設備外基礎設置工事	32,530	自家発電機設備基礎 1式 脱硫設備基礎 1式 余剰ガス燃焼装置基礎 1式
伊万里市浄化センター電気計装設備 (消化タンク関連) 更新工事	13,216	温度計 4台 圧力計 2台 液位計 2台
長浜マンホールポンプ場No.2污水ポンプ 外更新工事	8,800	ポンプ 1台 通報装置 1台 水位計 1台
伊万里市浄化センター(最初沈殿池) 汚泥引抜バルブ更新 工事	3,861	汚泥引抜バルブ 1基

【事業の課題】

人口減少に伴う使用料収益の減少や、老朽化施設の更新事業の進捗に伴い取得した財産に係る減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。

社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

消費税率（国・地方）が、平成２６年４月１日から５％から８％へ、令和元年１０月１日から８％から１０％へ引き上げられたことに伴い、消費税率の引上げ分については、その使途を明確にし、社会保障財源化することとされており、地方団体においても、地方消費税率の引上げ分を全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

以上の趣旨を踏まえ、令和６年度伊万里市一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況について、次のとおり報告します。

【歳入】・地方消費税交付金(社会保障財源化分) 762,842 千円

【歳出】・社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費 10,602,372 千円

区 分		決算額	財 源 内 訳				
			特 定 財 源			一 般 財 源	
			国庫支出金	県支出金	その他	地方消費税 (引上分)	その他
社会福祉	障 が い 者 福 祉 費	1,835,525	867,981	480,790	0	77,049	409,705
	高 齢 者 福 祉 費	141,811	0	0	19,098	19,424	103,289
	児 童 福 祉 総 務 費	752,025	150,518	113,878	56,953	68,173	362,503
	児 童 手 当 給 付 費	1,021,717	748,594	128,585	0	22,879	121,659
	児 童 措 置 費	2,507,526	1,321,030	547,953	87,495	87,226	463,822
	保 育 所 費	409,355	3,395	2,310	19,716	60,774	323,160
	扶 助 費	937,032	712,354	17,185	0	32,844	174,649
	小 計	7,604,991	3,803,872	1,290,701	183,262	368,369	1,958,787
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	566,210	60,653	197,346	0	48,787	259,424
	介護保険特別会計繰出金	914,569	33,131	15,910	0	137,006	728,522
	後期高齢者医療特別会計繰出金	1,001,464	0	172,902	0	131,155	697,407
	小 計	2,482,243	93,784	386,158	0	316,948	1,685,353
保健衛生	保 健 衛 生 総 務 費	283,334	605	0	3,424	44,212	235,093
	予 防 費	195,758	820	19,109	0	27,832	147,997
	健 康 増 進 費	36,046	515	907	0	5,481	29,143
	小 計	515,138	1,940	20,016	3,424	77,525	412,233
合 計		10,602,372	3,899,596	1,696,875	186,686	762,842	4,056,373

